

太陽光発電所環境調査（秋季～春季）

古川メガソーラー

報告書

令和4年8月

太陽光発電所環境調査（秋季～春季） 古川メガソーラー
報告書

目次

1. 調査概要	1
1.1. 調査の目的	1
1.2. 調査地域	1
1.3. 調査項目	1
1.4. 調査時期	2
2. 調査内容	4
2.1. 植物	4
2.1.1 植物相	4
2.1.2 植生	6
2.2. 哺乳類	8
2.2.1 任意調査	8
2.2.2 自動撮影調査	8
2.3. 鳥類	15
2.3.1 任意調査	15
2.3.2 営巣種確認調査（コチドリ、ヒバリ、カイツブリ、ノスリ）	18
2.4. 両生類・爬虫類	20
2.5. 水生生物	20
2.6. 陸上昆虫類	22
3. 調査結果	26
3.1. 植物	26
3.1.1 確認種	26
3.1.2 重要種	26
3.1.3 植生	28
3.2. 哺乳類	30
3.2.1 確認種	30
3.2.2 重要種	36
3.3. 鳥類	40
3.3.1 確認種	40
3.3.2 重要種	44
3.3.3 営巣確認種	44
3.4. 両生類・爬虫類	47
3.4.1 確認種	47
3.4.2 重要種	54

3.5. 水生生物.....	59
3.5.1 確認種.....	59
3.5.2 重要種.....	60
3.6. 陸上昆虫類.....	62
3.6.1 確認種.....	62
3.6.2 重要種.....	88
4. 残存環境・新たな環境の現況及び課題整理.....	90
4.1. 調査結果の概要.....	90
4.2. 現況および課題について.....	91
4.2.1 残存した環境（残置森林）.....	91
4.2.2 新たに形成された環境（パネル設置範囲、調整池）.....	91

資料編

植物の現地確認種一覧

1. 調査概要

1.1. 調査の目的

本調査は、古川メガソーラーの自然環境を網羅的・簡易的に調査し、建設前から残存する環境及び新たに創出された環境について客観的な評価を行い、今後の環境保全の取り組みに役立てることを目的として実施した。

初夏調査では、残置森林において多くの哺乳類やノスリをはじめとする鳥類が確認され、発電所建設後も生き物にとっての重要な生息環境として機能していることが明らかとなった。一方、パネル周辺の草地や調整池などの新たに創出された環境も生き物の生息環境として機能していた。また、調整池下流側と、パネル設置範囲内の法面中腹に、湿地が新たに確認された。初夏調査により、古川メガソーラーに生息・生育する動植物の概要を概ね把握できたため、秋季以降の調査は、パネル周辺の草地や湿地など、古川メガソーラーの特徴や重要な環境に絞った季別調査を行った。

なお、本報告は、2021年の初夏調査の結果も合わせ、年間通じた調査結果をまとめて整理した。

1.2. 調査地域

調査地域を図1に示す。調査範囲は、基本的に事業地内とし、①残置森林、②パネル設置範囲、③調整池周辺に区分して調査を実施する。また、夏季調査で確認された湿地のみ調査を行う場合は、独立して湿地と呼ぶこととする。

1.3. 調査項目

現地調査の調査項目は以下のとおりである。

- ①植物
- ②哺乳類
- ③鳥類
- ④両生類・爬虫類
- ⑤水生生物
- ⑥陸上昆虫類

1.4. 調査時期

各調査項目の調査時期を表 1.4.1 に示す。哺乳類の自動撮影調査のセンサーカメラについては定期的にデータを回収する。

表 1.4.1 調査時期

項目		2021 年						2022 年					
		6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
		夏季調査業務			秋季～春季調査業務								
植物		-											
哺乳類	任意調査	-	-				-			-			-
	自動撮影調査	-											
鳥類	任意調査	-											
	夜間調査	-											
	営巣地確認調査												-
両生類・爬虫類		-											
水生生物（魚類・底生生物）		-											
陸上昆虫類		-											-

表 1.4.2 調査期間

項目	調査日程
植物	2021 年 6 月 24～25 日
哺乳類	2021 年 6 月 10～11 日 2021 年 7 月 15～16 日 2021 年 11 月 15～16 日 2022 年 2 月 8 日 2022 年 5 月 12～13 日 センサーカメラ設置期間： 2021 年 6 月 10 日～2022 年 5 月 13 日
鳥類	2021 年 6 月 10～11 日 夜間調査：2021 年 6 月 10 日 営巣地確認調査：2022 年 5 月 12～13 日
両生類・爬虫類	2021 年 6 月 24～25 日
水生生物	2021 年 6 月 24～25 日
陸上昆虫類	2021 年 6 月 10～11 日 2022 年 5 月 12～13 日

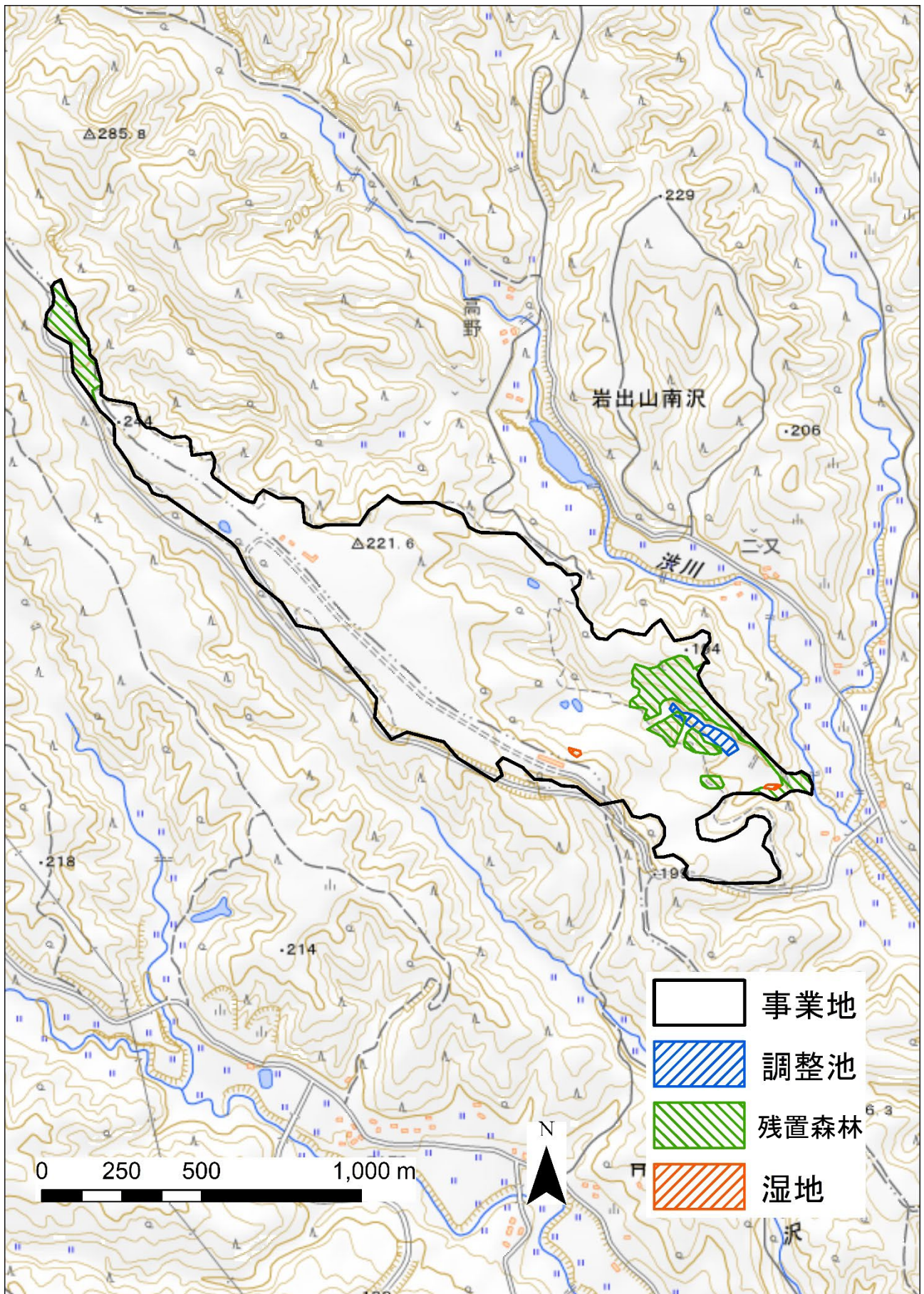


図 1.4.1 調査地域

2. 調査内容

2.1. 植物

2.1.1 植物相

調査範囲を踏査して、目視にて種のリスタアップを行った。踏査ルートを図 2.1.2 に示し、植物の調査時状況の写真を図 2.1.1 に示す。重要種及び特定外来生物^{※注}を確認した場合は、生育位置を記録し、写真撮影を行った。重要種の選定基準は、表 2.1.1 に示すとおりである。

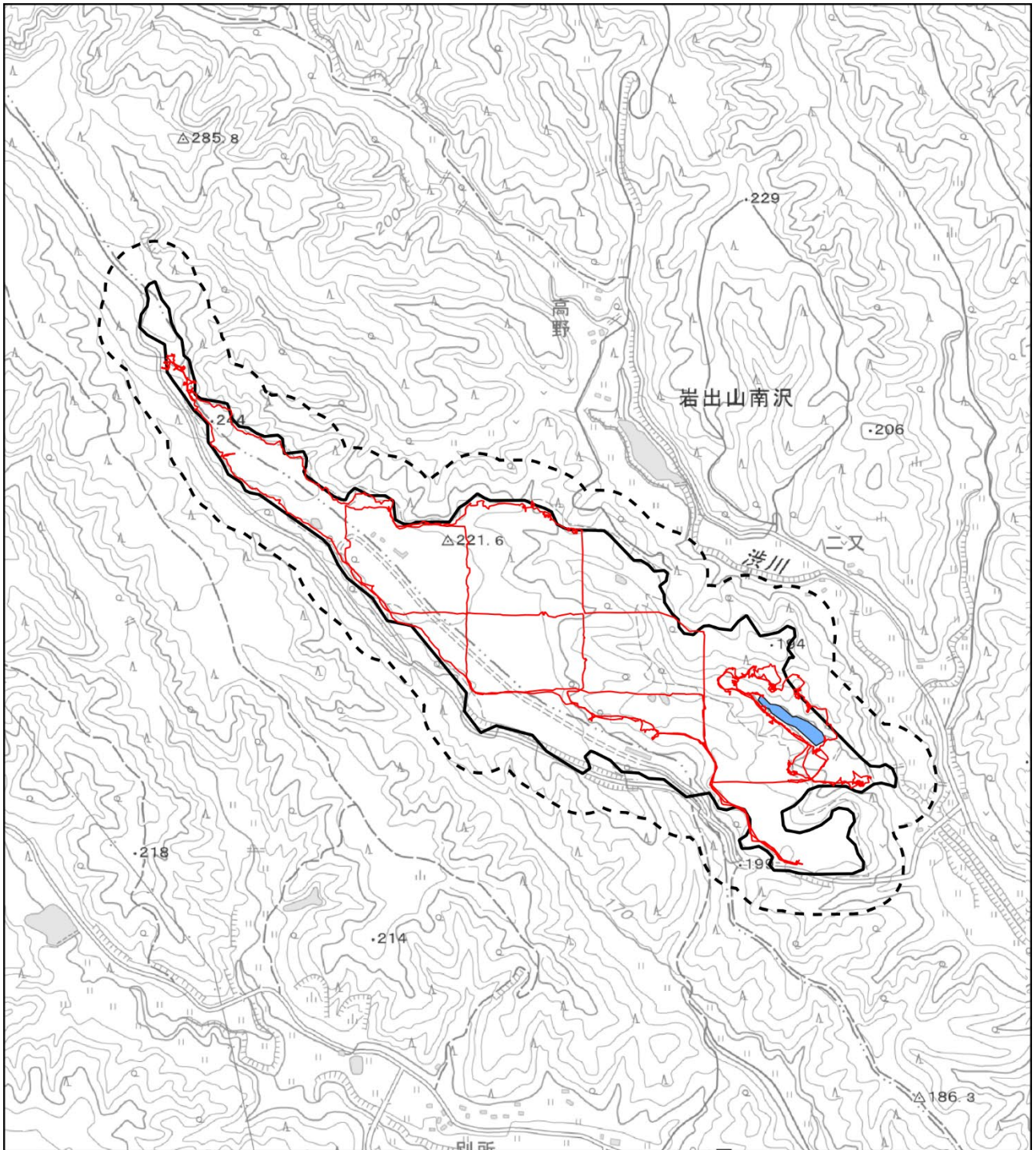
※注 特定外来生物：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2005 年施行）により指定された外来生物であり、植物では、アレチウリ、オオフサモなど 19 種が指定されている。

表 2.1.1 植物の重要種の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
I	「文化財保護法」（昭和 25 年、法律第 214 号） 「宮崎県文化財保護条例」（昭和 31 年、条例第 15 号）	・特別天然記念物（国特天） ・天然記念物（国天） ・宮崎県天然記念物（県天）
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年、法律第 75 号）	・国際希少野生動植物種（国際） ・国内希少野生動植物種（国内）
III	「環境省レッドリスト 2020」（2020 年、環境省）	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧 I A 類（CR） ・絶滅危惧 I B 類（EN） ・絶滅危惧 II 類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
IV	「宮城県レッドリスト 2021」（2021 年度、宮城県）	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧 I A 類（CR） ・絶滅危惧 I B 類（EN） ・絶滅危惧 II 類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・その他保護上重要な種（OT）



図 2.1.1 植物相の調査状況



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 植物調査ルート



1:15000

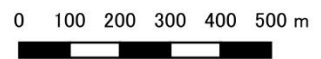


図 2.1.2 植物の調査ルート・範囲

2.1.2 植生

最新の空中写真画像及び平成27年度に作成した植生図を活用し、植生の素判読図を作成した後、素判読図を現地に持参し、植生の内容を確認した。植生図の主な凡例ごとに調査地点を設定し、群落組成調査を実施した。調査地点の位置を図2.1.4に示す。

調査地点では、階層区分（高木層、低木層、草本層）を行い、各階層の高さ、植被率、優占種を記録した。階層ごとに生育する種について種名、階層毎に出現種をリストアップし、各種の被度・群度を記録した。被度・群度はブロンブランケ法に従い区分した（図2.1.3）。また、各調査地点の相観植生が分かるような写真を撮影した。

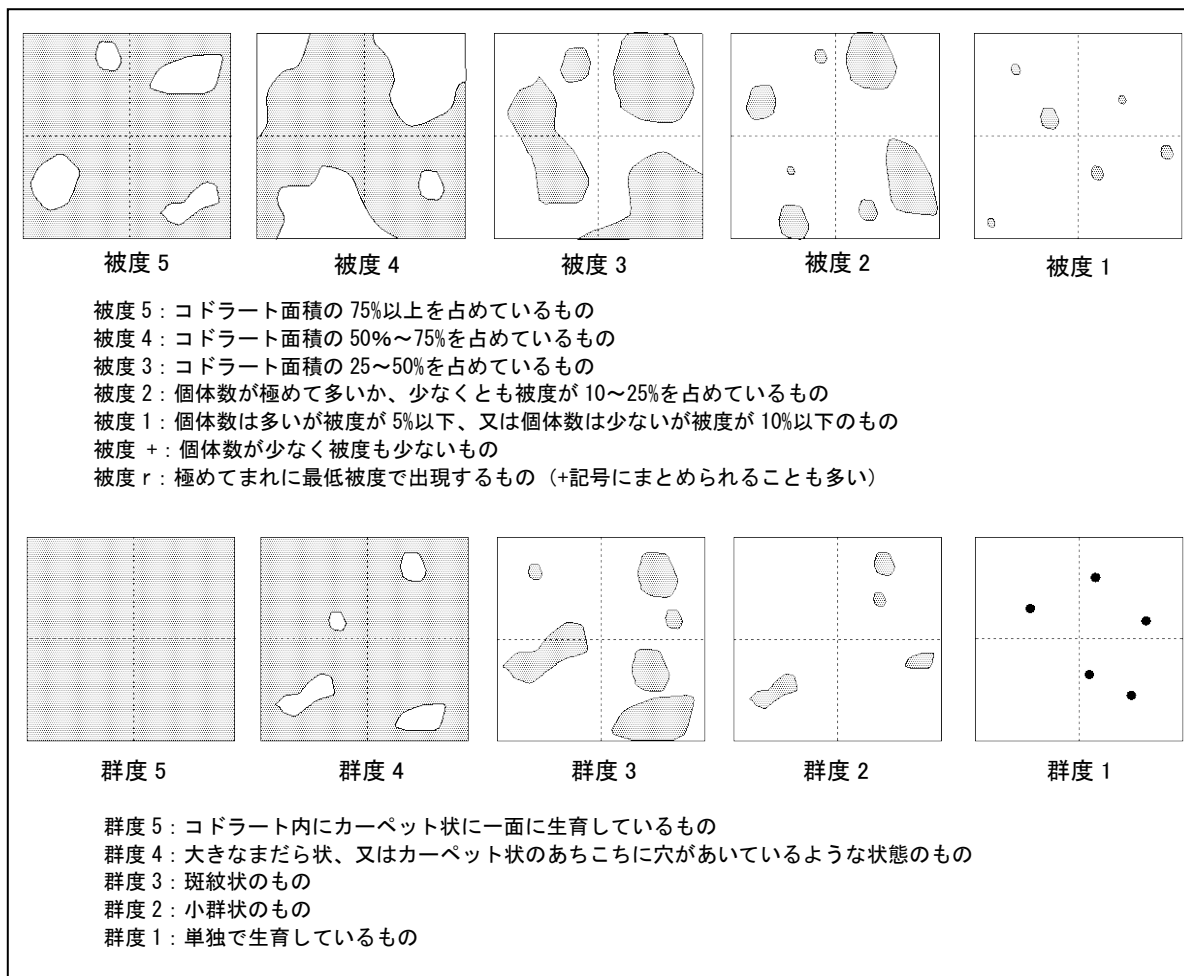


図 2.1.3 ブロンブランケ法による被度・群度の区分

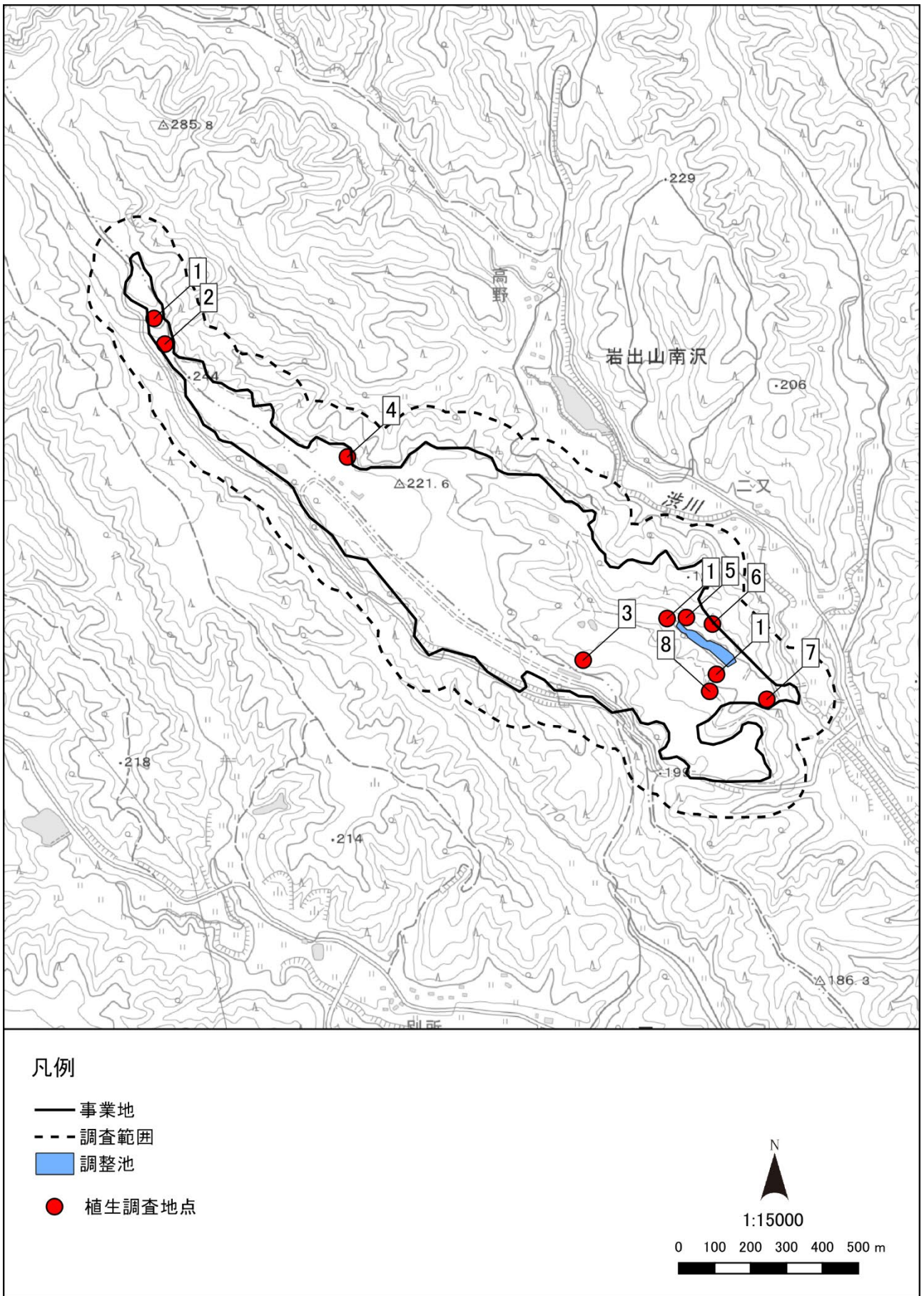


図 2.1.4 植生調査地点の位置

2.2. 哺乳類

2.2.1 任意調査

調査ルートを設定し、足跡、糞、食痕等のフィールドサインを確認した。フィールドサインや個体を発見した場合は、GPS で位置を記録して地図に位置を記入し、確認内容を記録した。重要種を確認した場合は、生息位置を記録し、写真撮影を行った。重要種の選定基準を表 2.2.1 に示す。

表 2.2.1 動物の重要種の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
I	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号) 「宮城県文化財保護条例」(昭和 50 年、条例第 49 号)	・特別天然記念物 (国特天) ・天然記念物 (国天) ・宮城県天然記念物 (県天)
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)	・国際希少野生動植物種 (国際) ・国内希少野生動植物種 (国内)
III	「環境省レッドリスト 2020」(2020 年、環境省)	・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I A 類 (CR) ・絶滅危惧 I B 類 (EN) ・絶滅危惧 II 類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・情報不足 (DD) ・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)
IV	「宮城県レッドリスト 2021」(2021 年度、宮城県)	・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I A 類 (CR) ・絶滅危惧 I B 類 (EN) ・絶滅危惧 II 類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・情報不足 (DD) ・その他保護上重要な種 (OT)

2.2.2 自動撮影調査

獣道や水飲み場と考えられる場所等を確認して、センサーカメラを設置した。記録媒体の回収は 1 か月に 1 回程度とし、記録媒体を持ち帰り、撮影された画像を確認して、確認種及び行動の内容等を記録した。哺乳類のセンサーカメラの設置環境を

表 2.2.2 に、設置位置を図 2.2.3 に示し、調査状況の写真を図 2.2.2 に示す。




















図 2.2.1 自動撮影調査の状況（センサーカメラの設置）



図 2.2.2 哺乳類の調査状況

表 2.2.2 センサーカメラ設置状況

番号	設置場所			設定根拠	設置状況及び撮影方向	
	残地森林	パネル	調整池			
SC1	○			残置森林に設置。残置森林内の通路を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC2	○			残置森林に設置。残置森林内の通路を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC3			○	調整池上流側に設置。調整池の水場を利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC4	○			調整池に隣接する樹林内の獣道に設置。調整池と樹林地を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC5		○		パネル設置範囲内の草地を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC6		○		パネル設置範囲内の草地や側溝を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～春季		
SC7		○		パネル設置範囲内の草地や側溝を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		

番号	設置場所			設定根拠	設置状況及び撮影方向	
	残地 森林	パネル	調整池			
SC8		○		パネル設置範囲内の草地や側溝を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：夏季～秋季		
SC9		○		パネルエリアに設置。パネル設置エリア内の通路を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：冬季～春季		
SC10		○		パネルエリアに設置。パネル設置エリアと湿地の間を移動経路として利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：冬季～春季		
SC11			○	事業地内調整池下流の湿地脇に設置。湿地や周囲の樹林地を利用する哺乳類を把握することを目的とした。 設置期間：冬季～春季		

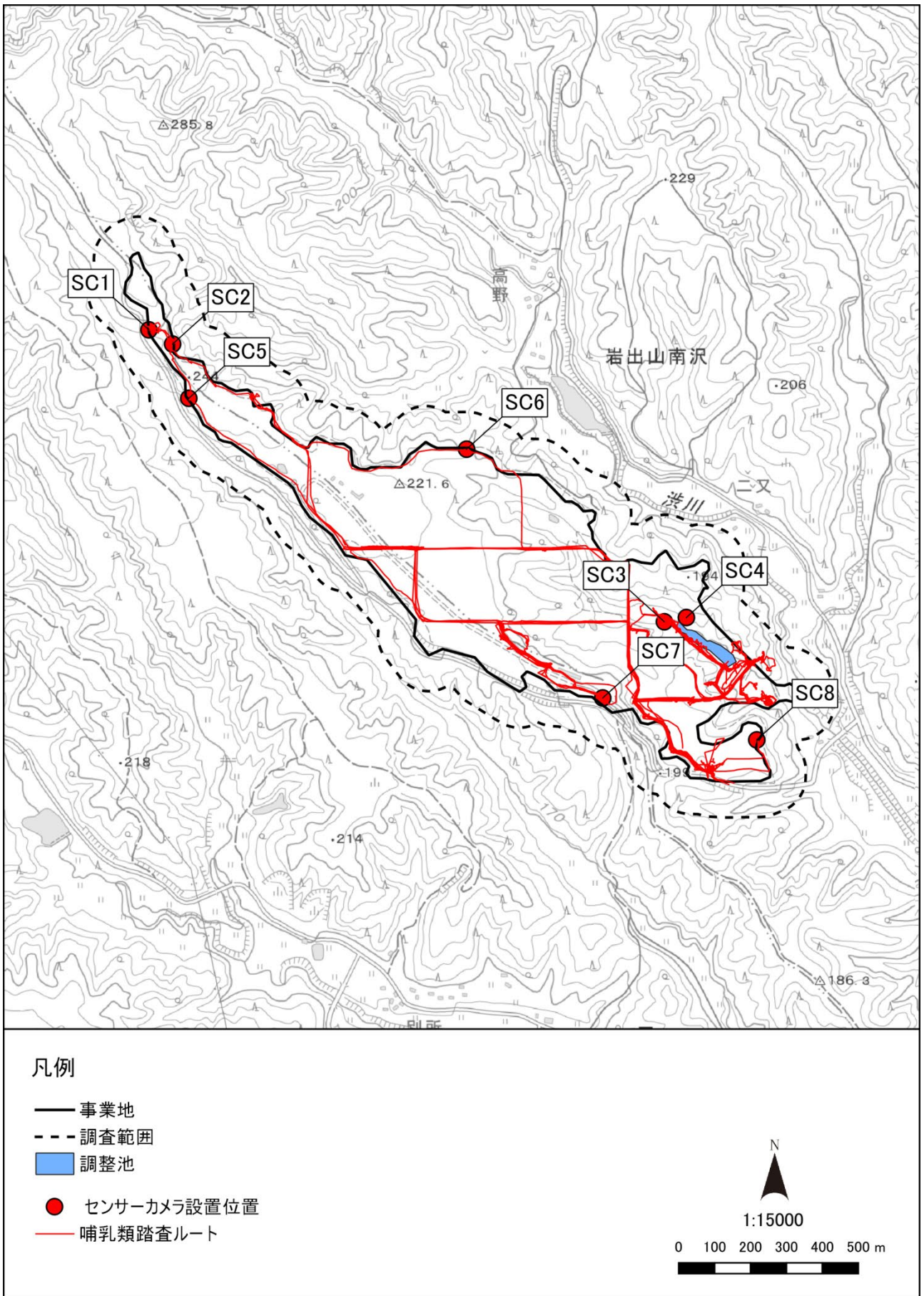


図 2.2.3 哺乳類の調査ルート及びセンサーカメラの設置位置 (夏季～秋季)

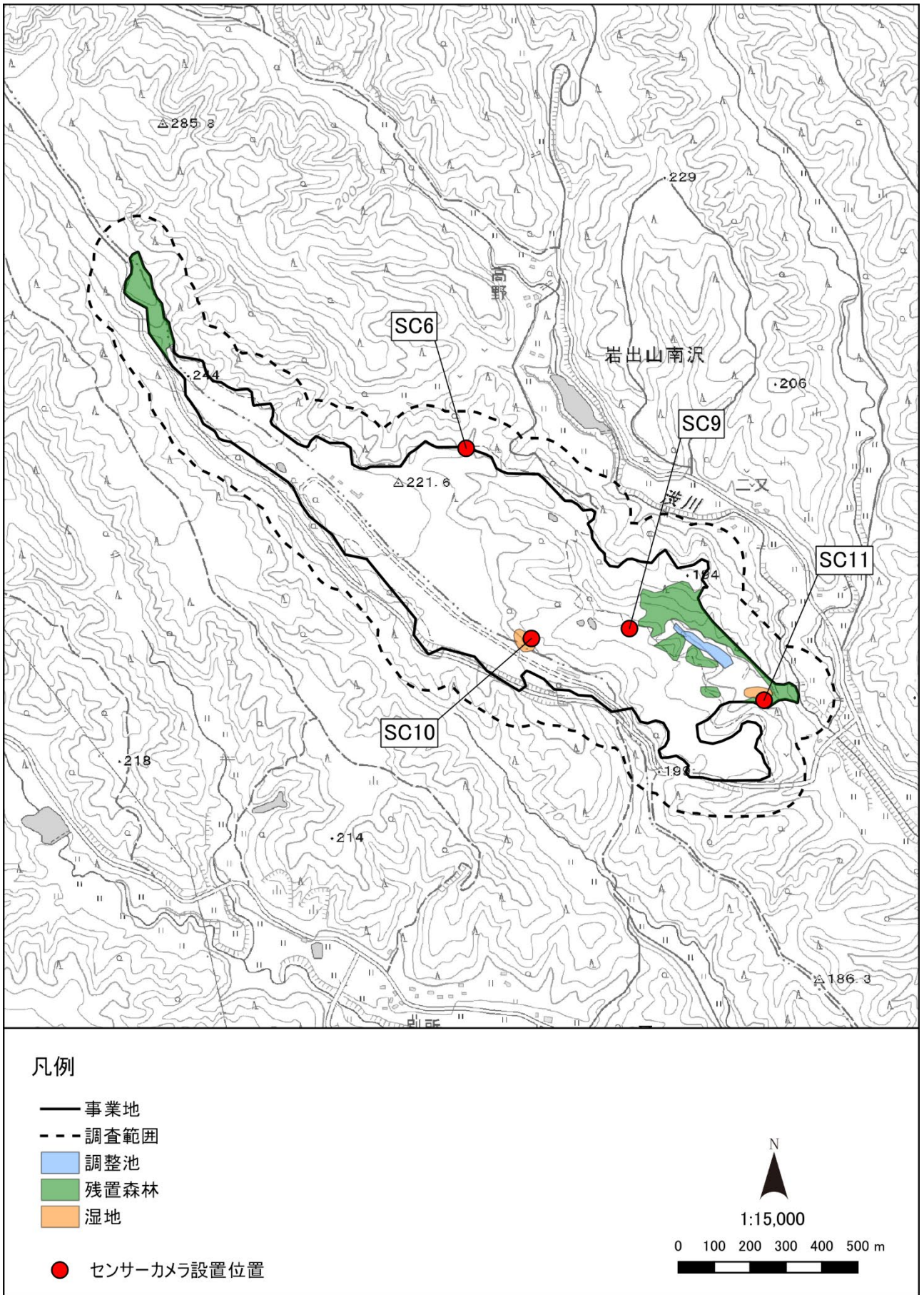


図 2.2.4 センサーカメラ設置位置 (冬季～春季)

2.3. 鳥類

2.3.1 任意調査

鳥類の調査ルートを設定して、ルート上をゆっくり(1.5~2km/h)と歩きながら、双眼鏡を用いて目視確認及び鳴き声の確認により出現種を記録した。見晴らしの良い地点では、一定時間(30分程度)の観察を行う定点調査を行った。また、日没後、発電所構内または近隣において、定点を設定し、一定時間、鳴き声の確認による定点調査を実施した。

重要種を確認した場合は、確認位置を記録し、できる限り写真撮影を行った。重要種の選定基準は表 2.2.1 に示すとおりである。

鳥類の調査ルート及び定点調査の設置環境を表 2.3.1 に、設置位置を図 2.3.2 に示す。



図 2.3.1 鳥類調査の状況

表 2.3.1 ラインセンス及び定点調査地点の設置環境

調査地点		残地 森林	パネル 設置範囲	調整池	調査地点の状況
ライン センス	L1	○	○	○	<p>パネル設置範囲及び残地森林や調整池を利用する鳥類を把握することを目的として設定した</p> 
定点 調査	P1		○		<p>パネル設置範囲を利用する鳥類を把握することを目的として設定した</p> 
	P2	○		○	<p>調整池やその周辺の樹林地を利用する鳥類を把握することを目的として設定した</p> 

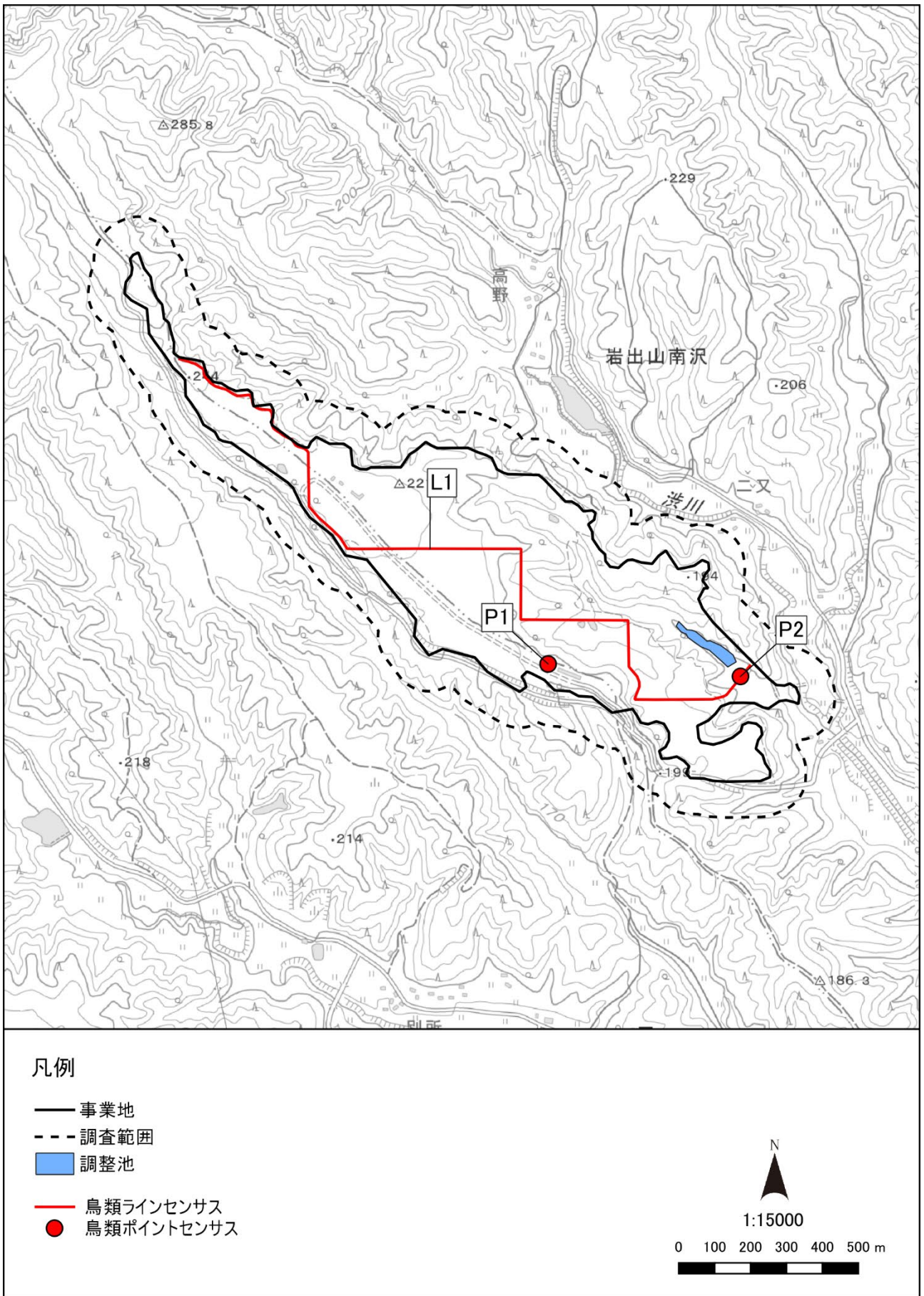


図 2.3.2 鳥類の調査ルート・定点調査の位置

2.3.2 営巣種確認調査（コチドリ、ヒバリ、カイツブリ、ノスリ）

初夏調査で確認された営巣地について、初夏と同じ場所での繁殖の兆候や、ほかに新たな場所での兆候がないか、現地事務所への聞き取りを行う。夏季調査で営巣が確認された地点（図 2.3.3）を中心に現地確認を行う。営巣を確認した場合は、GPS とカメラでその位置情報と写真を記録する。さらに、営巣箇所に、カラースプレーや杭などを用いて目印を設置し、現地事務所への周知を行う。営巣場所の環境等により、繁殖活動に影響を及ぼすおそれがないと判断された場合には、センサーカメラを設置して、巣立ちまでの動画撮影を試みる。

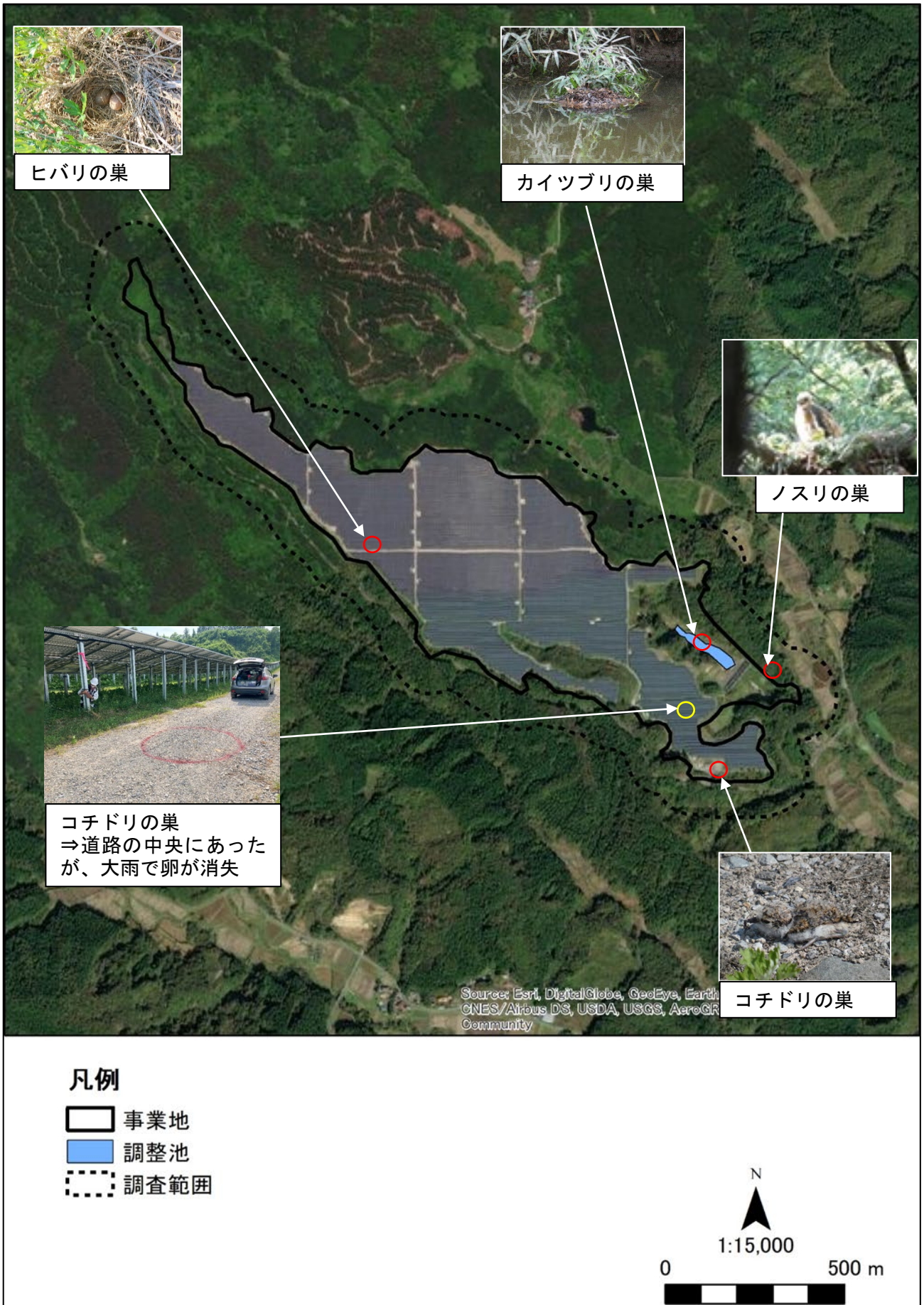


図 2.3.3 初夏季調査で確認した営巣地の位置

2.4. 両生類・爬虫類

調整池周辺では、調査範囲を踏査して、タモ網などによる採捕のほか、目視観察により両生類の生息状況を調査した。残置森林、パネル設置範囲では、カエル類の鳴き声の他、目視観察により両生類、爬虫類の生息状況を調査した。

重要種を確認した場合は、種名、確認位置、確認個体数、確認状況等を記録した。重要種の選定基準は表 2.2.1 に示すとおりである。

両生類・爬虫類の調査状況を図 2.4.1 に示す。



図 2.4.1 両生類・爬虫類の調査状況

2.5. 水生生物

調査範囲は調整池及び堰堤下流の水路と、事業地南側の法面にある水路及び湿地周辺とした。水際の浅瀬を踏査し、タモ網等により水生昆虫類や魚類の捕獲を行い、生息状況を確認した。現場で同定困難な個体は、室内に持ち帰り種の同定を行った。なお、現地で同定可能な個体は、捕獲後、リリースした。調査範囲は浅瀬に限定し、安全管理に十分に注意して調査を実施した。

重要種を確認した場合は、種名、確認位置、確認個体数、確認状況等を記録した。重要種の選定基準は表 2.2.1 に示すとおりである。

水生生物の調査状況を図 2.5.1 に示し、調査箇所を図 2.5.2 に示す。



図 2.5.1 水生生物の調査状況

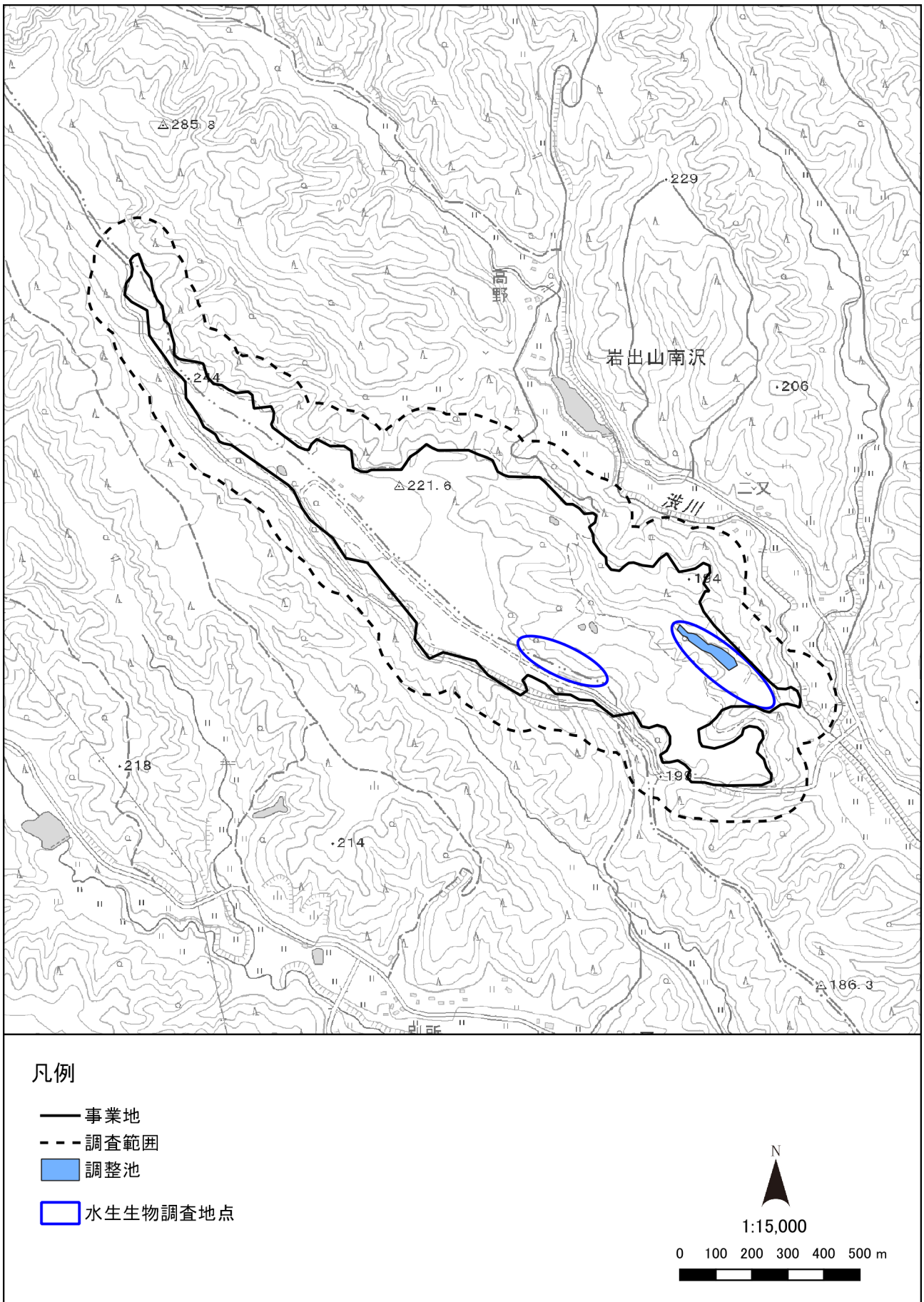


図 2.5.2 水生生物の調査位置

2.6. 陸上昆虫類

調査範囲を任意に踏査し、主にスウィーピング法（捕虫ネットで昆虫をすくいとる手法）、ビーティング法（木の枝等を棒でたたいて昆虫を下に落とし、拾いとる手法）、ベイトトラップ（餌を入れたコップを埋設して一晩放置し、地表徘徊性昆虫類を誘引して採集する方法）、ライトトラップ（蛾類等を誘引するライトを点灯させて一晩放置し、ライトに設置したトラップにより昆虫類を採集する方法）等により昆虫類を捕獲した。採集した昆虫類を室内に持ち帰り同定し、確認種の整理を行った。

陸上昆虫類の調査状況を

図 2.6.1～に示し、調査ルート及びベイトトラップ、ライトトラップの設置環境を表 2.6.1 に、設置位置を図 2.6.2 に示す。



任意調査（スウィーピング）









ベイトトラップ

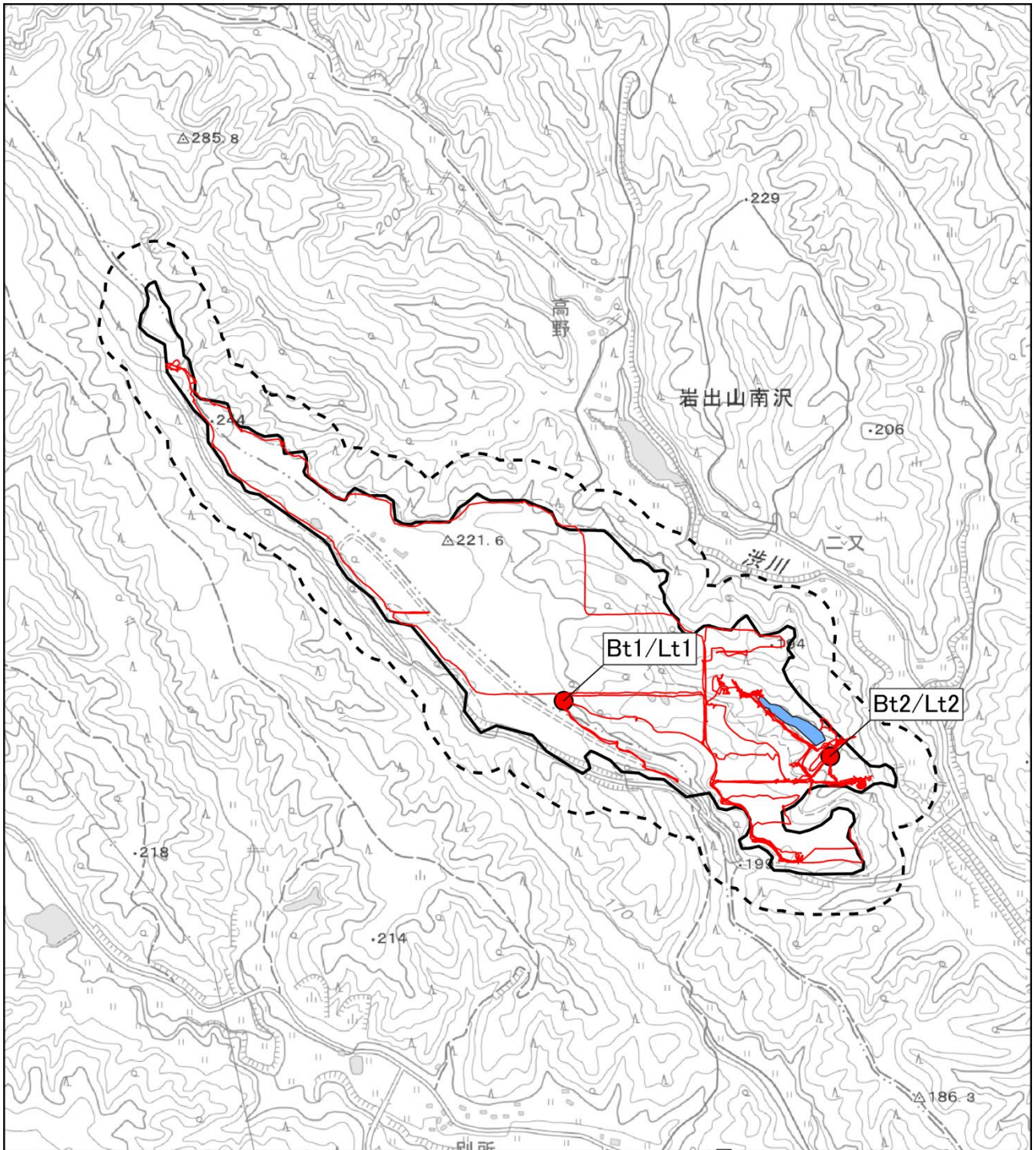


ライトトラップ

図 2.6.1 陸上昆虫類の調査状況

表 2.6.1 昆虫類の調査地点の設置環境

調査地点		残地 森林	パネル	調整池	調査地点の状況	
バイトトラップ	Bt1 夏		○		パネル設置範囲に生息する地上徘徊性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2021年6月10～11日（夏季）	
	Bt1 春		○		パネル設置範囲や湿性環境に生息する地上徘徊性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2021年6月10～11日（春季）	
	Bt2	○		○	調整池及びその周辺の残置森林に生息する地上徘徊性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2021年6月10～11日（夏季）、2022年5月12～13日（春季）	
ライトトラップ	Lt1 夏		○		パネル設置範囲周辺に生息する飛翔性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2022年5月12～13日（春季）	
	Lt1 春		○		パネル設置範囲周辺に生息する飛翔性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2022年5月12～13日（春季）	
	Lt2	○		○	調整池及びその周辺の残置森林及び事業地内の池周辺に生息する飛翔性昆虫類を把握することを目的として設定した。 設置期間：2021年6月10～11日（夏季）、2022年5月12～13日（春季）	



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 踏査ルート
- バイトラップ/ライトトラップ地点

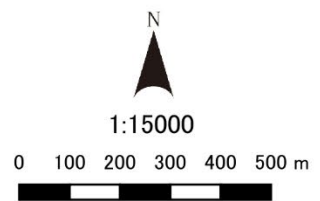


図 2.6.2 陸上昆虫類の調査ルート及びトラップ調査地点の位置 (夏季)

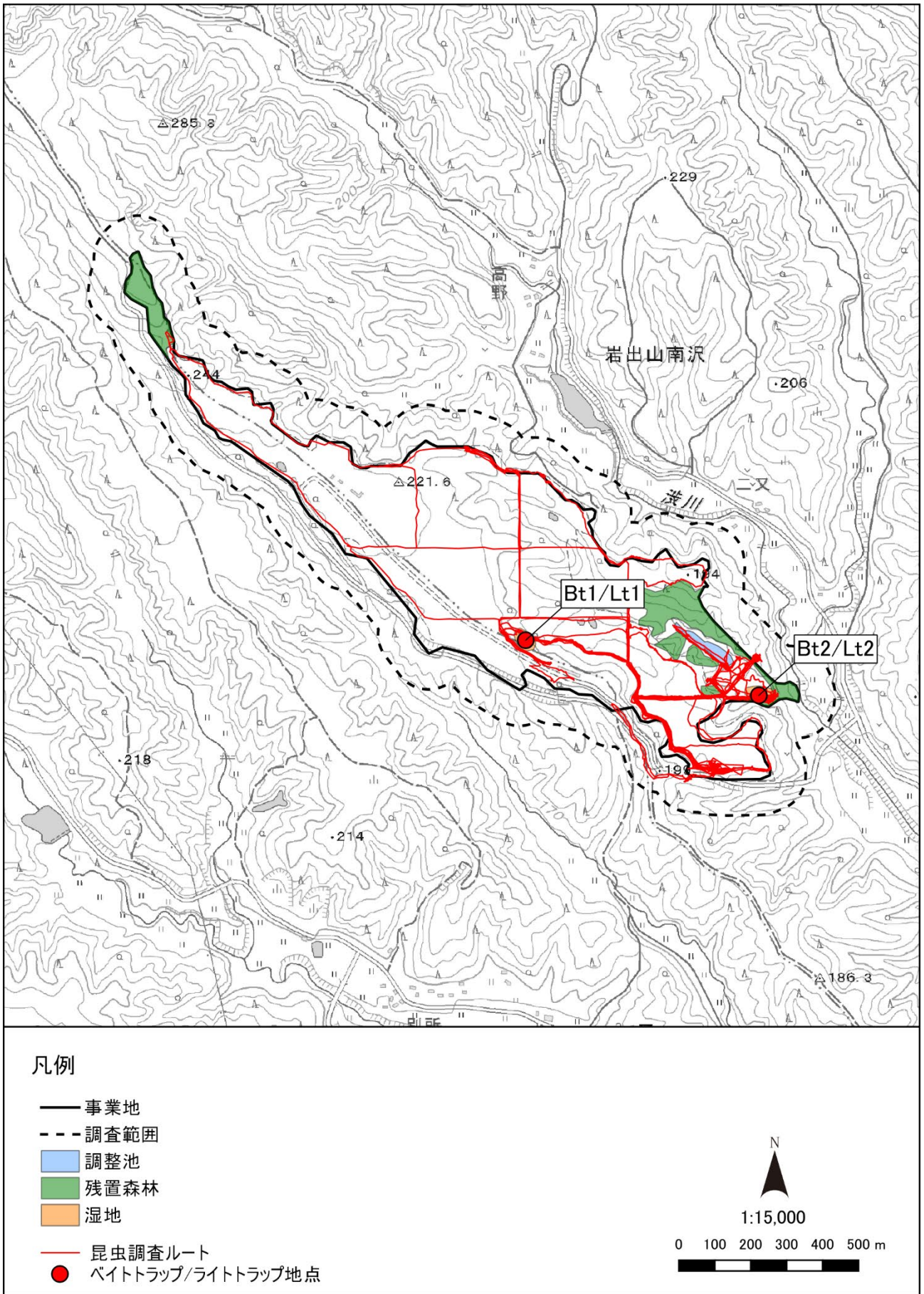


図 2.6.3 陸上昆虫類の調査ルート及びトラップ調査地点の位置（春季）

3. 調査結果

3.1. 植物

3.1.1 確認種

現地調査で確認された植物の種数等を表 3.1.1 に示し、確認種一覧を資料 1 に示す。

残置森林ではクリ、コナラなどの高木から、コマユミ、ツリバナなどの中～低木まで多様な木本植物が確認された。

パネル設置範囲では、コヌカグサ、カモガヤ、オオバコ、ハハコグサなど路傍や空地に生育する草本類が確認された。

調整池、水路では、ミクリ、カンガレイ、ハリイなど、湿潤な環境を好む種が確認された。

表 3.1.1 確認された植物の目数・科数・種数

分類群	残置森林			パネル設置範囲			調整池			合計			
	目数	科数	種数	目数	科数	種数	目数	科数	種数	目数	科数	種数	
シダ植物門	3	9	20	3	8	21	3	6	6	4	10	32	
種子植物門	裸子植物亜門	2	2	2	2	2	3	0	0	0	2	2	3
	被子植物亜門	37	77	241	28	53	169	18	34	105	39	87	340
合計	42	88	263	33	63	193	21	40	111	45	99	375	

3.1.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.1.2 に示し、確認位置を図 3.1.1 に示した。

表 3.1.2 確認された重要種（植物）

No.	科名	種名	重要種の選定基準 ^{注1}		確認場所		
			Ⅲ	Ⅳ	残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	ガマ	ミクリ	NT	NT			○
合計	1科	1種	1種	1種	0種	0種	1種

注1) Ⅲ 「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省） 準絶滅危惧（NT）

Ⅳ 「宮城県レッドリスト2021」（2021年度、宮城県） 準絶滅危惧（NT）



ミクリ

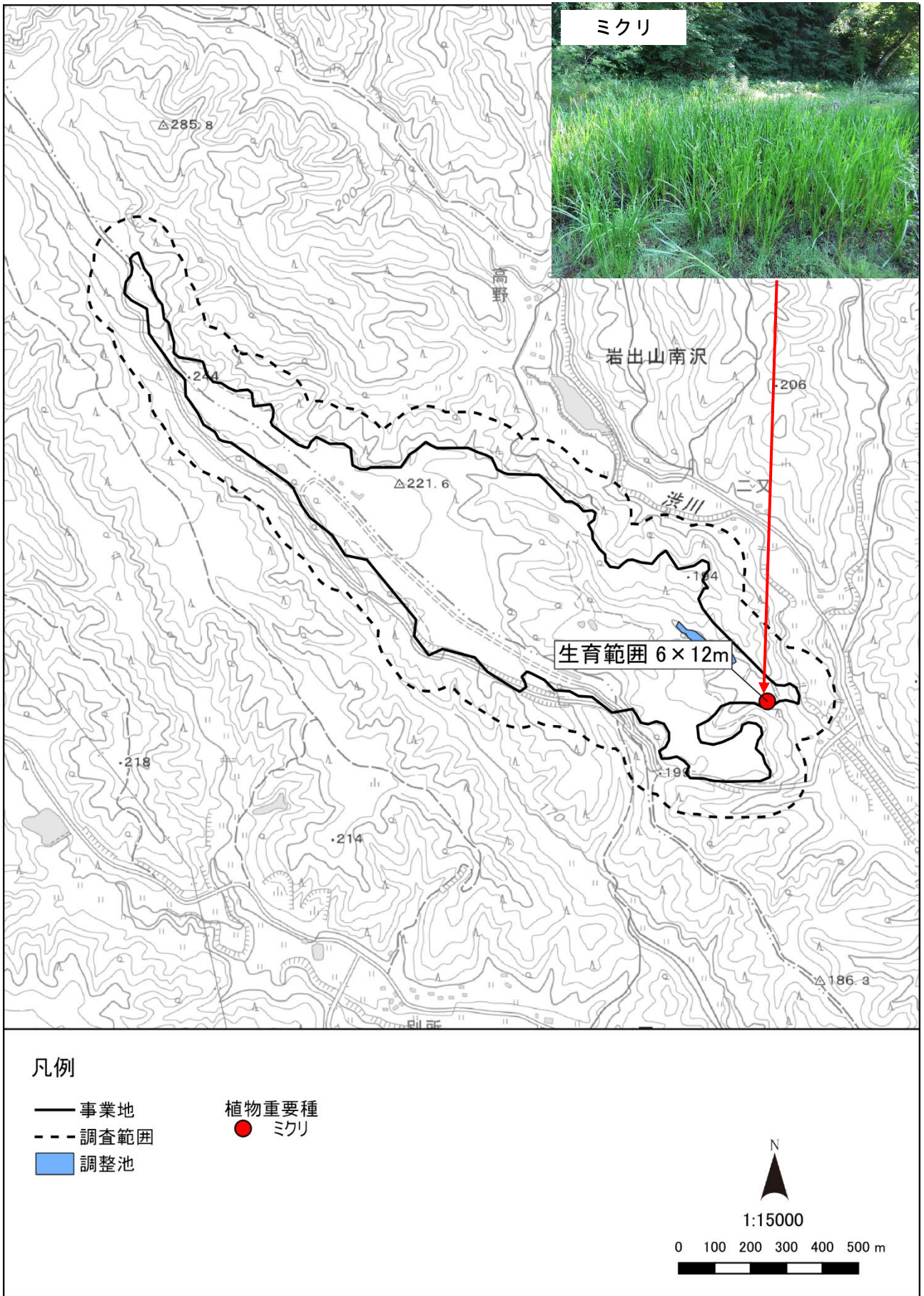


図 3.1.1 重要種の位置 (植物)

3.1.3 植生

植生調査地点の植生の概要を表 3.1.3 に示し、植生図を図 3.1.2 に示した。

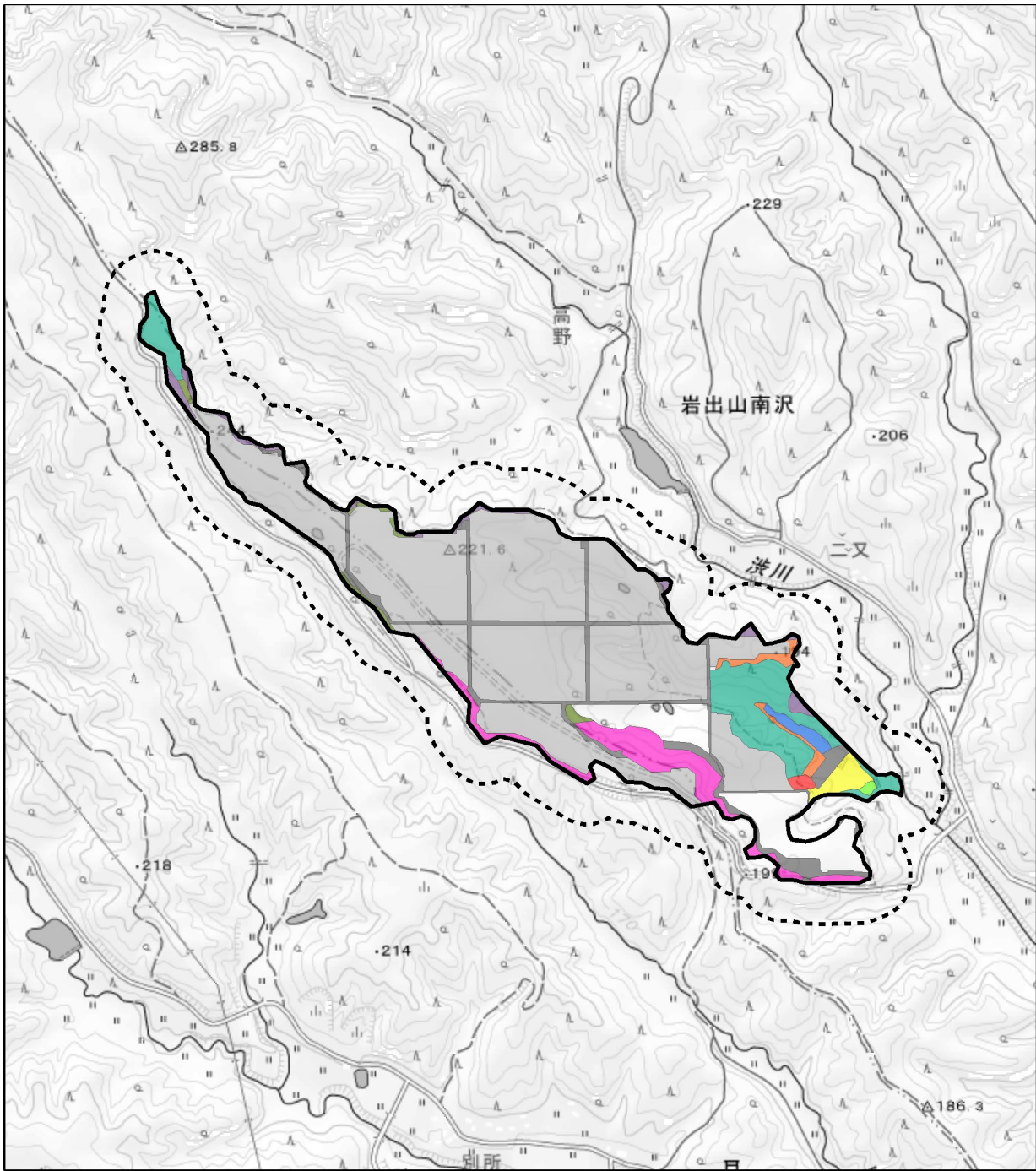
残置森林では、コナラ群落、モウソウチク林、スギ・ヒノキ植林など、周辺の森林と同様の植生が確認された。

パネル設置範囲では、カゼクサーオオバコ群集などの草本群落を確認されており、定期的な草刈りにより低茎から高茎の草本群落が維持されている。その他、造成裸地では、オオバコ、ヨモギ、イネ科草本、キク科草本などで構成される空地雑草群落が見られる。

調整池の堰堤より下流側の湿地では、ミクリ群落など湿性植物からなる群落を確認された。また、堰堤法面は多年生の広葉草本群落が分布する。

表 3.1.3 植生の概要

群落名	概要
落葉広葉樹林	落葉広葉樹で構成される樹林地を一括して本凡例で示した。事業地の北側には、林縁に低木群落（ヌルデ・アカメガシワ群落）があるが、それも含めた。調整池周辺の残置森林は、コナラ、ミズナラ、アカシデ、ケヤキなどの高木で構成されている。
モウソウチク林	調整池近くの残置森林の一部に分布する断片林である。
スギ植林	スギ植林は、事業地周辺に多く見られるが、周辺と同様のスギ植林が事業地辺縁にみられる。
その他植林	スギ、モウソウチク以外の植栽樹群を一括して示した。事業地南側の一部にはハリエンジュ群落が分布するが、植栽起源であると考えられたため、本凡例に含めた。
多年生広葉草原	ヨモギ、ケイタドリ、ギシギシ、キク科植物などの広葉草本で構成される群落であり、調整池の堰堤下にみられる。
ミクリ群落	ミクリが優占する抽水植物群落である。調整池の堰堤下流に位置する。
その他の単子葉草本群落	調整池の堰堤法面にみられ、ススキ、チガヤなどのイネ科草本などで構成される群落である。
空地雑草群落	造成裸地にオオバコ、キク科草本などの低茎草本類が侵入して形成された雑草群落である。
開放水域	調整池の水域を本凡例で示した。
パネル設置範囲	太陽光パネル下の草地を含む範囲である。植生図ではパネルと草地を一括して示した。
コンクリート等施設地	管理用道路（砂利道、コンクリート舗装）、施設等をまとめて、本凡例で示した。



凡例

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▭ 事業地 ⋯ 調査範囲 | <p>植生凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 落葉広葉樹林 ■ モウソウチク林 ■ スギ植林 ■ その他植林 ■ 多年生広葉草原 | <ul style="list-style-type: none"> ■ ミクリ群落 ■ その他の単子葉草本群落 ■ 空地雑草群落 ■ 開放水面 ■ パネル設置範囲 ■ コンクリート等施設地 |
|---|---|---|

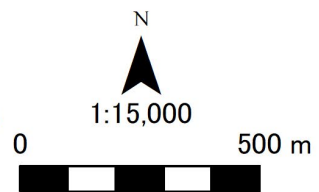


図 3.1.2 植生図

3.2. 哺乳類

3.2.1 確認種

現地調査で確認された哺乳類を表 3.2.1 に示し、季節別の確認結果を表 3.2.2 に示す。

秋季～春季において、残置森林での新たな確認種はなく、パネル設置範囲で、ノウサギ、ニホンリス、イタチの 3 種、調整池でノウサギとキツネが新たに確認された。全体ではノウサギが新たに確認された。夏季調査時点では、残置森林での確認種数が最多であったが、秋季～冬季を含むとパネル設置範囲での確認種が最多となり、周囲に生息する多くの種が発電所内を利用していることが分かった。

表 3.2.1 確認された哺乳類

No.	目名	科名	種名	確認場所		
				残置森林	パネル	調整池
1	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ		○	○
2	ネズミ目(齧歯目)	リス科	ニホンリス	○	○	
3		ネズミ科	Apodemus 属	○		
4	ネコ目(食肉目)	クマ科	ツキノワグマ	○	○	○
5		イヌ科	タヌキ	○	○	○
6			キツネ		○	○
7		イタチ科	テン	○	○	○
8			イタチ		○	○
9			ニホンアナグマ	○	○	○
10	ジャコウネコ科	ハクビシン	○	○	○	
11	ウシ目(偶蹄目)	イノシシ科	イノシシ	○	○	○
12		ウシ科	カモシカ	○	○	○
計	4 目	9 科	12 種	9 種	11 種	10 種

注 1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和 2 年、国土交通省)に準拠した

注 2) Apodemus 属は自動撮影装置での確認。アカネズミ、ヒメネズミ等の可能性がある

注 3) 秋季以降新たに確認された種・エリアは赤字で示す。

表 3.2.2 哺乳類の季節別確認結果

No.	種名	残地森林				パネル設置範囲				調整池			
		夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	ノウサギ							○	○			○	○
2	ニホンリス	○	○					○					
3	Apodemus 属	○	○										
4	ツキノワグマ	○	○			○				○			
5	タヌキ	○	○			○	○	○	○	○	○		○
6	キツネ					○	○	○	○		○		○
7	テン	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
8	イタチ						○			○			
9	ニホンアナグマ	○	○			○	○	○	○	○	○		○
10	ハクビシン	○	○			○	○		○		○		
11	イノシシ	○	○			○	○		○	○	○		○
12	カモシカ	○	○			○	○		○	○	○	○	○
合計		9 種	9 種	0 種	0 種	8 種	8 種	6 種	8 種	7 種	7 種	3 種	6 種

注 1. 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和 2 年、国土交通省)に準拠した。

注 2. Apodemus 属は自動撮影装置での確認。アカネズミ、ヒメネズミ等の可能性がある

図 3.2.1 確認された哺乳類の例



二ホンアナグマ (夏)



テン (秋)



キツネ (夏)



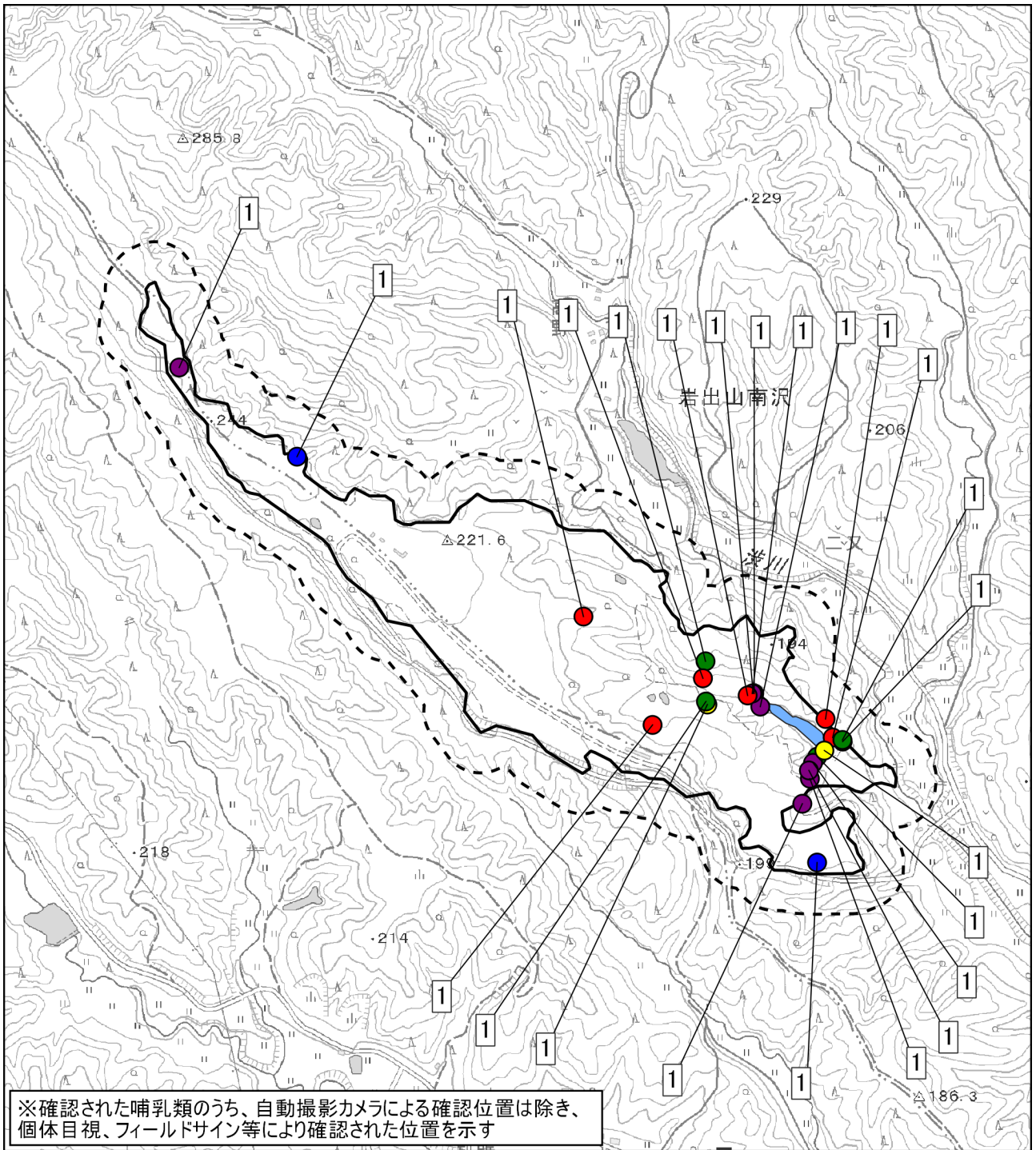
タヌキ



ニホンリス (冬・足跡)



ノウサギ (冬)



※確認された哺乳類のうち、自動撮影カメラによる確認位置は除き、
 個体目視、フィールドサイン等により確認された位置を示す

凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- タヌキ
- キツネ
- テン
- ニホンアナグマ
- イノシシ

※図中の数字は個体数を示す

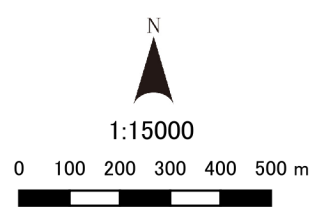
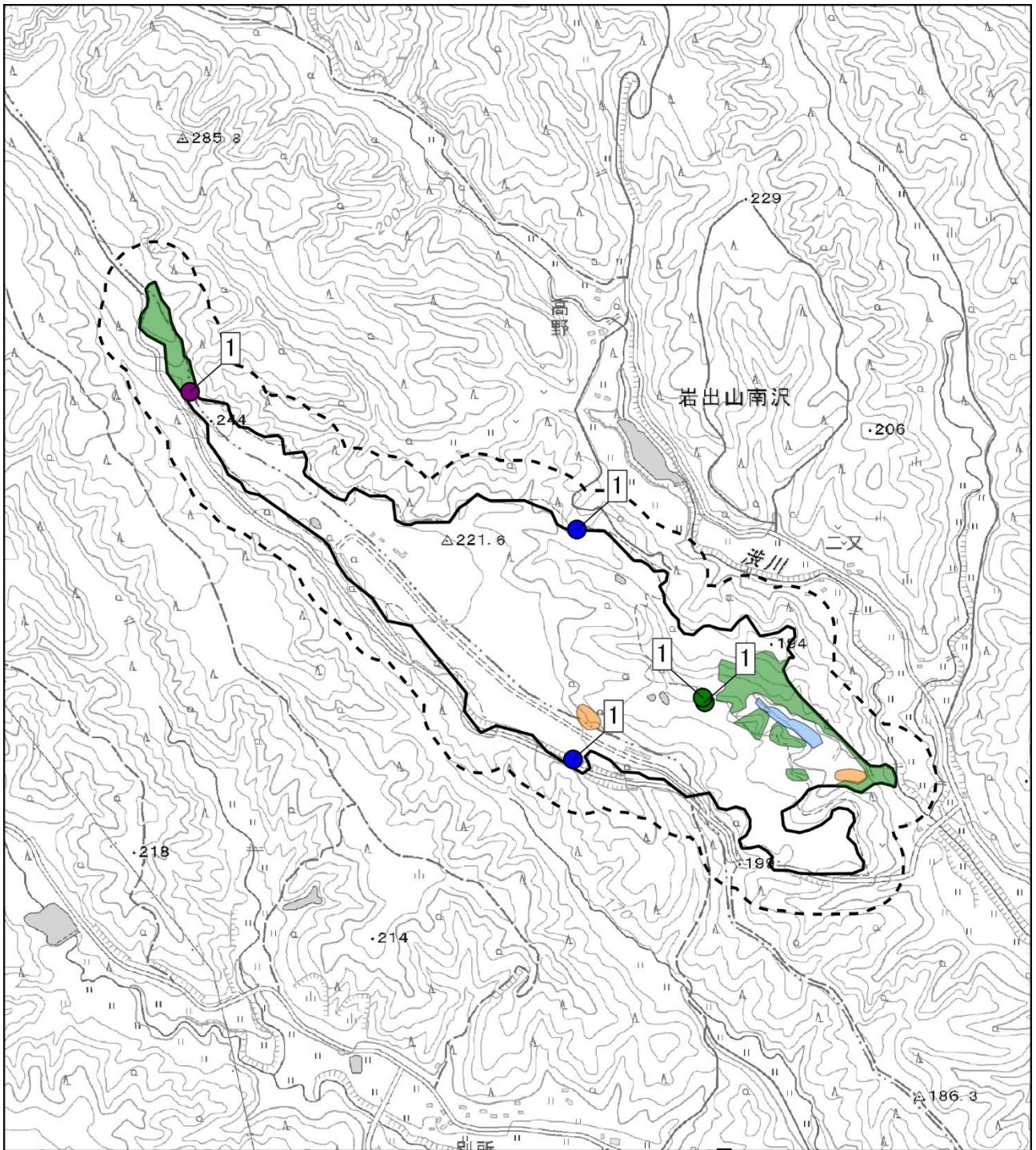


図 3.2.2 哺乳類の確認位置（夏季：任意調査）



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 残置森林
- 湿地

- キツネ
- テン
- イノシシ

※図中の数字は個体数を示す

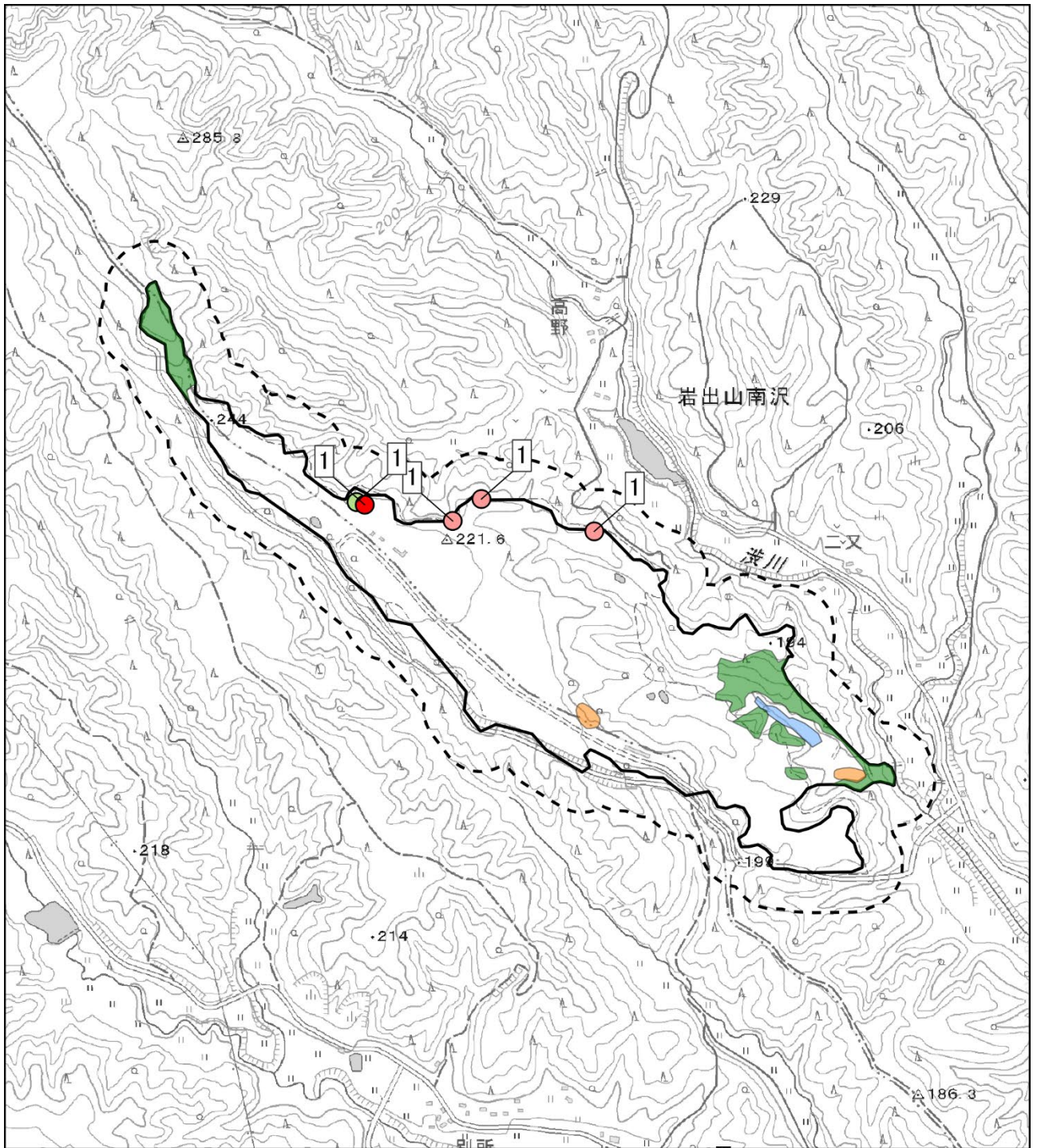


1:15,000

0 100 200 300 400 500 m



図 3.2.3 哺乳類の確認位置（秋季：任意調査）



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 残置森林
- 湿地

- ノウサギ
- ニホンリス
- タヌキ

※図中の数字は個体数を示す

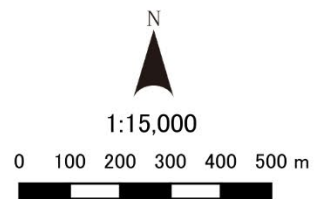
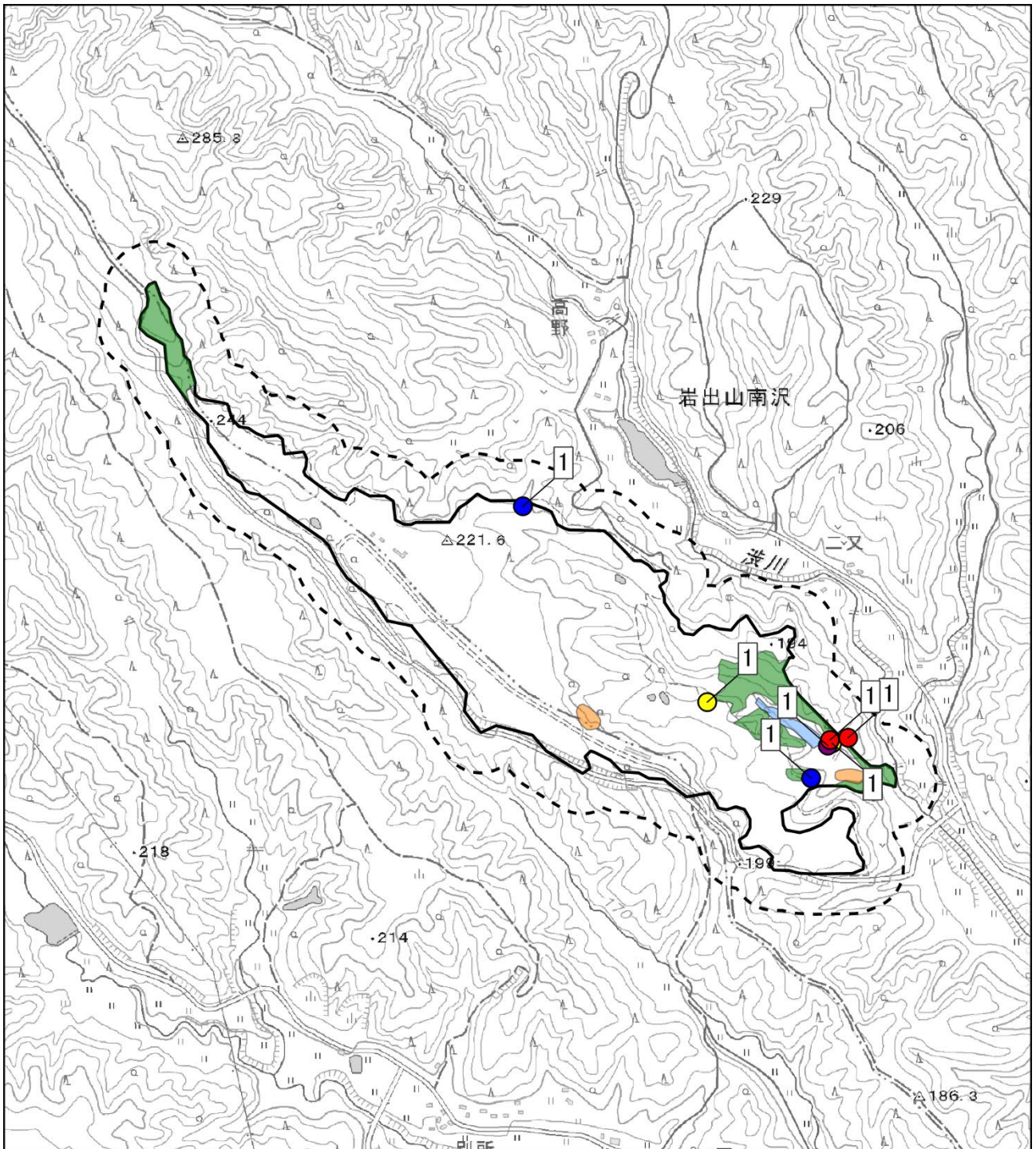


図 3.2.4 哺乳類の確認位置（冬季：任意調査）



凡例

- | | |
|------------|-----------|
| — 事業地 | ● タヌキ |
| - - - 調査範囲 | ● キツネ |
| ■ 調整池 | ● ニホンアナグマ |
| ■ 残置森林 | ● イノシシ |
| ■ 湿地 | |

※図中の数字は個体数を示す

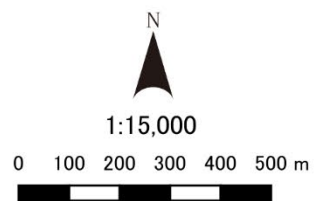


図 3.2.5 哺乳類の確認位置 (春季：任意調査)

3.2.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.2.3 に示し、重要種の確認位置を図 3.2.8 に示した。

夏季調査と同じくカモシカが各エリアのセンサーカメラで確認された。残置森林、パネル設置範囲、調整池周辺で確認されているが、確認場所は林内か林縁近くである。

表 3.2.3 確認された重要種（哺乳類）

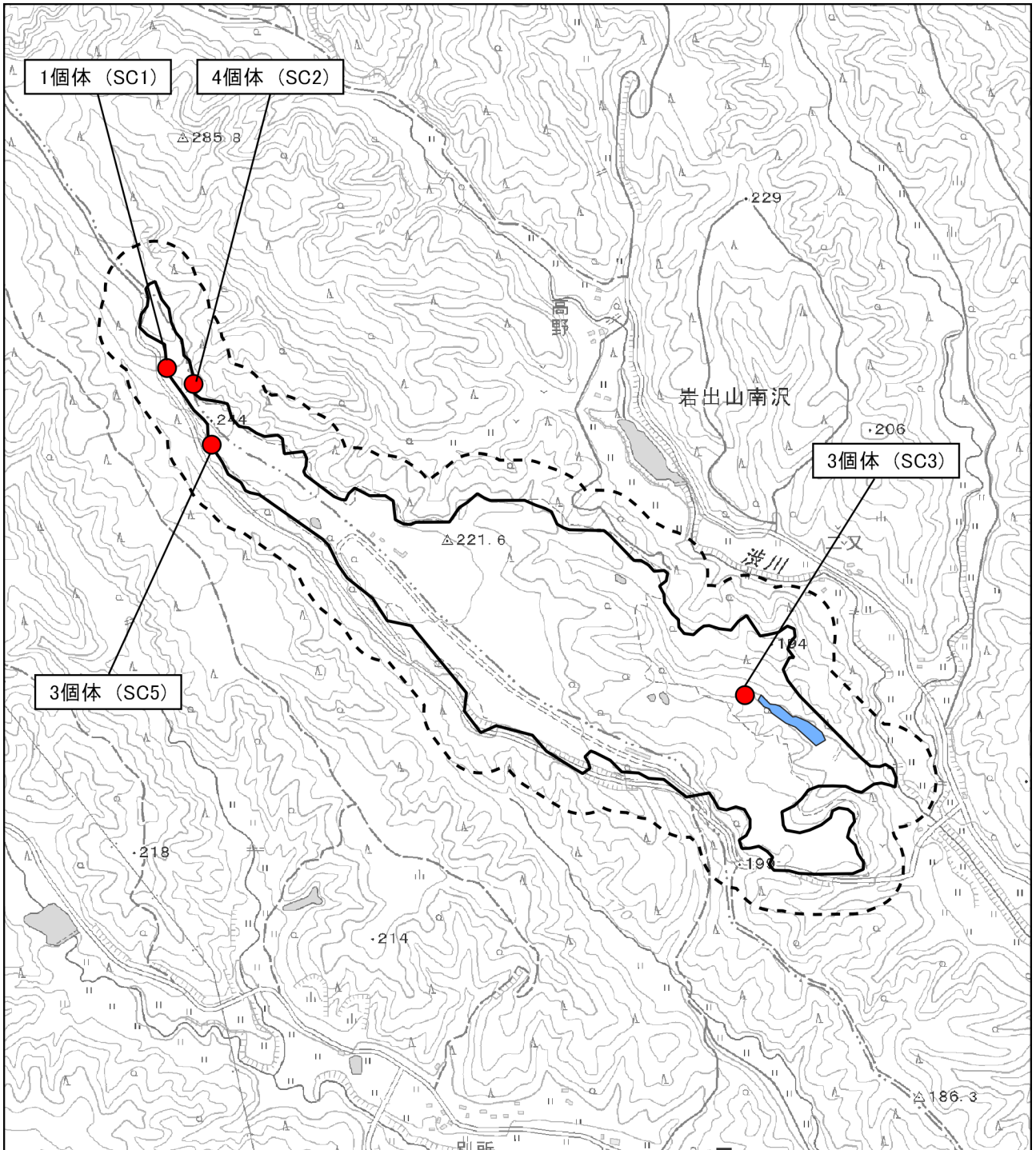
No.	目名	科名	種名	重要種の選定基準 ^{注1}				確認場所		
				I	II	III	IV	残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	ウシ目（偶蹄目）	ウシ科	カモシカ	国特天			注目	○	○	○
合計	1 目	1 科	1 種	1 種	0 種	0 種	1 種	1 種	1 種	1 種

注1) I 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号) 特別天然記念物(国特天)

IV 「宮城県レッドリスト2021」(2021年度、宮城県) 要注目種(注目)



図 3.2.6 カモシカの現地写真（センサーカメラ撮影）



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

重要種
● カモシカ

※図中の数字は個体数を示す

N
1:15000

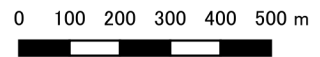
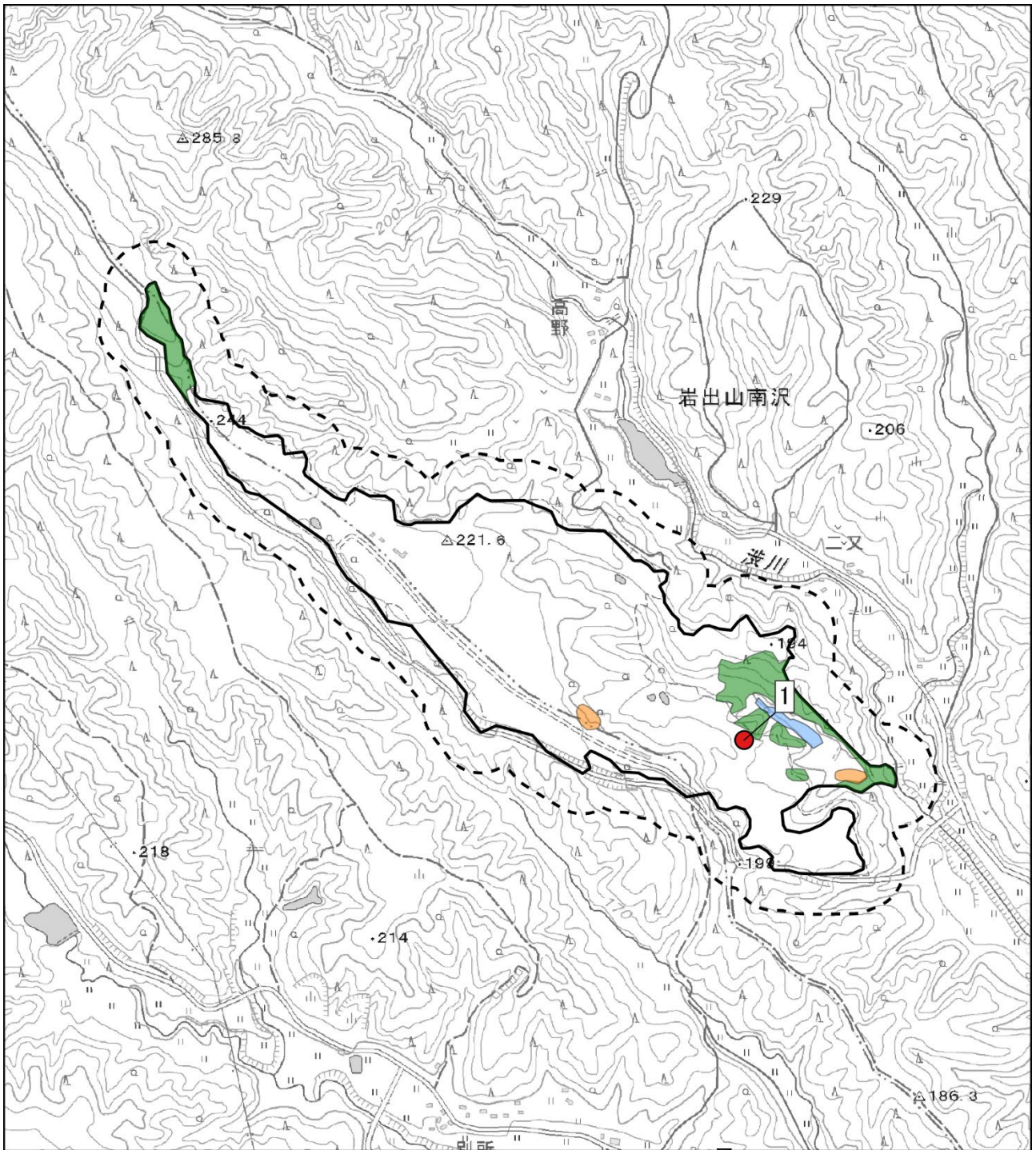


図 3.2.7 哺乳類重要種確認位置 (夏季)



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 残置森林
- 湿地

重要種

- カモシカ

※図中の数字は個体数を示す



1:15,000



図 3.2.8 哺乳類重要種確認位置 (秋季)

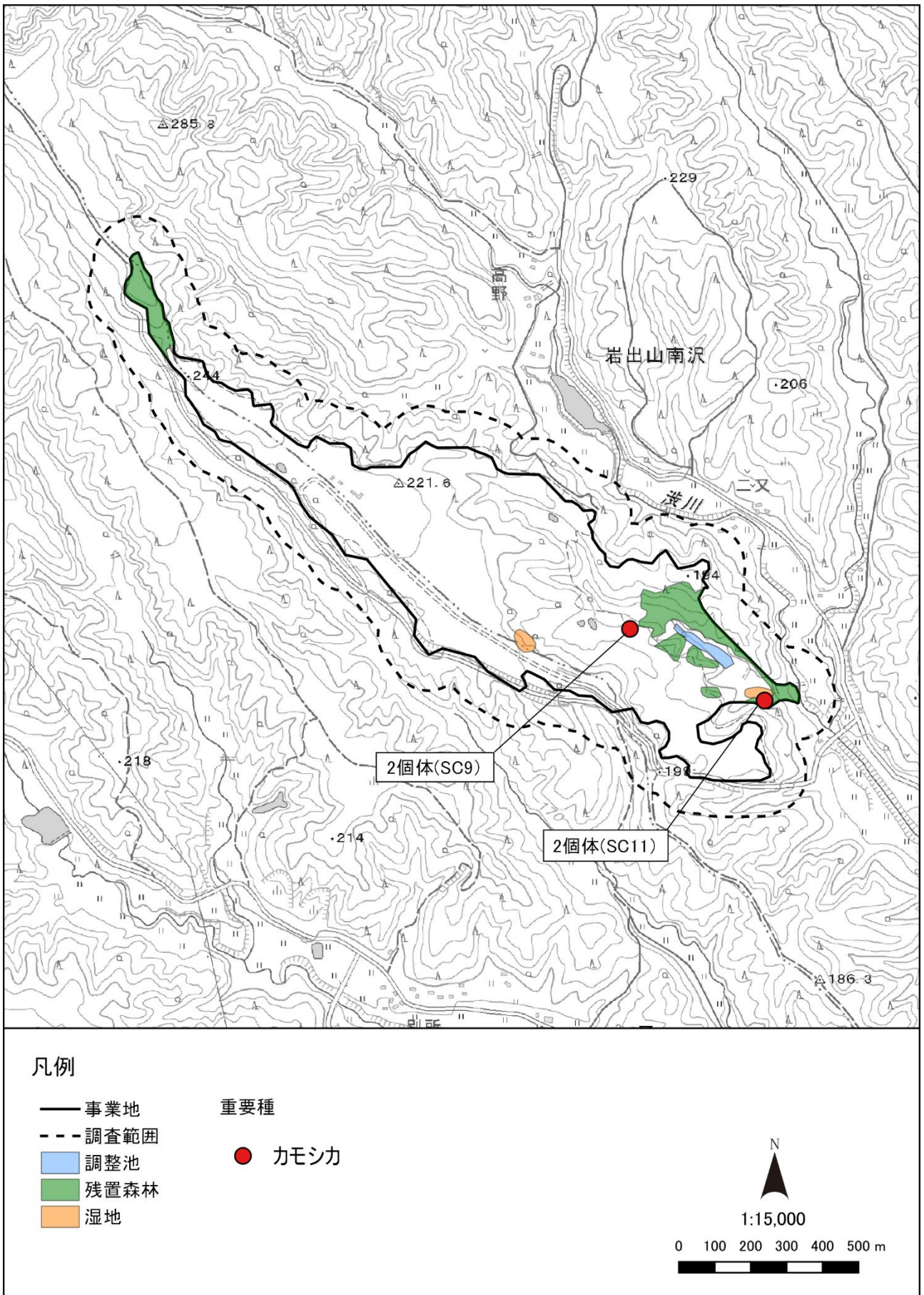


図 3.2.9 哺乳類重要種確認位置 (春季)

3.3. 鳥類

3.3.1 確認種

現地調査で確認された鳥類の確認種を表 3.3.1 に示し、季節別の確認結果を表 3.3.2 に示す。

残置森林では、カケス、シジュウカラ、エナガなど 5 種、パネル設置範囲では、オオハクチョウ、ツグミ、ジョウビタキなど 15 種、調整池では、コガモ、キンクロハジロ、ベニマシコ等の 19 種が新たに確認された。全体では冬鳥 7 種を含む 21 種が新たに確認され、夏季調査を合わせると全 51 種確認された。

表 3.3.1 確認された鳥類

No.	目名	科名	種名	通年		
				残置森林	パネル	調整池
1	キジ目	キジ科	ヤマドリ	○	○	
2			キジ	○	○	
3	カモ目	カモ科	オオハクチョウ		○	
4			マガモ			○
5			カルガモ			○
6			コガモ			○
7			キンクロハジロ			○
8	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ			○
9	ハト目	ハト科	キジバト	○	○	○
10	ツル目	クイナ科	オオバン			○
11	カッコウ目	カッコウ科	ホトギス	○	○	
12			ツツドリ	○		○
13	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	○		
14	チドリ目	チドリ科	コチドリ		○	○
15	タカ目	タカ科	ハチクマ	○		
16			トビ	○	○	
17			ノスリ	○	○	○
18	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ		○	
19	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ			○
20	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	○		
21			アカゲラ			○
22			アオゲラ	○		
23	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	○	○	○
24		モズ科	モズ		○	
25		カラス科	カケス	○	○	
26			ハシボソガラス		○	
27			ハシブトガラス	○	○	○
28		シジュウカラ科	ヤマガラ	○		○
29			ヒガラ	○		○
30			シジュウカラ	○		
31		ヒバリ科	ヒバリ		○	
32		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○
33		ウグイス科	ウグイス	○	○	○
34			ヤブサメ	○		
35		エナガ科	エナガ	○	○	○
36		メジロ科	メジロ	○		○
37		ヨシキリ科	オオヨシキリ			○
38		ヒタキ科	クロツグミ	○		
39			ツグミ		○	○
40			ジョウビタキ		○	
41			キビタキ	○		○
42		セキレイ科	キセキレイ		○	○
43			ハクセキレイ		○	
44			セグロセキレイ		○	○
45		アトリ科	アトリ		○	
46	カワラヒワ		○	○		
47	ベニマシコ				○	
48	ウソ				○	
49	イカル		○	○	○	
50	ホオジロ科	ホオジロ	○	○	○	
49		カシラダカ		○		
計	13 目	25 科	51 種	27 種	28 種	29 種

注 1. 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和 2 年、国土交通省)に準拠した

注 2. 秋季以降新たに確認された種・エリアは赤字で示す。

表 3.3.2 鳥類の季節別確認結果

No.	種名	残地森林				パネル設置範囲				調整池			
		夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
1	ヤマドリ	○	○					○					
2	キジ				○	○			○				
3	オオハクチョウ						○						
4	マガモ											○	
5	カルガモ									○			
6	コガモ										○		
7	キンクロハジロ										○		○
8	カイツブリ									○			
9	キジバト	○			○	○	○				○		○
10	オオバン										○		
11	ホトトギス	○				○							
12	ツツドリ				○								○
13	ヨタカ	○											
14	コチドリ					○			○	○			
15	ハチクマ	○											
16	トビ	○					○	○	○				
17	ノスリ	○				○				○			○
18	ハヤブサ						○						
19	カワセミ									○			○
20	コゲラ	○			○								
21	アカゲラ											○	
22	アオゲラ	○			○								
23	サンショウクイ	○							○				○
24	モズ					○	○						
25	カケス		○	○	○			○					
26	ハシボソガラス						○						
27	ハシブトガラス	○			○		○	○	○		○	○	○
28	ヤマガラ	○	○		○							○	
29	ヒガラ				○							○	
30	シジュウカラ		○	○	○								
31	ヒバリ					○			○				
32	ヒヨドリ	○	○	○			○		○				○
33	ウグイス	○			○	○			○		○		○
34	ヤブサメ	○			○								
35	エナガ			○	○			○				○	
36	メジロ	○											○
37	オオヨシキリ												○
38	クロツグミ	○	○		○								
39	ツグミ						○	○	○			○	
40	ジョウビタキ						○						
41	キビタキ	○			○								○
42	キセキレイ					○				○	○		
43	ハクセキレイ					○	○						
44	セグロセキレイ					○			○	○			
45	アトリ							○					
46	カワラヒワ	○				○	○		○				
47	ベニマシコ											○	
48	ウソ										○	○	
49	イカル				○			○					○
50	ホオジロ	○			○	○	○		○				○
51	カシラダカ						○						
合計		20種	6種	4種	17種	13種	14種	8種	12種	7種	8種	9種	14種

図 3.3.1 鳥類の確認状況



コチドリ (夏)



ホオジロの幼鳥 (秋)



カシラダカ (冬)



ツグミ (冬)



コガモ (中央) とキンクロハジロ (左右) (冬)



マガモ (冬)

3.3.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.3.3 に示し、重要種の確認位置を図 3.3.3 に示した。

確認された重要種は、ヨタカ、ハチクマ、ハヤブサ、サンショウクイの 4 種であり、秋～春季の調査ではハヤブサがパネル設置範囲で新たに確認された。また、夏季には残置森林のみでの確認だったサンショウクイは新たにパネル設置範囲と調整池でも確認された。

表 3.3.3 確認された重要種（鳥類）

No.	目名	科名	種名	選定基準 ^{注1}				確認場所		
				I	II	III	IV	残置森林	パネル	調整池
1	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			NT	VU	○		
2	タカ目	タカ科	ハチクマ			NT	VU	○		
3	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ		国内	VU	NT		○	
4	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	NT	○	○	○
計	4 目	4 科	4 種	0 種	1 種	4 種	4 種	3 種	2 種	1 種

注 1. 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和 2 年、国土交通省）に準拠した。

注 2. 秋季以降新たに確認された種・エリアは赤字で示す。

<選定基準>

I. 「文化財保護法」（昭和 25 年法律 214 号） 特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物

II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年法律 75 号） 国際： 国際希少野生動植物種 国内： 国内希少野生動植物種

III. 「環境省レッドリスト 2020」（2020 年、環境省） EX： 絶滅、EW： 野生絶滅、CR： 絶滅危惧 IA 類、EN： 絶滅危惧 IB 類、VU： 絶滅危惧 II 類、NT： 準絶滅危惧、DD： 情報不足、LP： 絶滅のおそれのある地域個体群

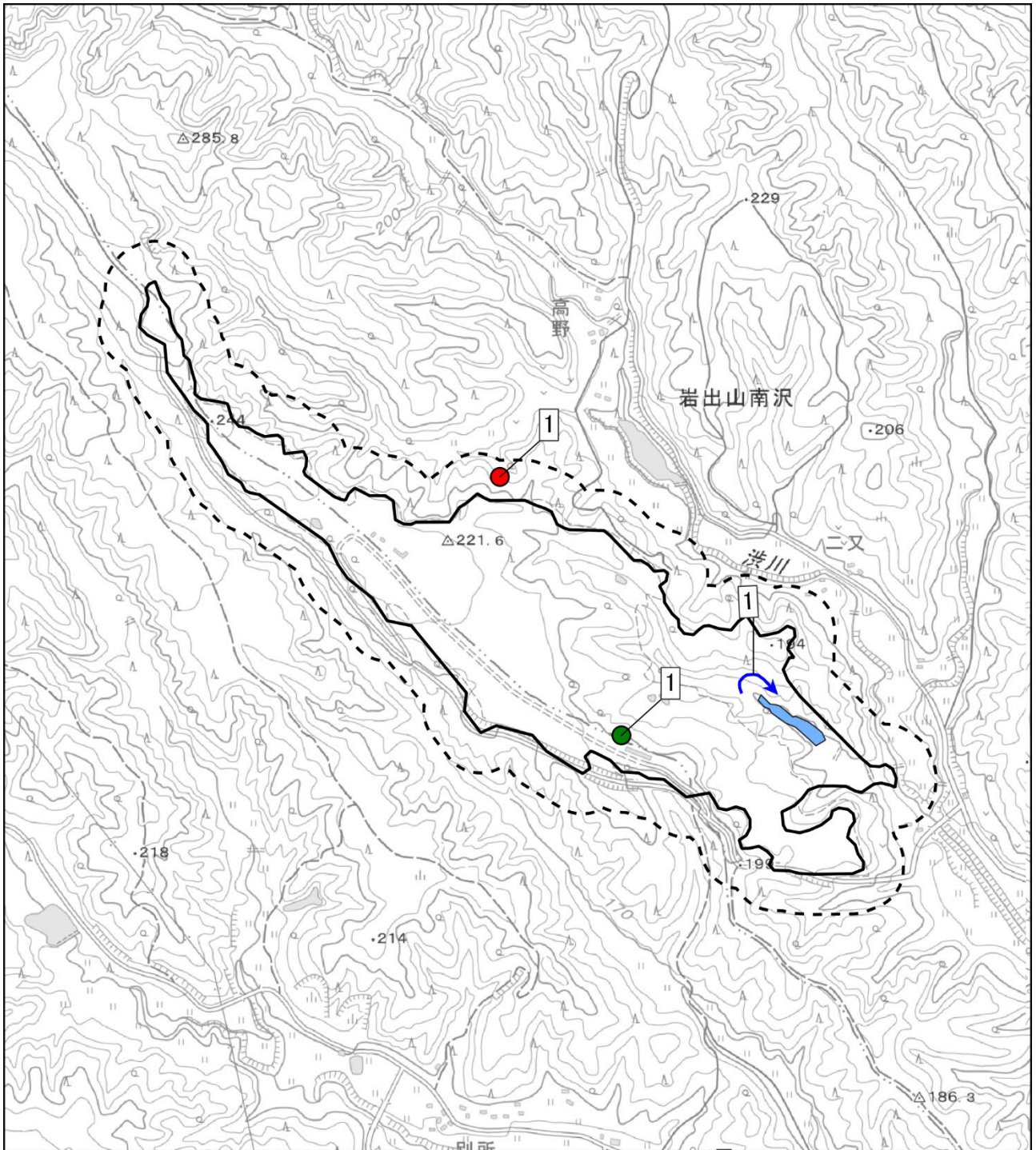
IV. 「宮城県レッドリスト 2021」（2021 年度、宮城県） EX： 絶滅、EW： 野生絶滅、CR： 絶滅危惧 IA 類、EN： 絶滅危惧 IB 類、VU： 絶滅危惧 II 類、NT： 準絶滅危惧、DD： 情報不足、LP： 絶滅のおそれのある地域個体群、注目： 要注目種

3.3.3 営巣確認種

初夏調査で営巣が確認された種のうち、ノスリは昨年と同じ地点で親鳥とひなの鳴き声が確認され、今年も営巣・繁殖していることが分かった。コチドリについては親鳥（つがい）が昨年と同じ場所で営巣地を探している様子が確認された。周囲の安全を確認しセンサーカメラを 2 台設置した。最終的にカメラを設置した周辺で営巣は確認されなかった。その他の種の営巣は確認されなかったが、残置森林やパネル設置範囲の砂利部分は営巣に適した環境が維持されていると考えられる。

表 3.3.4 確認されたコチドリ





凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

- 鳥類重要種
- サンショウクイ
 - ヨタカ
 - ハチクマ
- ※ 図中の数字は個体数を示す



1:15000

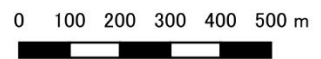


図 3.3.2 鳥類の重要種確認位置 (夏季)

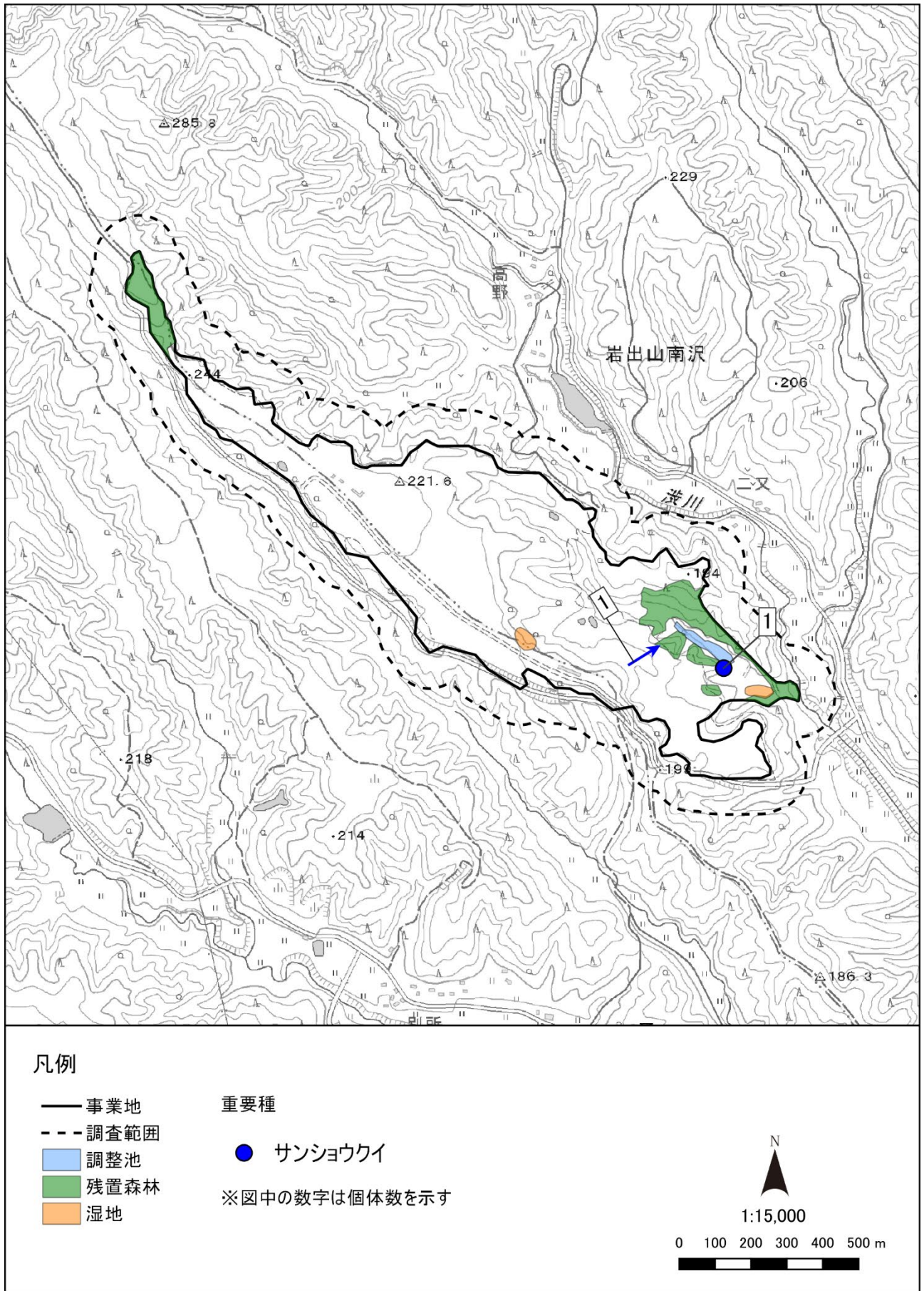


図 3.3.3 鳥類重要種確認位置 (春季)

3.4. 両生類・爬虫類

3.4.1 確認種

現地調査で確認された両生類を表 3.4.1 に、季節別確認種を表 3.4.2 に、確認位置を図 3.4.1～図 3.4.3 に示した。また、爬虫類の確認種を

表 3.4.4 に、季節別確認種を表 3.4.5 に、確認位置を図 3.4.4 に示す。

両生類は、調整池周辺で多くの種を確認した他、法面上部に形成されていた湿地でも確認された。また、爬虫類は林縁に近いパネル設置範囲や、調整池の堰堤下流の草地に多い傾向にあった。

残置森林では、タゴガエル、ヤマアカガエル、ニホンカナヘビが確認された。

パネル設置範囲では、ニホンアマガエル、ツチガエルなどの両生類の他、アオダイショウ、マムシなどの爬虫類が確認された。

調整池では、トウホクサンショウウオ、トウキョウダルマガエル、モリアオガエルなどが確認された。また、パネル設置範囲内法面下に形成されていた水路と湿地で、カエル類が多く確認された。

表 3.4.1 確認された両生類

No.	目名	科名	種名	確認場所		
				残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	有尾目	サンショウウオ科	トウホクサンショウウオ			○
2		イモリ科	アカハライモリ		○	○
3	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル		○	
4		アマガエル科	ニホンアマガエル		○	○
5		アカガエル科	タゴガエル	○		○
6			ヤマアカガエル	○	○	○
7			トウキョウダルマガエル		○	○
8			ツチガエル		○	○
9		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル			○
10			モリアオガエル		○	○
計	2 目	5 科	9 種	2 種	7 種	9 種

注 1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和 2 年、国土交通省）に準拠した

注 2) 秋季以降新たに確認された種・エリアは赤字で示す。

表 3.4.2 両生類の季節別確認種

No.	種名	残置森林			パネル設置範囲			調整池		
		夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	トウホクサンショウウオ							○		
2	アカハライモリ					○		○		
3	アズマヒキガエル					○				
4	ニホンアマガエル				○		○	○		○
5	タゴガエル	○						○		
6	ヤマアカガエル	○			○		○	○		○
7	トウキョウダルマガエル				○	○	○	○		○
8	ツチガエル				○			○		○
9	シュレーゲルアオガエル									○
10	モリアオガエル				○			○		
計	10 種	2 種	0 種	0 種	5 種	3 種	3 種	8 種	0 種	5 種

注 1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和 2 年、国土交通省）に準拠した

表 3.4.3 両生類が多く確認された法面

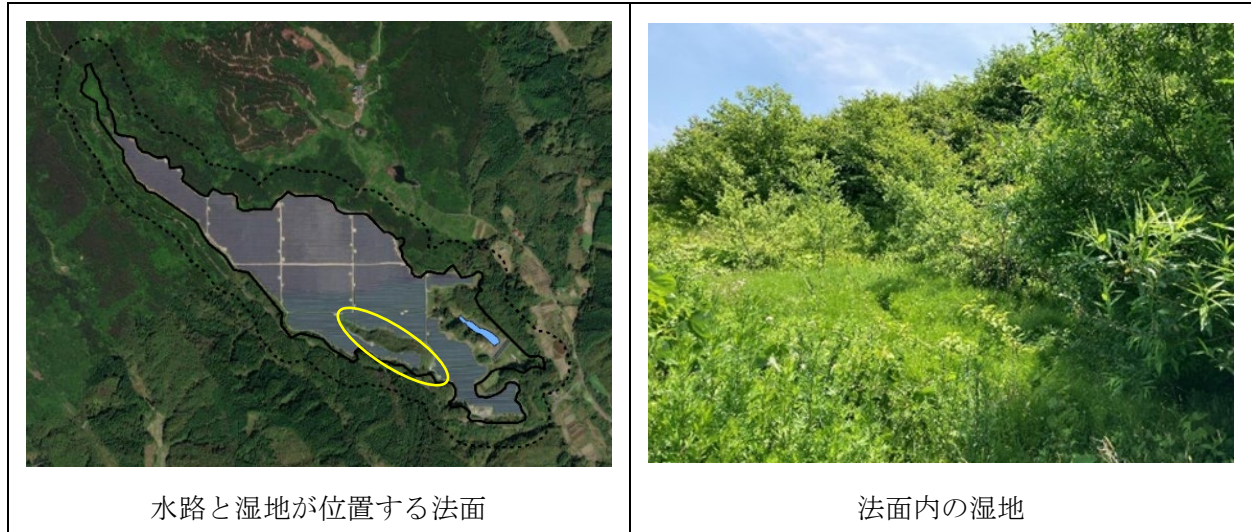


表 3.4.4 確認された爬虫類

No.	目名	科名	種名	確認場所		
				残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	有鱗目	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ		○	
2		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○
3		ナミヘビ科	アオダイショウ		○	
4		クサリヘビ科	ニホンマムシ		○	
計	1目	4科	4種	1種	4種	1種

注1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和2年、国土交通省）に準拠した

表 3.4.5 爬虫類の季節別確認種

No.	種名	残置森林			パネル設置範囲			調整池		
		夏	秋	春	夏	秋	春	夏	秋	春
1	ヒガシニホントカゲ				○					
2	ニホンカナヘビ	○			○	○		○		○
3	アオダイショウ				○					
4	ニホンマムシ				○					
計	4種	1種	0種	0種	4種	1種	0種	1種	0種	1種

注1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和2年、国土交通省）に準拠した

表 3.4.6 確認された両生類・爬虫類



ヒガシニホントカゲ (秋)



アオダイショウ (秋)



ニホンマムシ (秋)



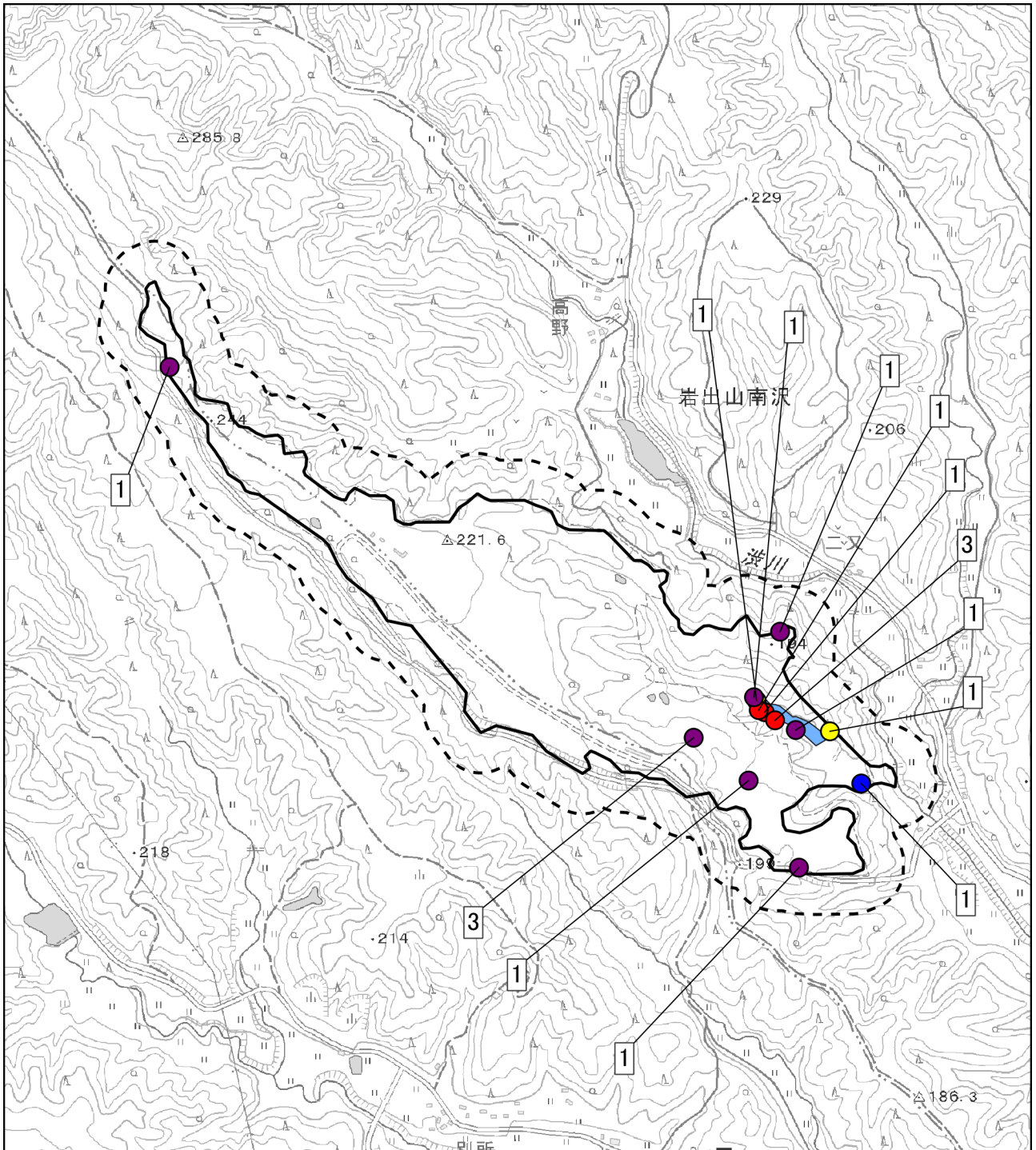
モリアオガエルの成体と卵塊 (夏)



アズマヒキガエル



トウキョウダルマガエル



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

重要種

- トウホクサンショウウオ
- アカハライモリ
- タゴガエル
- ヤマアカガエル

※図中の数字は個体数を示す

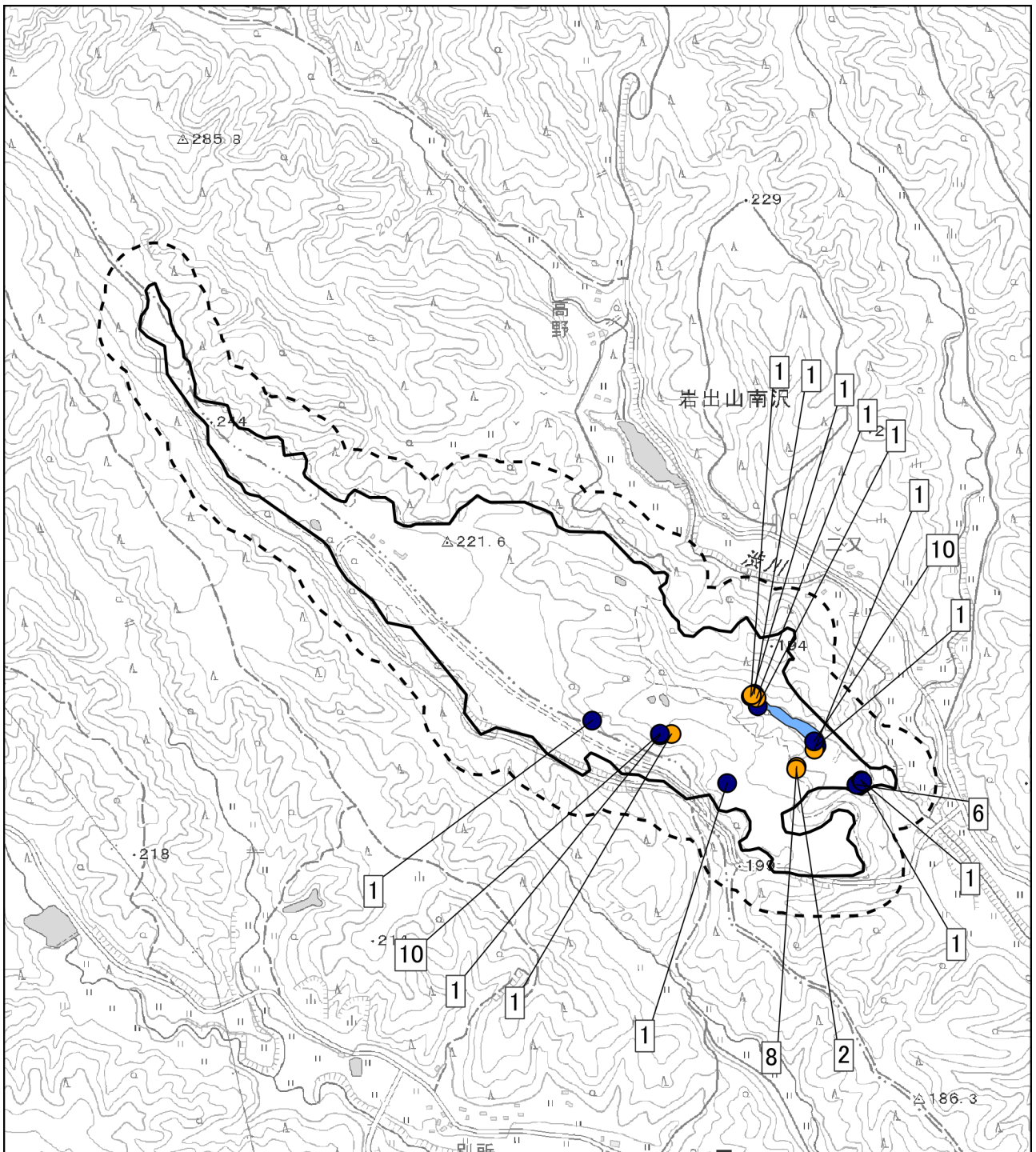


1:15000

0 100 200 300 400 500 m



図 3.4.1 両生類の確認位置 (夏季 1/3)



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

重要種

- トウキョウダルマガエル
- ツチガエル

※図中の数字は個体数を示す

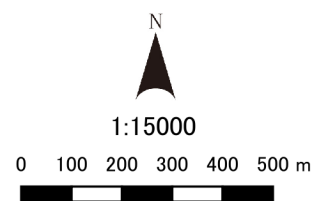
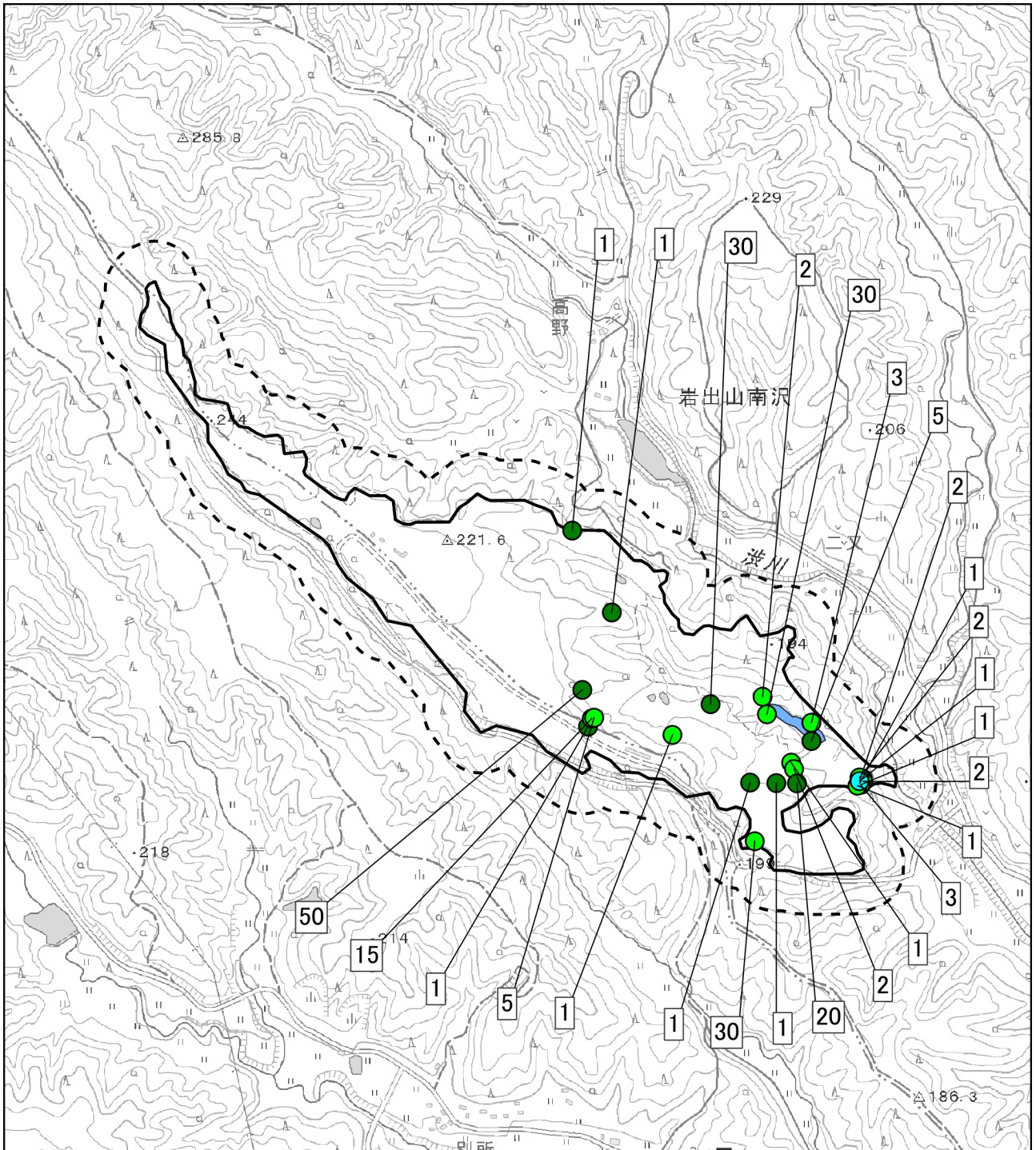


図 3.4.2 両生類の確認位置 (夏季 2/3)



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- ニホンアマガエル
- シュレーゲルアオガエル
- モリアオガエル

※図中の数字は個体数を示す

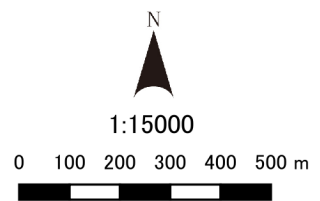
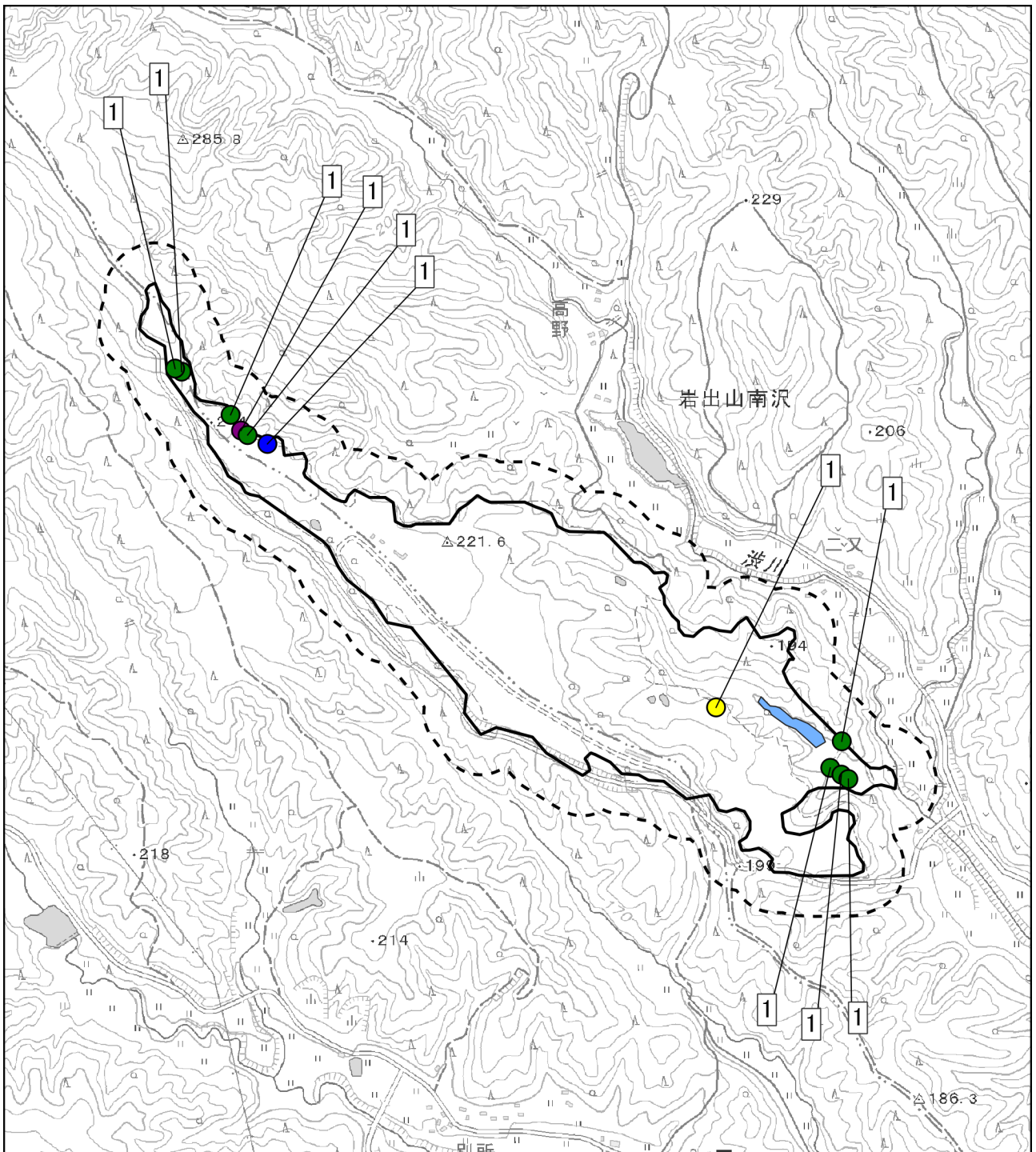


図 3.4.3 両生類の確認位置 (夏季 3/3)



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- ヒガシニホントカゲ
- ニホンカナヘビ
- アオダイショウ
- ニホンマムシ

※図中の数字は個体数を示す

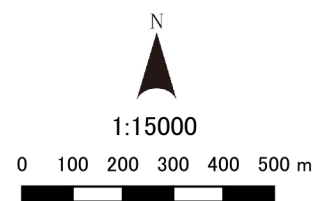


図 3.4.4 爬虫類の確認位置 (春季)

3.4.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.4.7 に示し、重要種の確認位置を図 3.4.5～図 3.4.6 に示した。また、確認状況を表 3.4.8 にまとめた。なお、爬虫類は重要種の選定基準に該当する種はなかった。

確認された重要種は、両生類、爬虫類含めて 6 種であり、調整池周辺に多い傾向にあった。

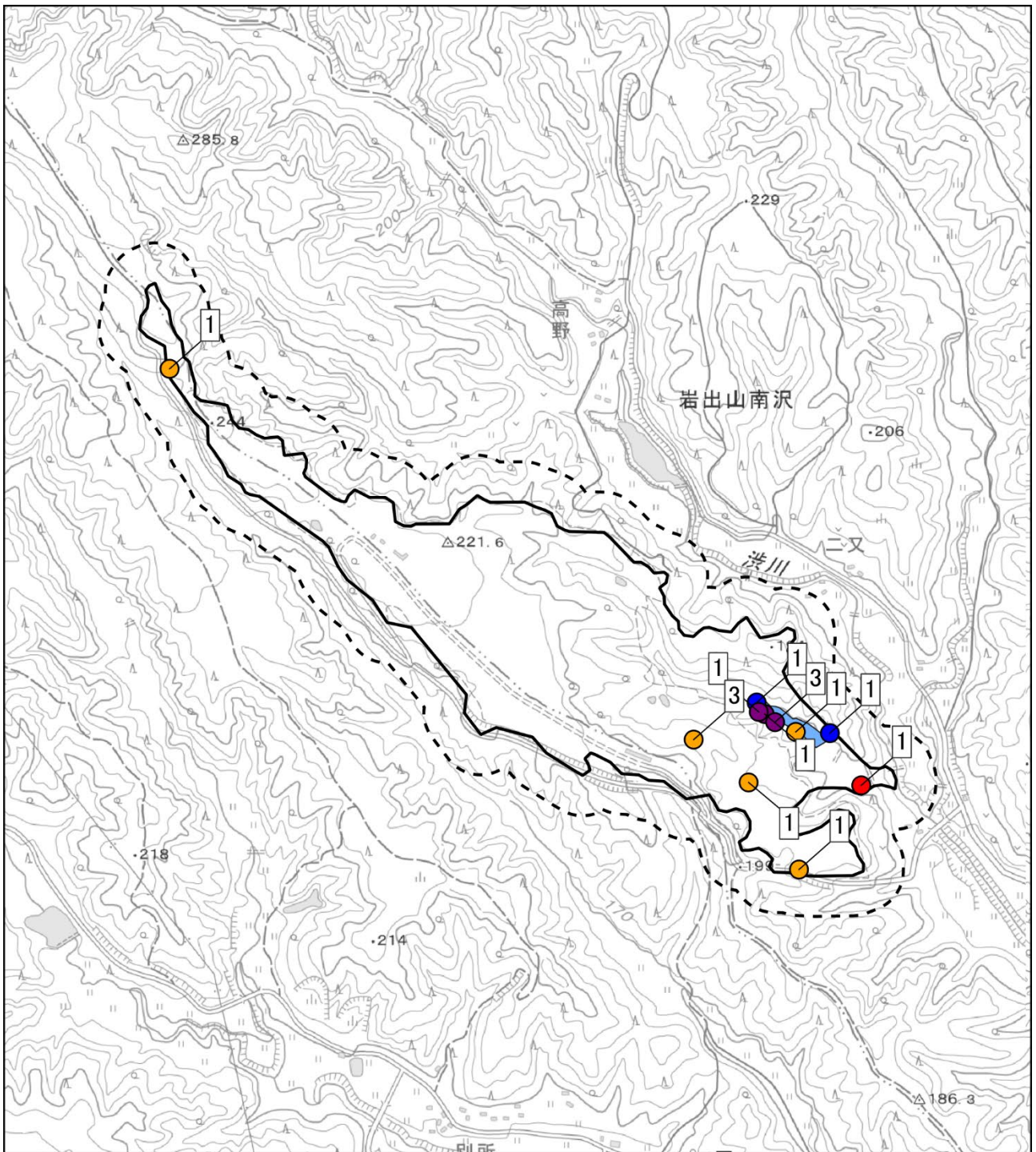
表 3.4.7 確認された重要種（両生類）

No.	目名	科名	種名	重要種の選定基準 ^{注1}				確認場所		
				I	II	III	IV	残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	有尾目	サンショウウオ科	トウホクサンショウウオ			NT	NT			○
2		イモリ科	アカハライモリ			NT	LP		○	○
3	無尾目	アカガエル科	タゴガエル				NT	○		○
4			ヤマアカガエル				NT	○	○	○
5			トウキョウダルマガエル			NT	NT		○	○
6			ツチガエル				NT		○	○
合計	2 目	3 科	6 種	0 種	0 種	3 種	6 種	2 種	3 種	6 種

注 1) III 「環境省レッドリスト 2020」(2020 年、環境省) 準絶滅危惧 (NT)

IV 「宮城県レッドリスト 2021」(2021 年度、宮城県) 準絶滅危惧 (NT)、絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)

注 2) 秋季以降新たに確認された種・エリアは赤字で示す。



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

- 両生類重要種
- アカハライモリ
 - タゴガエル
 - トウホクサンショウウオ
 - ヤマアカガエル

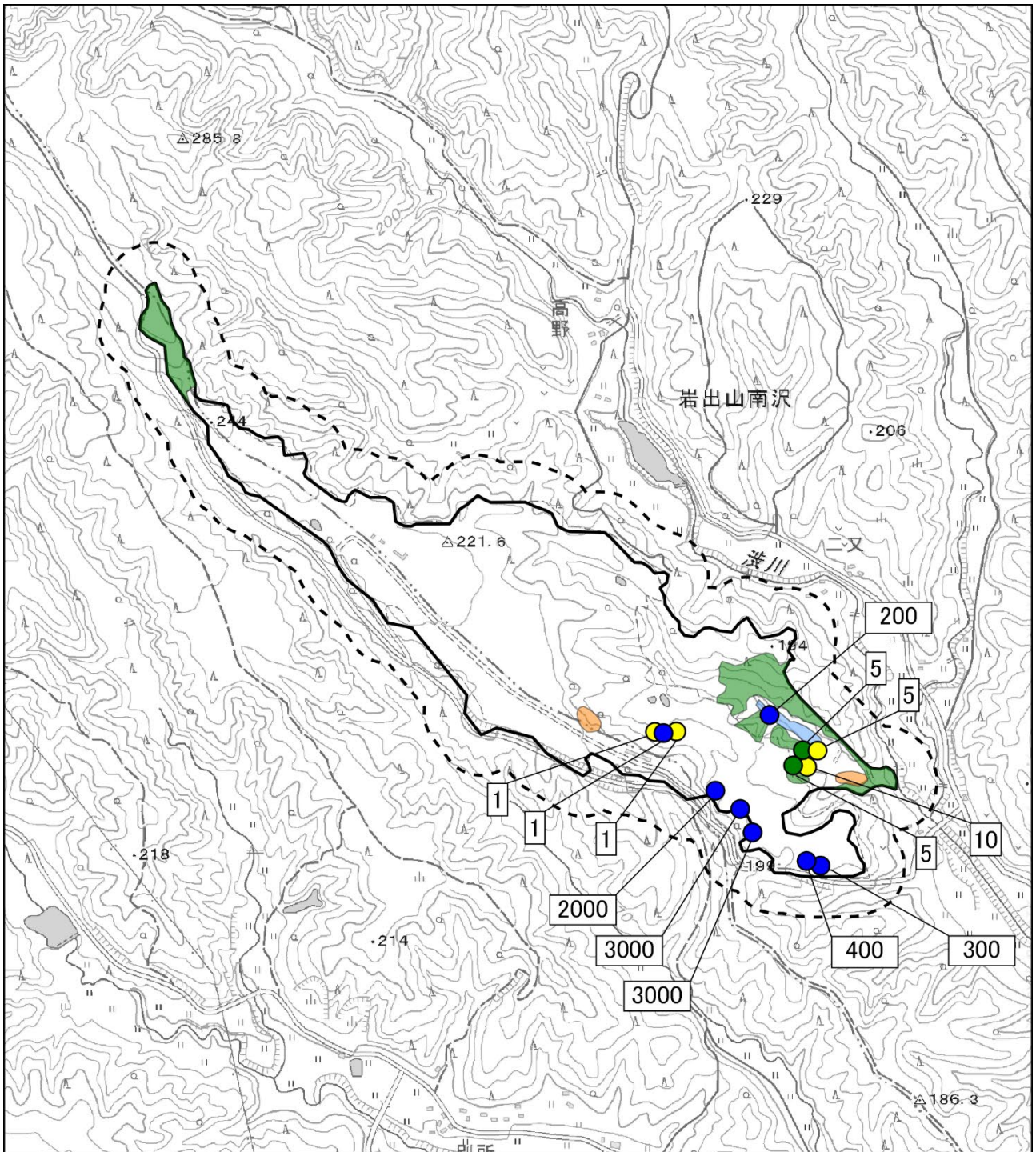


1:15000

0 100 200 300 400 500 m



図 3.4.5 両生類の重要種確認位置(夏季 1/2)



凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池
- 残置森林
- 湿地

重要種

- ヤマアカガエル
- ツチガエル
- トウキョウダルマガエル

※図中の数字は個体数を示す

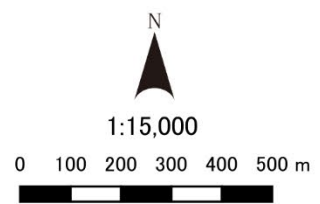


図 3.4.7 両生類の重要種確認位置 (春季)

表 3.4.8 両生類の重要種確認状況



トウホクサンショウウオ



アカハライモリ



タゴガエル



ヤマアカガエル



トウキョウダルマガエル



ツチガエル

3.5. 水生生物

3.5.1 確認種

現地調査で確認した水生生物のうち、魚類以外の水生生物を表 3.5.1 に示し、魚類の確認種を表 3.5.2 に示した。なお、今回の調査では確認種の把握を目的としており、定量的な調査は実施しておらず、種の同定後に個体をリリースした。確認個体数は種の同定に必要な個体数のみである。

確認された水生生物（魚類以外）は、9目21科35種であり、パネル設置範囲（事業地の法面内の湿地・水路）で11種、調整池で29種であった。また、確認された魚類は、ドジョウ1種であった。

表 3.5.1 確認された水生生物（魚類以外）

No.	目名	科名	種名	パネル 設置範囲	調整池	
1	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ		1	
2		サカマキガイ科	サカマキガイ		3	
3	カゲロウ目（蜉蝣目）	コカゲロウ科	Cloeon 属		1	
4	トンボ目（蜻蛉目）	アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ		4	
5		イトトンボ科	クロイトトンボ		4	
6			ムスジイトトンボ		1	
7			Paracercion 属		19	
8		ヤンマ科	オオルリボシヤンマ		2	
9		オニヤンマ科	オニヤンマ		1	
10		エゾトンボ科	エゾトンボ		1	
11		トンボ科	オオシオカラトンボ		7	1
12			ナツアカネ			11
13			マユタテアカネ			2
14			マイコアカネ			1
15			リスアカネ			1
16		カワゲラ目（セキ翅目）	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	1	
17		カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	アメンボ		1
18				コセアカアメンボ	3	1
19	アメンボ科				1	
20	カタビロアメンボ科		Microvelia 属	1		
21	コオイムシ科		オオコオイムシ		2	
22	マツモムシ科		マツモムシ		1	
23	へびトンボ目		センブリ科	Sialis 属	1	1
24	トビケラ目（毛翅目）	トビケラ科	ムラサキトビケラ		1	
25		マルバネトビケラ科	Phryganopsyche 属	2		
26	ハエ目（双翅目）	ガガンボ科	Tipula 属		1	
27	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	マメゲンゴロウ		1	
28			チャイロシマチビゲンゴロウ		3	
29			クロマメゲンゴロウ	2	3	
30			Platambus 属	1		
31			ヒメゲンゴロウ		1	
32			ガムシ科	キベリヒラタガムシ	1	2
33		ガムシ			1	
34		Laccobius 属		1		
35		マルハナノミ科		マルハナノミ科	1	
計		9目	21科	35種	11種	29種

注1) 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和2年、国土交通省）に準拠した

表 3.5.2 確認された魚類

No.	目名	科名	種名	調整池	
				個体数	体長
1	コイ目	ドジョウ科	ドジョウ	1	12.0cm
計	1 目	1 科	1 種	1 種 1 個体	

3.5.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.5.3 及び表 3.5.4 に示し、確認位置を図 3.5.1 に示した。
 確認された重要種は、モノアラガイ、ガムシ、ドジョウの 3 種であり、調整池及び周辺の水路で確認された。

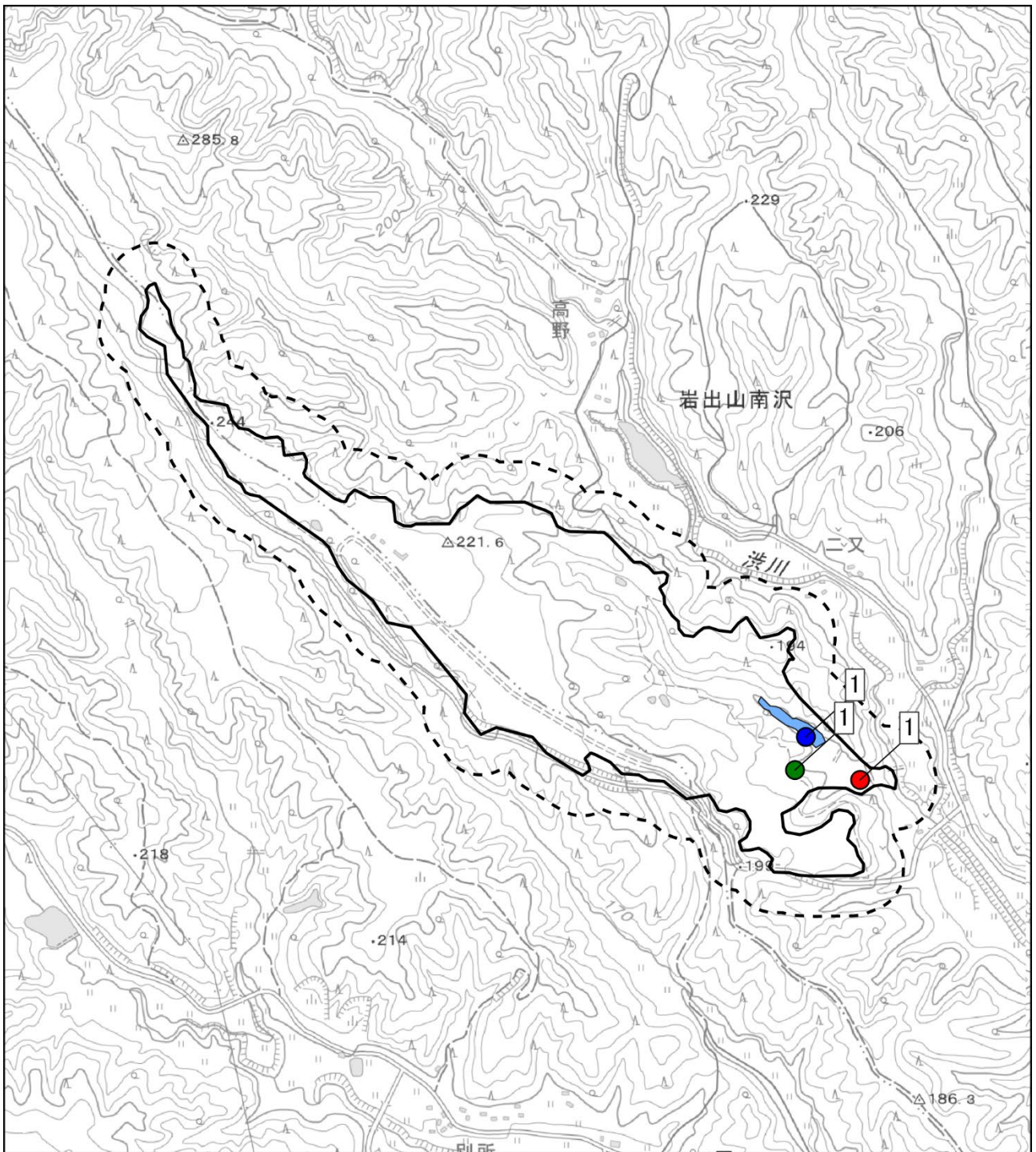
表 3.5.3 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	重要種の選定基準 ^{注1}				確認場所		
				I	II	III	IV	残置森林	パネル 設置範囲	調整池
1	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ			NT				○
2	コウチュウ目（鞘翅目）	ガムシ科	ガムシ			NT				○
3	コイ目	ドジョウ科	ドジョウ			NT				○
合計	3 目	3 科	3 種	0 種	0 種	3 種	0 種	0 種	0 種	3 種

注1) III 「環境省レッドリスト 2020」（2020 年、環境省） 準絶滅危惧（NT）

表 3.5.4 水生生物の重要種確認状況





凡例

- 事業地
- - - 調査範囲
- 調整池

- 重要種
- ガムシ
 - ドジョウ
 - モノアラガイ

※図中の数字は個体数を示す



1:15000

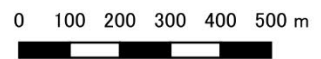


図 3.5.1 水生生物重要種確認位置

3.6. 陸上昆虫類

3.6.1 確認種

現地調査で確認した陸上昆虫類の確認種一覧を表 3.6.1 に、季節別確認種を表 3.6.2 に示す。通年で確認された陸上昆虫類は、14 目 121 科 549 種であった。春季調査では、残地森林で 66 種、パネル設置個所で 99 種、調整池で 118、全体で 187 種を新たに確認した。

残置森林では、森林性の昆虫類を中心とし、他の環境より多くの種数を確認した。パネル設置範囲では、トノサマバッタ、キタテハ、ニホンミツバチなど、主として草地性の昆虫類が確認された。調整池周辺では、オゼイトトンボ、クロイトトンボ、ハグロトンボ、ムカシヤンマなどのトンボ類の他、アメンボ、マツモムシ、イチモンジセセリなどの昆虫類を確認した。

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置森林	パネル設置範囲	調整池
1	カゲロウ目(蜉蝣目)	モンカゲロウ科	モンカゲロウ			○
2	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	オゼイトトンボ			○
3			アジアイトトンボ	○	○	○
4			クロイトトンボ			○
5			モノサシトンボ科	モノサシトンボ		
6		カワトンボ科	ハグロトンボ			○
7			ニホンカワトンボ			○
8		ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ			○
9		エゾトンボ科	コヤマトンボ			○
10		トンボ科	ショウジョウトンボ			○
11			ハラビロトンボ			○
12			シオカラトンボ		○	○
13			シオヤトンボ		○	○
14		カマキリ目(蟷螂目)	カマキリ科	オオカマキリ		
15	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Nemoura 属	○	○	○
16	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	キアシヒバリモドキ		○	
17		バッタ科	トノサマバッタ		○	
18			ナキイナゴ		○	○
19		ヒシバッタ科	コバネヒシバッタ		○	
20			Tetrix 属	○	○	○
21		ノミバッタ科	ノミバッタ		○	
22	カメムシ目(半翅目)	ツノゼミ科	トビイロツノゼミ	○	○	○
23		トゲアワフキムシ科	ムネアカアワフキ		○	
24		ヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	○	○	○
25			マエジロオオヨコバイ		○	○
26		サシガメ科	アカシマサシガメ		○	
27			クロモンサシガメ		○	
28		グンバイムシ科	トサカグンバイ	○		
29		カスミカメムシ科	ナカグロカスミカメ	○	○	
30			ツマグロアオカスミカメ	○		
31		ヒラタカメムシ科	クロヒラタカメムシ	○		○
32	ヘリカメムシ科	オオツマキヘリカメムシ	○	○	○	

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
33	カメムシ目(半翅目)	ヒメヘリカメムシ科	ブチヒメヘリカメムシ	○	○		
34		ナガカメムシ科	ヒョウタンナガカメムシ			○	
35			コバネナガカメムシ		○		
36			オオメナガカメムシ	○		○	
37			クロツヤナガカメムシ			○	
38			Nysius 属	○	○		
39			ヒゲナガカメムシ	○	○		
40			チャモンナガカメムシ	○			
41			コバネヒョウタンナガカメムシ		○		
42			ツノカメムシ科	アオモンツノカメムシ	○		
43			ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ		○	○
44		ツチカメムシ			○		
45		マルツチカメムシ			○		
46		カメムシ科	ウズラカメムシ		○		
47			オオトゲシラホシカメムシ	○	○	○	
48			ツマジロカメムシ	○		○	
49			ルリクチブトカメムシ		○	○	
50			アメンボ科	アメンボ			○
51		ヒメアメンボ			○	○	
52		ヤスマツアメンボ		○			
53		シマアメンボ				○	
54		ミズギワカメムシ科	ウスイロミズギワカメムシ	○			
55			エゾミズギワカメムシ	○			
56		ミズムシ科(昆)	Sigara 属	○			
57		メズムシ科	メズムシ	○	○		
58		コオイムシ科	オオコオイムシ	○		○	
59		マツモムシ科	マツモムシ			○	
60		ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	○	○	
61			センブリ科	Sialis 属		○	○
62	アミカゲロウ目 (脈翅目)	ヒロバカゲロウ科	ヒロバカゲロウ	○	○	○	
63		ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ		○		
64		ヒメカゲロウ科	Hemerobius 属		○		
65		クサカゲロウ科	ヤマトクサカゲロウ	○			
66	シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	キシタゲシリアゲ		○		
67			ヤマトシリアゲ			○	
68			ブライアシリアゲ			○	
69	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	Cheumatopsyche 属	○			
70			ウルマーシマトビケラ	○	○		
71			Hydropsyche 属		○		
72			エチゴシマトビケラ	○			
73		クダトビケラ科	Tinodes 属	○			
74		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○	○		
75		ヤマトビケラ科	アルタイヤマトビケラ	○			
76		ナガレトビケラ科	Rhyacophila 属	○			
77		ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	○	○		

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
78	トビケラ目(毛翅目)	カクツツトビケラ科	Lepidostoma 属	○			
79		ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ	○			
80		エグリトビケラ科	トウヨウウスバキトビケラ		○		
81		トビケラ科	アミメトビケラ	○			
82	チョウ目(鱗翅目)	ミノガ科	チャミノガ		○		
83		イラガ科	ムラサキイラガ		○		
84			イラガ				○
85		マダラガ科	キスジホソマダラ	○			
86		セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種				○
87			ダイミョウセセリ			○	
88			イチモンジセセリ				○
89			コチャバネセセリ				○
90		シジミチョウ科	ツバメシジミ			○	○
91			ベニシジミ			○	○
92		タテハチョウ科	コムラサキ				○
93			サカハチチョウ				○
94			ウラギンヒョウモン		○	○	○
95			イチモンジチョウ				○
96			コムスジ本州以南亜種			○	○
97			キタテハ			○	
98			ヒメウラナミジャノメ		○	○	○
99		アゲハチョウ科	カラスアゲハ本土亜種				○
100			クロアゲハ本土亜種			○	
101			ウスバシロチョウ		○	○	○
102		シロチョウ科	モンキチョウ			○	○
103			スジグロシロチョウ				○
104		ツトガ科	ウスムラサキノメイガ		○		
105			シロヒトモンノメイガ		○		
106			ヒメトガリノメイガ			○	
107			ハナダカノメイガ		○	○	
108			オオバツトガ		○		
109	ニカメイガモドキ			○			
110	ニカメイガ			○			
111	テンスジツトガ				○		
112	キベリハネボソノメイガ			○			
113	カギバノメイガ			○			
114	シロアヤヒメノメイガ				○		
115	スカシノメイガ			○			
116	クワノメイガ			○			
117	クロヘリキノメイガ			○	○		
118	シロテンキノメイガ			○	○		
119	クロフタオビツトガ				○		
120	ホシオビホソノメイガ			○	○		
121		Omiodes 属		○			
122		フキノメイガ			○		

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
123	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	フチグロノメイガ	○			
124			キイロノメイガ	○			
125			コガタシロモンノメイガ	○			
126			シロハラノメイガ	○			
127			ウスキモンノメイガ	○			
128			コヨツメノメイガ	○	○		
129			キムジノメイガ	○			
130			クロスジノメイガ	○	○		
131			メイガ科	マツノシンマダラメイガ	○		
132				サンカクマダラメイガ	○		
133		アカマダラメイガ		○	○		
134		カギバガ科	マエキカギバ	○			
135			フタテンシロカギバ	○			
136			ヒメウスベニトガリバ	○	○		
137			アヤトガリバ	○			
138			ナミスジトガリバ	○			
139			ヒメハイロカギバ	○			
140			オオバトガリバ	○			
141			モントガリバ	○	○		
142		シャクガ科	クロマダラエダシャク	○	○		
143			ヒメマダラエダシャク	○			
144			ナカウスエダシャク	○	○		
145			ウスイロオオエダシャク	○	○		
146			ゴマフキエダシャク	○			
147			クロクモエダシャク	○			
148			ヨモギエダシャク本州以南亜種			○	
149			ホソバハラアカアオシャク	○	○		
150			コウスアオシャク			○	
151			アカアシアオシャク	○	○		
152			セキナミシャク			○	
153			オオハガタナミシャク			○	
154			ウスジロエダシャク	○	○		
155			サラサエダシャク	○			
156			フタシロスジナミシャク	○			
157	キアミメナミシャク		○	○			
158	オイワケキエダシャク		○	○			
159	マルモンシロナミシャク		○				
160	オオナミシャク		○				
161	ツマキシロナミシャク		○				
162	カギシロスジアオシャク		○				
163	キバラヒメアオシャク		○				
164	ナミガタエダシャク		○				
165	カバイロヒメナミシャク		○				
166	フトオビエダシャク				○		
167	ウスバミスジエダシャク	○					

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池		
168	チョウ目(鱗翅目)	シヤクガ科	ハミスジエダシヤク	○				
169			ウスキヒメシヤク		○			
170			オオウスモンキヒメシヤク	○	○			
171			オイワケヒメシヤク	○				
172			マルモンヒメアオシヤク	○				
173			バラシロエダシヤク			○		
174			シタクモエダシヤク	○				
175			ホシスジシロエダシヤク	○				
176			ゴマダラシロナミシヤク	○				
177			テンモンチビエダシヤク	○				
178			ヨツメエダシヤク	○				
179			オオアヤシヤク	○				
180			ツマキリウスキエダシヤク	○				
181			ウラモンアカエダシヤク			○		
182			ウスグロナミエダシヤク	○				
183			リンゴツノエダシヤク	○	○			
184			オレクギエダシヤク	○				
185			ウスバキエダシヤク	○				
186			フタヤマエダシヤク			○		
187			クロテンシロヒメシヤク			○		
188			ウスキトガリヒメシヤク	○				
189			ギンバナヒメシヤク			○		
190			マエキヒメシヤク			○		
191			サザナミシロヒメシヤク	○	○			
192			スマレシロヒメシヤク	○				
193			ミスジシロエダシヤク	○				
194			コベニスジヒメシヤク	○				
195			ウスベニスジヒメシヤク	○				
196			ホソバナミシヤク	○				
197			フトジマナミシヤク	○				
198			モンシロツマキリエダシヤク	○		○		
199			カレハガ科		オビカレハ		○	○
200					ギンモンカレハ		○	
201			スズメガ科		ハネナガブドウスズメ	○	○	
202	クルマスズメ本土亜種	○						
203	ウンモンズズメ	○						
204	ベニスズメ	○						
205	クロテンケンモンズズメ				○			
206	モモズズメ	○			○			
207	ビロードズズメ				○			
208	シヤチホコガ科		シロテンシヤチホコ		○			
209			ホソバシヤチホコ	○	○			
210			クワゴモドキシヤチホコ	○	○			
211			ギンシヤチホコ		○			

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池
212	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	ツマジロシャチホコ	○		
213			ウスツマジロシャチホコ	○		
214			ヒナシャチホコ	○	○	
215			ハイイロシャチホコ	○		
216			ナカキシャチホコ	○	○	
217			ルリモンシャチホコ	○	○	
218			スズキシャチホコ	○		
219			オオエグリシャチホコ	○	○	
220			クロエグリシャチホコ	○		
221			トビギンボシシャチホコ	○		
222			カエデシャチホコ	○		
223			ニッコウシャチホコ	○	○	
224			クビワシャチホコ	○		
225			ウスイロギンモンシャチホコ	○		
226			ヒメシャチホコ	○		
227			オオアオシャチホコ	○		
228			アオシャチホコ	○	○	
229			ヒトリガ科	スジベニコケガ	○	○
230		キマエホソバ		○		
231		ヒメツマキホソバ			○	
232		キシタホソバ		○		
233		クロフシロヒトリ		○		
234		キマエクロホソバ		○	○	
235		ベニヘリコケガ		○		
236		フタスジヒトリ		○		
237		キバネモンヒトリ		○		
238		スジモンヒトリ		○	○	
239		アカハラゴマダラヒトリ		○		
240	ドクガ科	スカシドクガ	○			
241		スギドクガ		○		
242		リンゴドクガ		○		
243		マメドクガ	○	○		
244	ヤガ科	シロシタケンモン	○			
245		タマナヤガ		○		
246		ウスベリケンモン	○			
247		ネスジシラクモトウ	○			
248		マツバラシラクモトウ	○			
249		Araeopteron 属	○			
250		ニッコウフサヤガ	○			
251		シロテンウスグロトウ	○	○		
252		ヒメサビスジトウ		○		
253		モクメヤガ	○	○		
254		フタスジアツバ		○		
255		ウスアオモンコヤガ	○	○		
256	ナカキマエモンコヤガ		○			

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池		
257	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	カクモンキシタバ	○				
258			クロフケンモン	○				
259			オオバコヤガ			○		
260			コウスチャヤガ	○				
261			ウスイロアカフヤガ	○	○			
262			ムラサキアツバ	○				
263			オオシラホシアツバ	○				
264			シロモンコヤガ	○	○			
265			ウスキミスジアツバ	○	○			
266			シラナミアツバ	○				
267			トビスジアツバ	○				
268			クロクモヤガ	○	○			
269			ヒロオビウスグロアツバ				○	
270			タイワンキシタバ				○	
271			コウスグロアツバ	○	○			
272			ウラジロアツバ	○	○			
273			キモンコヤガ	○				
274			クロモンコヤガ				○	
275			トビフタスジアツバ	○				
276			モモイロツマキリコヤガ	○				
277			ヒメネジロコヤガ				○	
278			ツマオビアツバ	○				
279			シロヒシモンコヤガ	○	○			
280			フタホシコヤガ	○				
281			ニセウンモンクチバ	○				
282			ウンモンクチバ	○				
283			ゴマケンモン	○	○			
284			マダラキヨトウ	○	○			
285			オオフタオビキヨトウ	○	○			
286			ツマアカキヨトウ	○				
287			アカスジキヨトウ				○	
288			フタオビキヨトウ	○	○			
289			チャオビヨトウ				○	
290			マエジロヤガ	○	○			
291			シロモンアツバ	○				
292			キボシアツバ				○	
293	ヨモギコヤガ				○			
294	シロマダラコヤガ	○						
295	ニセシロマダラコヤガ	○						
296	シロフコヤガ	○	○					
297	テングアツバ				○			
298	キヅマアツバ				○			
299	イネヨトウ				○			
300	ネモンシロフコヤガ	○						
301	ハガタアオヨトウ	○						
302	ウスグロアツバ	○	○					

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
303	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キイロアツバ	○			
304			ヒメコブヒゲアツバ	○			
305			シロモンヤガ			○	
306		コブガ科	ギンボシリンガ	○			
307		ヒゲナガガ科	キオビクロヒゲナガ	○			
308		ツツミノガ科	キンバナネツツミノガ		○		
309		ハマキガ科	Eucosma 属	○			
310	ハエ目(双翅目)	ヒメガガンボ科	Geranomyia 属		○		
311			クロケブカヒメガガンボ		○		
312		ガガンボ科	Nephrotoma 属		○		
313			キリウジガガンボ		○	○	
314		Tipula 属			○	○	
315		ケバエ科	ハグロケバエ	○		○	
316		クロバネキノコバエ科	セアカクロバネキノコバエ			○	
317		コガシラアブ科	セダカコガシラアブ		○		
318		ミズアブ科	ネグロミズアブ			○	
319		アブ科	キンメアブ	○			
320			ヤマグチキンメアブ			○	
321			Tabanus 属	○	○		
322		ムシヒキアブ科	オオイシアブ			○	
323			ナミマガリケムシヒキ		○		
324		ハナアブ科	ホソヒラタアブ		○	○	
325			シマハナアブ		○		
326			ナミハナアブ		○		
327			Eumerus 属		○		
328			アシプトハナアブ	○			
329			マツムラハラプトハナアブ	○			
330			ツヤヒラタアブ			○	
331			Melanostoma 属			○	
332			ミナミヒメヒラタアブ			○	○
333			ホソヒメヒラタアブ	○			
334		ミバエ科	フキハマダラミバエ		○		
335			ナミガタハマダラミバエ		○		
336		クロバエ科	ミヤマキンバエ		○		
337			ツマグロキンバエ		○		
338		コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	コホソクビゴミムシ		○	
339			オサムシ科	ニセマルガタゴミムシ		○	
340	オオホシボシゴミムシ				○		
341	ウスモンミズギワゴミムシ			○			
342	ヨツボシミズギワゴミムシ			○			
343	キモンナガミズギワゴミムシ			○			
344	フタモンミズギワゴミムシ			○			
345	キアシルリミズギワゴミムシ			○			
346	クロオサムシ東北地方東部亜種						○
347	ニセコガシラアオゴミムシ		○				

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池		
348	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アトボシアオゴミムシ		○			
349			オオアオモリヒラタゴミムシ	○	○			
350			ヤセアトキリゴミムシ			○		
351			ベーツホソアトキリゴミムシ				○	
352			アカアシマルガタゴモクムシ			○		
353			フタホシアトキリゴミムシ		○			
354			カワチマルクビゴミムシ		○			
355			アオヘリアトキリゴミムシ		○			
356			ヒロムネナガゴミムシ			○		
357			トックリナガゴミムシ			○		
358			コガシラナガゴミムシ		○	○	○	
359			キンナガゴミムシ		○	○		
360			アシミヅナガゴミムシ		○	○		
361			ヨリトモナガゴミムシ			○		
362			マルガタツヤヒラタゴミムシ		○			
363			オオクロツヤヒラタゴミムシ		○			
364			ヨツモンコムズギワゴミムシ		○	○	○	
365	ハンミョウ科		トウキョウヒメハンミョウ			○		
366			マガタマハンミョウ			○		
367			ナミハンミョウ			○		
368	ゲンゴロウ科		マメゲンゴロウ	○	○			
369			トウホクナガケシゲンゴロウ	○				
370			チャイロシマチビゲンゴロウ	○				
371			ヒメゲンゴロウ			○		
372	ガムシ科				○			
373	シデムシ科		オオヒラタシデムシ		○			
374			オオモモトシデムシ		○			
375			クロシデムシ	○				
376			ヨツボシモンシデムシ	○				
377			クロボシヒラタシデムシ	○				
378	ハネカクシ科		アカバハバビロオオハネカクシ 北海道・本州亜種		○			
379			ムネビロハネカクシ		○			
380			ルイスオオアリガタハネカクシ				○	
381			ツマキツヤナガハネカクシ				○	
382			クロサビイロマルズオオハネカクシ			○		
383			サビハネカクシ	○			○	
384			クロガネトガリオオズハネカクシ			○		
385			ヤマトデオキノコムシ				○	
386			マルハナノミ科		ムネモンマルハナノミ			○
387					ウスチャチビマルハナノミ			○
388	トビイロマルハナノミ	○				○		
389	コガネムシ科		コアオハナムグリ			○		
390			ヒメビロウドコガネ	○	○	○		
391			クロマルエンマコガネ	○				

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
392	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ミドリツヤナガタマムシ			○	
393			アオグロナガタマムシ			○	
394			シロオビナカボソタマムシ		○	○	
395			コウゾチビタマムシ	○			
396			ヤナギチビタマムシ	○	○		
397			アカガネチビタマムシ			○	
398			ダンダラチビタマムシ			○	
399			ヤノナミガタチビタマムシ	○			
400			コメツキムシ科	サビキコリ	○	○	○
401				コガタヒメサビキコリ			○
402	ヒメクロコメツキ				○		
403	ツマグロヒラタコメツキ	○					
404	ダイミョウヒラタコメツキ	○			○		
405	クロハナコメツキ	○					
406	オオハナコメツキ				○		
407	キバネホソコメツキ	○					
408	カバイロコメツキ	○					
409	ヨツモンミズギワコメツキ			○			
410	クロツヤハダコメツキ				○		
411	Melanotus 属	○					
412	ヒゲコメツキ	○		○			
413	マダラチビコメツキ			○			
414	クチブトコメツキ			○			
415	ヒラタクシコメツキ	○	○	○			
416	ジョウカイボン科	クロヒメクビボソジョウカイ			○		
417		Asiopodabrus 属	○				
418		Hatchiana 属	○				
419		クロジョウカイ		○			
420		トウホクジョウカイ			○		
421		ウスチャジョウカイ		○			
422		ヒメジョウカイ	○	○	○		
423		ジョウカイボン	○				
424		セボンジョウカイ	○				
425		Lycocerus 属	○		○		
426	ヒガシマルムネジョウカイ	○					
427	ベニボタル科	カクムネベニボタル			○		
428	ジョウカイモドキ科	クロアオケシジョウカイモドキ	○				
429		ツマキアオジョウカイモドキ	○	○	○		
430	ムクゲキスイムシ科	ケマダラムクゲキスイ		○	○		
431		カタモンムクゲキスイ		○	○		
432		アカグロムクゲキスイ			○		
433		ハスモンムクゲキスイ			○		
434	キスイモドキ科	キスイモドキ	○		○		
435	テントウムシ科	シロジョウシホシテントウ	○	○			
436		ヒメアカホシテントウ		○			

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池		
437	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ナナホシテントウ		○	○		
438			ナミテントウ			○		
439			ジュウサンホシテントウ			○		
440			セスジヒメテントウ	○				
441			ウスキホシテントウ				○	
442			ヒメカメノコテントウ				○	○
443			コクロヒメテントウ	○				
444		ヒメマキムシ科	ウスチャケシマキムシ	○				
445		ケシキスイ科	クロモンクゲケシキスイ				○	
446			ヨツモンヒラタケシキスイ				○	
447			ムネアカチビケシキスイ				○	
448			キベリチビケシキスイ				○	
449			アミモンヒラタケシキスイ				○	
450			ウスオビカクケシキスイ				○	
451		ヒメハナムシ科	ベニモンアシナガヒメハナムシ				○	
452		アリモドキ科	キアシクビボソムシ				○	
453			ヨツボシホソアリモドキ	○				
454		クビナガムシ科	クビカクシナガクチキムシ	○				
455		ホソカタムシ科	ノコギリホソカタムシ				○	
456		ナガクチキムシ科	アオバナガクチキ				○	
457		カミキリモドキ科	アオカミキリモドキ	○				
458			モモフトカミキリモドキ	○	○		○	
459			マダラカミキリモドキ	○				
460		アカハネムシ科	ムナビロアカハネムシ				○	
461		ハナノミダマシ科	クロフナガタハナノミ			○		
462		ゴミムシダマシ科	ナミアオハムシダマシ			○	○	
463			コスナゴミムシダマシ			○		
464			スジコガシラゴミムシダマシ			○		
465			フジナガハムシダマシ	○		○	○	
466		カミキリムシ科	キスジトラカミキリ				○	
467			カラカネハナカミキリ	○				
468			キバネニセハムシハナカミキリ	○				
469	キクスイカミキリ				○	○		
470	キタセスジヒメハナカミキリ		○		○			
471	トガリシロオビサビカミキリ		○					
472	アトモンサビカミキリ				○			
473	ハムシ科	キクビアオハムシ	○			○		
474		アカバナカミナリハムシ			○	○		
475		Altica 属			○			
476		ムナグロツヤハムシ	○		○	○		
477		ヒメジンガサハムシ	○					
478		アオカメノコハムシ			○			
479		ツツジムシクソハムシ	○					
480		ヨモギハムシ	○		○			
481		ヤナギハムシ					○	

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池	
482	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ミドリビハムシ			○	
483			バラリリツツハムシ	○	○	○	
484			コヤツボシツツハムシ	○	○	○	
485			ヤツボシツツハムシ	○			
486			クロボシツツハムシ		○		
487			クワハムシ		○	○	
488			イタドリハムシ			○	
489			コガタリハムシ	○	○		
490			フジハムシ			○	○
491			ケブカクロナガハムシ	○			
492			コフキケブカサルハムシ	○			
493			ルリマルノミハムシ	○		○	
494			ドウガネツヤハムシ	○		○	
495			アワクビボソハムシ	○	○		
496			ムネアカキバネサルハムシ			○	
497			マルキバネサルハムシ			○	
498			アトボシハムシ	○			
499			タマアシトビハムシ			○	
500			ヤナギルリハムシ	○		○	
501			フタホシオオノミハムシ	○			
502			アカタデハムシ	○			
503			キボシルリハムシ			○	
504			ムナキルリハムシ			○	○
505			イチモンジカメノコハムシ				○
506			ヒゲナガゾウムシ科	ワタミヒゲナガゾウムシ	○		
507				スネアカヒゲナガゾウムシ		○	
508				シロヒゲナガゾウムシ	○		
509				ヒゲナガホソクチゾウムシ	○		○
510				ヒレルホソクチゾウムシ			○
511			オトシブミ科	ウスモンオトシブミ			○
512				ヒメクロオトシブミ	○		
513				シリプトチョッキリ			○
514				カシルリオトシブミ	○		
515		ゴマダラオトシブミ				○	
516		アシナガオトシブミ				○	
517		ヒメコブオトシブミ				○	
518		ゾウムシ科	アトジロカレキゾウムシ			○	
519			イチゴハナゾウムシ	○		○	
520			アキグミシギゾウムシ	○		○	
521			オオタコゾウムシ			○	
522			コフキゾウムシ	○	○	○	
523			オオゴボウゾウムシ			○	
524			アイノカツオゾウムシ			○	
525			カシワクチブトゾウムシ	○		○	
526			ムネスジノミゾウムシ			○	

表 3.6.1 確認された昆虫類 (1/13)

No.	目名	科名	種名	残置 森林	パネル 設置範囲	調整池
527	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カシワノミゾウムシ	○		
528			アカアシノミゾウムシ	○		
529			ツノクモゾウムシ			○
530			ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ		○	
531			サビヒョウタンゾウムシ		○	○
532			ツメクサタネコバンゾウムシ		○	
533		オサゾウムシ科	オオゾウムシ		○	
534	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	Pachyprotasis 属	○	○	
535		アリ科	ヤマトアシナガアリ	○		
536			ムネアカオオアリ	○		○
537			ハヤシクロヤマアリ	○	○	○
538			クロヤマアリ	○	○	○
539			トビイロケアリ	○	○	○
540			アメイロアリ	○	○	
541			アズマオオズアリ	○	○	○
542			アミアリ		○	
543			ムネボソアリ		○	
544			スズメバチ科	カタグロチビドロバチ		○
545		クモバチ科	Anoplius 属		○	
546		ミツバチ科	ニホンミツバチ		○	
547			トラマルハナバチ本土亜種		○	
548	オオマルハナバチ本土亜種			○		
549	キオビツヤハナバチ			○	○	
計	14 目	121 科	549 種	311 種	261 種	157 種

注1. 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年、国土交通省)に準拠した
 注2. 春季新たに確認された種・エリアは赤字で示す

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
1	モンカゲロウ						○
2	オゼイトトンボ					○	
3	アジアイトトンボ		○		○		○
4	クロイトトンボ					○	
5	モノサシトンボ					○	
6	ハグロトンボ					○	
7	ニホンカワトンボ						○
8	ムカシヤンマ					○	
9	コヤマトンボ					○	
10	ショウジョウトンボ					○	
11	ハラビロトンボ					○	
12	シオカラトンボ			○		○	
13	シオヤトンボ				○	○	○
14	オオカマキリ						○
15	Nemoura 属		○		○		○
16	キアシヒバリモドキ			○			
17	トノサマバッタ			○			
18	ナキイナゴ			○		○	
19	コバネヒシバッタ				○		
20	Tetrix 属	○		○	○		○
21	ノミバッタ				○		
22	トビイロツノゼミ	○	○		○		○
23	ムネアカアワフキ				○		
24	ツマグロオオヨコバイ		○		○		○
25	マエジロオオヨコバイ			○	○		○
26	アカシマサシガメ				○		
27	クロモンサシガメ				○		
28	トサカグンバイ	○					
29	ナカグロカスミカメ	○		○			
30	ツマグロアオカスミカメ	○					
31	クロヒラタカメムシ	○					○
32	オオツマキヘリカメムシ		○		○		○
33	ブチヒメヘリカメムシ	○		○	○		
34	ヒョウタンナガカメムシ						○
35	コバネナガカメムシ				○		
36	オオメナガカメムシ		○			○	
37	クロツヤナガカメムシ						○
38	Nysius 属	○		○			
39	ヒゲナガカメムシ		○	○			
40	チャモンナガカメムシ		○				
41	コバネヒョウタンナガカメムシ			○			
42	アオモンツノカメムシ		○				
43	ヒメツチカメムシ				○		○
44	ツチカメムシ				○		
45	マルツチカメムシ				○		

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
46	ウズラカメムシ			○			
47	オオトゲシラホシカメムシ	○		○	○		○
48	ツマジロカメムシ	○					○
49	ルリクチブトカメムシ				○		○
50	アメンボ					○	○
51	ヒメアメンボ				○		○
52	ヤスマツアメンボ	○					
53	シマアメンボ					○	
54	ウスイロミズギワカメムシ	○					
55	エゾミズギワカメムシ	○					
56	Sigara 属	○					
57	メミズムシ	○		○	○		
58	オオコオイムシ	○				○	
59	マツモムシ					○	
60	ヤマトクロスジヘビトンボ	○		○			
61	Sialis 属				○		○
62	ヒロバカゲロウ	○		○	○		○
63	ウスバカゲロウ						○
64	Hemerobius 属						○
65	ヤマトクサカゲロウ	○					
66	キシタゲシリアゲ				○		
67	ヤマトシリアゲ					○	○
68	ブライアシリアゲ					○	○
69	Cheumatopsyche 属	○					
70	ウルマーシマトビケラ	○		○			
71	Hydropsyche 属				○		
72	エチゴシマトビケラ	○					
73	Tinodes 属	○					
74	ヒゲナガカワトビケラ	○		○	○		
75	アルタイヤマトビケラ	○					
76	Rhyacophila 属	○					
77	ニンギョウトビケラ	○		○	○		
78	Lepidostoma 属	○					
79	アオヒゲナガトビケラ	○					
80	トウヨウウスバキトビケラ			○			
81	アミメトビケラ	○					
82	チャミノガ				○		
83	ムラサキイラガ			○			
84	イラガ						○
85	キスジホソマダラ	○					
86	アオバセセリ本土亜種					○	
87	ダイミョウセセリ				○		
88	イチモンジセセリ					○	
89	コチャバネセセリ					○	
90	ツバメシジミ			○		○	○

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
91	ベニシジミ			○	○		○
92	コムラサキ					○	
93	サカハチチョウ						○
94	ウラギンヒョウモン	○		○		○	
95	イチモンジチョウ					○	
96	コムスジ本州以南亜種			○		○	○
97	キタテハ			○	○		
98	ヒメウラナミジヤノメ		○	○	○	○	
99	カラスアゲハ本土亜種					○	○
100	クロアゲハ本土亜種			○			
101	ウスバシロチョウ		○		○		○
102	モンキチョウ			○	○	○	○
103	スジグロシロチョウ					○	○
104	ウスムラサキノメイガ		○				
105	シロヒトモンノメイガ	○					
106	ヒメトガリノメイガ			○			
107	ハナダカノメイガ	○		○			
108	オオバツトガ	○					
109	ニカメイガモドキ	○					
110	ニカメイガ	○					
111	テンスジツトガ			○			
112	キベリハネボソノメイガ	○					
113	カギバノメイガ	○					
114	シロアヤヒメノメイガ			○			
115	スカシノメイガ	○					
116	クワノメイガ	○					
117	クロヘリキノメイガ	○		○			
118	シロテンキノメイガ	○		○			
119	クロフタオビツトガ			○			
120	ホシオビホソノメイガ	○		○			
121	Omiodes 属	○					
122	フキノメイガ			○			
123	フチグロノメイガ	○					
124	キイロノメイガ	○					
125	コガタシロモンノメイガ	○					
126	シロハラノメイガ	○					
127	ウスキモンノメイガ	○					
128	コヨツメノメイガ	○		○			
129	キムジノメイガ	○					
130	クロスジノメイガ	○		○			
131	マツノシンマダラメイガ	○					
132	サンカクマダラメイガ	○					
133	アカマダラメイガ	○		○			
134	マエキカギバ	○					
135	フタテンシロカギバ	○	○				

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
136	ヒメウスベニトガリバ	○		○			
137	アヤトガリバ	○					
138	ナミスジトガリバ	○					
139	ヒメハイイロカギバ	○					
140	オオバトガリバ	○					
141	モントガリバ	○		○			
142	クロマダラエダシヤク	○		○			
143	ヒメマダラエダシヤク	○					
144	ナカウスエダシヤク	○		○			
145	ウスイロオオエダシヤク	○		○			
146	ゴマフキエダシヤク	○					
147	クロクモエダシヤク	○					
148	ヨモギエダシヤク本州以南亜種			○			
149	ホソバハラアカアオシヤク	○		○			
150	コウスアオシヤク				○		
151	アカアシアオシヤク	○		○			
152	セキナミシヤク				○		
153	オオハガタナミシヤク			○			
154	ウスジロエダシヤク	○			○		
155	サラサエダシヤク	○					
156	フタシロスジナミシヤク	○					
157	キアミメナミシヤク	○		○			
158	オイワケキエダシヤク	○		○			
159	マルモンシロナミシヤク	○					
160	オオナミシヤク	○					
161	ツマキシロナミシヤク	○					
162	カギシロスジアオシヤク	○					
163	キバラヒメアオシヤク	○					
164	ナミガタエダシヤク	○					
165	カバイロヒメナミシヤク	○					
166	フトオビエダシヤク			○			
167	ウスバミスジエダシヤク	○					
168	ハミスジエダシヤク	○					
169	ウスキヒメシヤク			○			
170	オオウスモンキヒメシヤク	○		○			
171	オイワケヒメシヤク	○					
172	マルモンヒメアオシヤク	○					
173	バラシロエダシヤク			○			
174	シタクモエダシヤク	○					
175	ホシスジシロエダシヤク	○					
176	ゴマダラシロナミシヤク	○					
177	テンモンチビエダシヤク	○					
178	ヨツメエダシヤク	○					
179	オオアヤシヤク	○					
180	ツマキリウスキエダシヤク	○					

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
181	ウラモンアカエダシヤク				○		
182	ウスグロナミエダシヤク	○					
183	リンゴツノエダシヤク	○		○			
184	オレクギエダシヤク	○					
185	ウスバキエダシヤク	○					
186	フタヤマエダシヤク			○			
187	クロテンシロヒメシヤク			○			
188	ウスキトガリヒメシヤク	○					
189	ギンバネヒメシヤク			○			
190	マエキヒメシヤク			○			
191	サザナミシロヒメシヤク	○		○			
192	スマレシロヒメシヤク	○					
193	ミスジシロエダシヤク	○					
194	コベニスジヒメシヤク	○					
195	ウスベニスジヒメシヤク	○					
196	ホソバナミシヤク	○					
197	フトジマナミシヤク	○					
198	モンシロツマキリエダシヤク	○			○		
199	オビカレハ			○			○
200	ギンモンカレハ			○			
201	ハネナガブドウズメ	○		○	○		
202	クルマズメ本土亜種	○					
203	ウンモンズメ	○					
204	ベニスズメ	○					
205	クロテンケンモンズメ			○			
206	モモズメ	○		○			
207	ビロードズメ			○			
208	シロテンシャチホコ			○			
209	ホソバシャチホコ	○		○			
210	クワゴモドキシャチホコ	○		○	○		
211	ギンシャチホコ			○			
212	ツマジロシャチホコ	○					
213	ウスヅマシャチホコ	○					
214	ヒナシャチホコ	○		○			
215	ハイロシャチホコ	○					
216	ナカキシャチホコ	○		○			
217	ルリモンシャチホコ	○		○			
218	スズキシャチホコ	○					
219	オオエグリシャチホコ	○			○		
220	クロエグリシャチホコ	○					
221	トビギンボシシャチホコ	○					
222	カエデシャチホコ	○					
223	ニッコウシャチホコ	○		○			
224	クビワシャチホコ	○					
225	ウスイロギンモンシャチホコ	○					

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
226	ヒメシャチホコ	○					
227	オオアオシャチホコ	○					
228	アオシャチホコ	○		○	○		
229	スジベニコケガ	○		○			
230	キマエホソバ	○					
231	ヒメツマキホソバ			○			
232	キシタホソバ	○					
233	クロフシロヒトリ	○					
234	キマエクロホソバ	○		○			
235	ベニヘリコケガ	○					
236	フタスジヒトリ	○					
237	キバネモンヒトリ	○					
238	スジモンヒトリ	○		○			
239	アカハラゴマダラヒトリ	○					
240	スカシドクガ	○					
241	スギドクガ				○		
242	リンゴドクガ				○		
243	マメドクガ	○			○		
244	シロシタケンモン	○					
245	タマナヤガ			○			
246	ウスベリケンモン	○					
247	ネスジシラクモヨトウ	○					
248	マツバラシラクモヨトウ	○					
249	Araeopteron 属	○					
250	ニッコウフサヤガ	○					
251	シロテンウスグロヨトウ	○		○			
252	ヒメサビスジヨトウ			○			
253	モクメヤガ	○		○			
254	フタスジアツバ			○			
255	ウスアオモンコヤガ	○		○			
256	ナカキマエモンコヤガ			○			
257	カクモンキシタバ	○					
258	クロフケンモン	○					
259	オオバコヤガ			○			
260	コウスチャヤガ	○					
261	ウスイロアカフヤガ	○		○			
262	ムラサキアツバ	○					
263	オオシラホシアツバ	○					
264	シロモンコヤガ	○		○			
265	ウスキミスジアツバ	○		○			
266	シラナミアツバ	○					
267	トビスジアツバ	○					
268	クロクモヤガ	○		○			
269	ヒロオビウスグロアツバ				○		
270	タイワンキシタアツバ			○			

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
271	コウスグロアツバ	○		○			
272	ウラジロアツバ	○		○			
273	キモンコヤガ	○					
274	クロモンコヤガ			○			
275	トビフタスジアツバ	○					
276	モモイロツマキリコヤガ	○					
277	ヒメネジロコヤガ			○			
278	ツマオビアツバ	○					
279	シロヒシモンコヤガ	○		○			
280	フタホシコヤガ	○					
281	ニセウンモンクチバ	○	○				
282	ウンモンクチバ	○					
283	ゴマケンモン	○		○			
284	マダラキヨトウ	○		○			
285	オオフタオビキヨトウ	○		○			
286	ツマアカキヨトウ	○					
287	アカスジキヨトウ			○			
288	フタオビキヨトウ	○		○			
289	チャオビヨトウ			○			
290	マエジロヤガ	○		○			
291	シロモンアツバ	○					
292	キボシアツバ			○			
293	ヨモギコヤガ			○			
294	シロマダラコヤガ	○					
295	ニセシロマダラコヤガ	○					
296	シロフコヤガ	○		○			
297	テングアツバ			○			
298	キヅマアツバ			○			
299	イネヨトウ			○			
300	ネモンシロフコヤガ	○					
301	ハガタアオヨトウ	○					
302	ウスグロアツバ	○		○			
303	キイロアツバ	○					
304	ヒメコブヒゲアツバ	○					
305	シロモンヤガ			○			
306	ギンボシリガ	○					
307	キオビクロヒゲナガ		○				
308	キンバネツツミノガ				○		
309	Eucosma 属		○				
310	Geranomyia 属				○		
311	クロケバカヒメガガンボ				○		
312	Nephrotoma 属			○			
313	キリウジガガンボ				○		○
314	Tipula 属			○			○
315	ハグロケバエ		○				○

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
316	セアカクロバネキノコバエ						○
317	セダカコガシラアブ				○		
318	ネグロミズアブ						○
319	キンメアブ	○					
320	ヤマグチキンメアブ						○
321	Tabanus 属	○		○			
322	オオイシアブ						○
323	ナミマガリケムシヒキ				○		
324	ホソヒラタアブ				○		○
325	シマハナアブ				○		
326	ナミハナアブ				○		
327	Eumerus 属				○		
328	アシプトハナアブ		○				
329	マツムラハラプトハナアブ	○					
330	ツヤヒラタアブ				○		
331	Melanostoma 属			○			
332	ミナミヒメヒラタアブ				○		○
333	ホソヒメヒラタアブ	○					
334	フキハマダラミバエ			○			
335	ナミガタハマダラミバエ			○			
336	ミヤマキンバエ			○			
337	ツマグロキンバエ				○		
338	コホソクビゴミムシ				○		
339	ニセマルガタゴミムシ			○	○		
340	オオホシボシゴミムシ				○		
341	ウスモンミズギワゴミムシ	○					
342	ヨツボシミズギワゴミムシ	○					
343	キモンナガミズギワゴミムシ	○					
344	フタモンミズギワゴミムシ	○					
345	キアシルリミズギワゴミムシ	○					
346	クロオサムシ東北地方東部亜種						○
347	ニセコガシラアオゴミムシ	○					
348	アトボシアオゴミムシ				○		
349	オオアオモリヒラタゴミムシ	○		○			
350	ヤセアトキリゴミムシ				○		
351	ベーツホソアトキリゴミムシ						○
352	アカアシマルガタゴモクムシ				○		
353	フタホシアトキリゴミムシ		○				
354	カワチマルクビゴミムシ	○					
355	アオヘリアトキリゴミムシ		○				
356	ヒロムネナガゴミムシ				○		
357	トックリナガゴミムシ			○			
358	コガシラナガゴミムシ	○		○	○		○
359	キンナガゴミムシ	○		○	○		
360	アシミゾナガゴミムシ	○		○	○		

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
361	ヨリトモナゴミムシ				○		
362	マルガタツヤヒラタゴミムシ	○					
363	オオクロツヤヒラタゴミムシ	○					
364	ヨツモンコムズギワゴミムシ	○			○		○
365	トウキョウヒメハンミョウ					○	
366	マガタマハンミョウ						○
367	ナミハンミョウ					○	
368	マメゲンゴロウ	○			○		
369	トウホクナガケシゲンゴロウ	○					
370	チャイロシマチビゲンゴロウ	○					
371	ヒメゲンゴロウ					○	
372	キベリヒラタガムシ				○		
373	オオヒラタシデムシ				○		
374	オオモモブトシデムシ			○			
375	クロシデムシ	○					
376	ヨツボシモンシデムシ		○				
377	クロボシヒラタシデムシ		○				
378	アカバハバビロオオハネカクシ北海道・本州亜種				○		
379	ムネビロハネカクシ			○	○		
380	ルイスオオアリガタハネカクシ						○
381	ツマキツヤナガハネカクシ						○
382	クロサビイロマルズオオハネカクシ				○		
383	サビハネカクシ		○				○
384	クロガネトガリオズハネカクシ				○		
385	ヤマトデオキノコムシ						○
386	ムネモンマルハナノミ						○
387	ウスチャチビマルハナノミ						○
388	トビイロマルハナノミ	○					○
389	コアオハナムグリ						○
390	ヒメビロウドコガネ	○	○		○		○
391	クロマルエンマコガネ		○				
392	ミドリツヤナガタマムシ						○
393	アオグロナガタマムシ						○
394	シロオビナカボソタマムシ				○		○
395	コウゾチビタマムシ		○				
396	ヤナギチビタマムシ	○	○		○		
397	アカガネチビタマムシ						○
398	ダンダラチビタマムシ						○
399	ヤノナミガタチビタマムシ	○					
400	サビキコリ		○	○	○	○	○
401	コガタヒメサビキコリ						○
402	ヒメクロコメツキ						○
403	ツماغロヒラタコメツキ		○				
404	ダイミョウヒラタコメツキ		○				○
405	クロハナコメツキ		○				

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
406	オオハナコメツキ						○
407	キバネホソコメツキ		○				
408	カバイロコメツキ		○				
409	ヨツモンミズギワコメツキ			○			
410	クロツヤハダコメツキ						○
411	Melanotus 属	○					
412	ヒゲコメツキ	○		○			
413	マダラチビコメツキ				○		
414	クチプトコメツキ			○			
415	ヒラタクシコメツキ		○		○		○
416	クロヒメクビボソジョウカイ						○
417	Asiopodabrus 属	○					
418	Hatchiana 属	○					
419	クロジョウカイ				○		
420	トウホクジョウカイ						○
421	ウスチャジョウカイ				○		
422	ヒメジョウカイ		○		○		○
423	ジョウカイボン	○					
424	セボシジョウカイ	○					
425	Lycocerus 属		○				○
426	ヒガシマルムネジョウカイ	○					
427	カクムネベニボタル						○
428	クロアオケシジョウカイモドキ		○				
429	ツマキアオジョウカイモドキ	○	○	○	○		○
430	ケマダラムクゲキスイ				○		○
431	カタモンムクゲキスイ				○		○
432	アカグロムクゲキスイ						○
433	ハスモンムクゲキスイ						○
434	キスイモドキ		○				○
435	シロジュウシホシテントウ		○		○		
436	ヒメアカホシテントウ				○		
437	ナナホシテントウ			○	○	○	
438	ナミテントウ						○
439	ジュウサンホシテントウ			○			
440	セスジヒメテントウ		○				
441	ウスキホシテントウ						○
442	ヒメカメノコテントウ			○		○	
443	コクロヒメテントウ		○				
444	ウスチャケシマキムシ		○				
445	クロモンムクゲケシキスイ						○
446	ヨツモンヒラタケシキスイ						○
447	ムネアカチビケシキスイ						○
448	キベリチビケシキスイ						○
449	アミモンヒラタケシキスイ						○
450	ウスオビカクケシキスイ						○

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
451	ベニモンアシナガヒメハナムシ						○
452	キアシクビボソムシ						○
453	ヨツボシホソアリモドキ		○				
454	クビカクシナガクチキムシ		○				
455	ノコギリホソカタムシ						○
456	アオバナガクチキ						○
457	アオカミキリモドキ	○					
458	モモプトカミキリモドキ		○		○		○
459	マダラカミキリモドキ		○				
460	ムナビロアカハネムシ						○
461	クロフナガタハナミ				○		
462	ナミアオハムシダマシ				○		○
463	コスナゴミムシダマシ				○		
464	スジコガシラゴミムシダマシ			○	○		
465	フジナガハムシダマシ	○	○	○	○		○
466	キスジトラカミキリ					○	
467	カラカネハナカミキリ		○				
468	キバネニセハムシハナカミキリ		○				
469	キクスイカミキリ			○	○		○
470	キタセズジヒメハナカミキリ		○		○		
471	トガリシロオビサビカミキリ		○				
472	アトモンサビカミキリ				○		
473	キクビアオハムシ		○				○
474	アカバナカミナリハムシ				○		○
475	Altica 属			○			
476	ムナグロツヤハムシ		○		○		○
477	ヒメジンガサハムシ	○					
478	アオカメノコハムシ				○		
479	ツツジムシクソハムシ	○					
480	ヨモギハムシ	○		○			
481	ヤナギハムシ						○
482	ミドリトビハムシ						○
483	バラルリツツハムシ		○	○	○		○
484	コヤツボシツツハムシ		○		○		○
485	ヤツボシツツハムシ		○				
486	クロボシツツハムシ				○		
487	クワハムシ			○			○
488	イタドリハムシ				○		
489	コガタルリハムシ		○	○	○		
490	フジハムシ				○		○
491	ケブカクロナガハムシ	○					
492	コフキケブカサルハムシ	○					
493	ルリマルノミハムシ	○					○
494	ドウガネツヤハムシ		○				○
495	アワクビボソハムシ	○		○			

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
496	ムネアカキバネサルハムシ			○			
497	マルキバネサルハムシ			○			
498	アトボシハムシ		○				
499	タマアシトビハムシ				○		
500	ヤナギルリハムシ		○				○
501	フタホシオオノミハムシ		○				
502	アカタデハムシ		○				
503	キボシルリハムシ						○
504	ムナキルリハムシ				○		○
505	イチモンジカメノコハムシ						○
506	ワタミヒゲナガゾウムシ		○				
507	スネアカヒゲナガゾウムシ				○		
508	シロヒゲナガゾウムシ	○					
509	ヒゲナガホソクチゾウムシ	○					○
510	ヒレルホソクチゾウムシ						○
511	ウスモンオトシブミ						○
512	ヒメクロオトシブミ		○				
513	シリプトチョッキリ				○		
514	カシルリオトシブミ		○				
515	ゴマダラオトシブミ						○
516	アシナガオトシブミ						○
517	ヒメコブオトシブミ						○
518	アトジロカレキゾウムシ						○
519	イチゴハナゾウムシ		○				○
520	アキグミシギゾウムシ		○				○
521	オオタコゾウムシ			○			
522	コフキゾウムシ		○	○	○	○	○
523	オオゴボウゾウムシ				○		
524	アイノカツオゾウムシ			○			
525	カシワクチブトゾウムシ		○				○
526	ムネスジノミゾウムシ			○			
527	カシワノミゾウムシ	○					
528	アカアシノミゾウムシ	○					
529	ツノクモゾウムシ						○
530	ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ				○		
531	サビヒョウタンゾウムシ				○		○
532	ツメクサタネコバンゾウムシ			○			
533	オオゾウムシ				○		
534	Pachyprotasis 属		○		○		
535	ヤマトアシナガアリ	○					
536	ムネアカオオアリ	○	○			○	
537	ハヤシクロヤマアリ	○	○		○		○
538	クロヤマアリ	○	○	○	○		○
539	トビイロケアリ	○	○		○		○
540	アメイロアリ	○			○		

表 3.6.2 昆虫類の季節別確認種 (1/13)

No.	種名	残置森林		パネル設置範囲		調整池	
		夏	春	夏	春	夏	春
541	アズマオオズアリ	○		○	○		○
542	アミアリ			○			
543	ムネボソアリ		○				
544	カタグロチビドロバチ			○			
545	Anoplius 属			○			
546	ニホンミツバチ			○			
547	トラマルハナバチ本土亜種			○			
548	オオマルハナバチ本土亜種			○			
549	キオビツヤハナバチ		○	○			
計	549 種	245 種	77 種	162 種	128 種	39 種	131 種

3.6.2 重要種

現地調査で確認された重要種を表 3.6.3 に示し、重要種の確認位置を図 3.6.1 に示した。
 確認された重要種はナミハンミョウ 1 種であり、調整池周辺で確認した。

表 3.6.3 確認された重要種（陸上昆虫類）

No.	目名	科名	種名	重要種の選定基準 ^{注1}				確認場所		
				I	II	III	IV	残置森林	パネル 設置範囲	調整池
1	コウチュウ目（鞘翅目）	ハンミョウ科	ナミハンミョウ				NT			○
合計	1 目	1 科	1 種	0 種	0 種	0 種	1 種	0 種	0 種	1 種

注 1) IV 「宮城県レッドリスト 2021」（2021 年度、宮城県） 準絶滅危惧（NT）

4. 残存環境・新たな環境の現況及び課題整理

4.1. 調査結果の概要

夏季調査の結果と、秋季・冬季調査の結果から、各環境で見られた重要種や特徴のある種などを表 4.1.1 に整理した。

表 4.1.1 古川メガソーラーの生物相の特徴等

項目	残置森林	パネル設置範囲	調整池周辺
植生	コナラ群落、スギ・ヒノキ植林、モウソウチク林など	草刈りによって維持されている草地	ミクリ群落などの湿生植物群落あり
植物計 375 種	クリ、コナラ、コマユミ、フタリシズカなど 263 種 主に山地樹林や林縁に生育する木本および草本	ハルガヤ、カモジグサ、ヘビイチゴなど 193 種 主に空地、路傍などの明るい草地に生育する草本	ミクリ、その他湿性植物など 111 種 主に湿った環境に生育する低木および草本
哺乳類計 12 種	カモシカ の利用を事業地の各所で確認		
	ニホンリス、ツキノワグマ、ネズミ類など 9 種	ノウサギ 、タヌキ、キツネなど 11 種	イタチ、イノシシ、ツキノワグマなど 10 種
鳥類計 51 種	ノスリの営巣 ハチクマ 、 サンショウクイ 、ヨタカ、ヤマドリなど、27 種 主に、山地樹林にみられる種	コチドリ 、 ヒバリの営巣 キジ、 ハヤブサ 、 ツグミ など 28 種 主に、市街地、農耕地、草地にみられる種	カイツブリの営巣 カモ類 、 アカゲラ 、 ベニマシコ など 29 種 主に、河川・湖沼にみられる種
両生類計 10 種	タゴガエル 、 ヤマアカガエル の 2 種	アカハライモリ 、 アズマヒキガエル 、 ヤマアカガエル など 7 種	トウホクサンショウウオ 、 アカハライモリ 、 タゴガエル 、 ヤマアカガエル 、など 9 種
爬虫類計 4 種	ニホンカナヘビの 1 種	ヒガシニホントカゲ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ニホンマムシの 4 種 (全種確認)	ニホンカナヘビの 1 種
水生生物計 35 種	—	オオシオカラトンボ、コセアカアメンボ、クロマメゲンゴロウなど 11 種	モノアラガイ、ガムシ、ドジョウ、ナツアカネなど 29 種
陸上昆虫計 549 種	ゴミムシ類、ハムシ類など森林性の昆虫類 311 種	トノサマバッタ、キタテハ、ニホンミツバチ、 コガネヒシバッタ など、主として草地性の昆虫類 261 種	ナミハンミョウ 、オゼイトトンボ、クロイトトンボ、 モンカゲロウ 、ムカシヤンマなどのトンボ類の他、 カクムネベニボタル 、マツモムシ、イチモンジセセリなど 157 種

赤字：重要種 黄色：秋以降の更新部分

4.2. 現況および課題について

4.2.1 残存した環境（残置森林）

(1) 現状

- ・ ノスリの営巣が確認された。ノスリは、ネズミ、カエル類、小型鳥類を餌資源とし、高齢針葉樹や岩壁を営巣適地とする。耕作地、調整池と隣接しているほか、残置森林にスギが生育していたことが、ノスリの営巣に適していたと考えられる。春季調査においても同地点でノスリの親鳥とひなの鳴き声を確認しており、今後も繰り返し利用されていくと推察される。
- ・ コゲラ、アオゲラなどのキツツキ類が確認された。キツツキ類は枯れ木、枯れかけの木に営巣するため、整備されたきれいな森林ではない残置森林の環境を好んで生育していると推察される。
- ・ 年間通して天然記念物のカモシカが確認されている。本来カモシカは落葉広葉樹林や針広混交林に生息するため、ソーラー発電施設が生息環境を分断していることが懸念されたが問題なく生息していると考えられる。

(2) 課題

- ・ 現時点において、残置森林の環境で大きな問題は発生していない。

4.2.2 新たに形成された環境（パネル設置範囲、調整池）

(1) 現状

- ・ パネル設置範囲でコチドリ営巣が確認された。コチドリは本来、砂浜や河川畔、水田などに営巣するため、管理用通路に敷き詰められた砂利がコチドリにとって新たな営巣環境として機能したと考えられる。また春季調査においても、夏季に営巣を確認した地点で親鳥（つがい）が営巣場所を探している様子が確認された。継続的に営巣している可能性がある。
- ・ 同地点でヒバリの営巣も確認された。ヒバリは、丈の低い草地を好み、草の根元に植物の葉や茎を利用して営巣する。当事業地では、除草剤を使わず作業員が手作業で刈り払いを行っているため、ヒバリの営巣に適した草地環境が創出されたといえる。春季調査では新たな巣は確認できなかったが、今後も刈り払いを続けることで初夏にまた産卵する可能性は高い。
- ・ 鳥類がパネル上に止まり、周囲を見渡す様子が頻繁に確認された。人工物も上手に利用して生活していることがうかがえる。
- ・ 今回確認されたトウホクサンショウウオ、カエル類は、幼生は水中で、成体は林内で生活する。そのため、残置森林に隣接して調整池が作られたことで、両生類の生育に適した環境が創出されたといえる。また、調整池が完全コンクリート張りでないため、両生類が上陸しやすい環境となっている。
- ・ パネル設置範囲においてノウサギが確認された。確認地点は残置森林や湿地近くのパネル設置範囲であり、そこをめぐらとして利用し、猛禽類等、上空の天敵から身を隠せるパネル下等を移動経路として利用していると考えられる。
- ・ 調整池では冬鳥として飛来するカモ類が数多く確認された。カモ類は水辺のヨシ原などにすむものが多く、水際に湿生植物や灌木類が生育している環境を好んで飛来したと考えられる。また、同様の場所を好むベニマシコも確認されている。
- ・ 調整池付近ではカワセミも確認されている。カワセミは小型の魚類を餌資源とするため、調整池内には今回確認できなかったドジョウ以外の魚類が生息していると推測される。

- ・ パネル設置範囲、調整池においてもカモシカが確認された。ソーラー発電施設は必ずしも悪影響を及ぼしているわけではなく、新しく創出された環境も何らかの形で利用していると推察される。

(2) 課題

- ・ 哺乳類の侵入防止柵が施されているが、イノシシの掘り返しが多発し、フェンス下部からの中型哺乳類の侵入が確認されている。また、シカなどの大型哺乳類も敷地内で確認されており、フェンスを飛び越えて侵入している可能性が高い。発電所が動物の移動経路を完全に分断していることはない反面、感電や鳥獣被害のリスクが生じている、動物への感電対策や鳥獣被害対策は今一度検討する必要がある。
- ・ パネル設置範囲内を囲う形で側溝があり、そこで両生類や虫類が多く確認された。雨があると水がたまり産卵が可能な環境になるが、深い側溝のため、一度入ると出られなくなる可能性が高い。成体になったばかりの小さい個体は、小枝などを上って脱出することが可能なため、枯れ木等をスロープ状に立てかけるなどの対策をすることが望ましい。
- ・ 調整池下流の湿地で重要種のミクリ、アカハライモリ、ツチガエル、ガムシなどが確認されている。特に、ミクリ、ガムシは敷地内ではこの湿地でしか確認されておらず、重要種保全の観点からこの湿地を維持する必要がある。しかしながら周辺には、ササやヨシが繁茂しており、今後放置することで地下水位が低下し、湿地環境が失われる可能性がある。今後この湿地を維持するためには、地下水位や水みちの分布を把握して湿性環境を改善するとともに、ササ、ヨシの定期的な刈り取り・搬出が求められる。
- ・ 調査中に確認されたコチドリやヒバリの営巣地について、誤って荒らしたり踏みつぶしたりすることのないよう、カラスプレーで印をつけた。また、今後営巣が確認された時にもこの対策を継続していただけるよう、事務所スタッフへ依頼した。今後も継続して実施されることが望ましい。



凡例

- 事業地
- 調整池
- 調査範囲

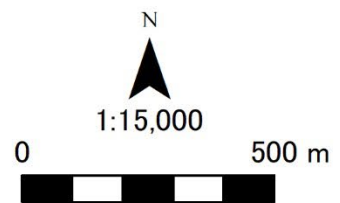


図 4.2.1 事業地の現状と課題

資 料

植物の現地確認種一覧 資 1

植物の現地確認種一覧(1/5)

No.	目名	科名	種名	学名	残地 森林	パネル 設置範囲	調整池
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ(広義)	<i>Huperzia serrata</i>	○		
2	トクサ	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>		○	○
3	ゼンマイ	ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>	○	○	○
4	ウラボシ	コバノイシカグマ	オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i>		○	○
5			ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>	○	○	
6		イノモトソウ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>	○		
7		ヒメシダ	ヒメワラビ	<i>Macrothelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i>		○	
8			ミゾシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>	○		
9		コウヤワラビ	イヌガンソク	<i>Onoclea orientalis</i>		○	○
10			コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>		○	
11			クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i>	○	○	
12		シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>	○	○	
13		メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>	○	○	○
14			サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i>		○	
15			ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>	○		
16			ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i>		○	
17			ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i>		○	
18			シケシダ	<i>Deparia japonica</i>	○	○	
19			ミヤマシケシダ(広義)	<i>Deparia pycnosora</i>		○	
20			キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>		○	
21		オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>	○		
22			リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>	○	○	○
23			ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>		○	
24			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i>	○		
25			オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	○		
26			ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>	○		
27			ミヤマイタチシダ	<i>Dryopteris sabaiei</i>	○		
28			オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>		○	
29			イワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	○		
30			イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i>	○	○	
31			サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>	○	○	
32			ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>	○		
33	マツ	マツ	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	○	○	
34	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>		○	
35			スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>	○	○	
36	シキミ	マツブサ	マツブサ	<i>Schisandra repanda</i>	○		
37	センリョウ	センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i>	○		
38			フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>	○		
39	コショウ	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>		○	
40		ウマノスズクサ	トウゴクサイシン	<i>Asarum tohokuense</i>	○		
41	モクレン	モクレン	ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>	○		
42	クスノキ	クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>	○		
43	オモダカ	サトイモ	マムシグサ	<i>Arisaema japonicum</i>	○		
44	ヤマノイモ	ヤマノイモ	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	○	○	○
45	ユリ	シュロソウ	ツクバネソウ	<i>Paris tetraphylla</i>	○		
46			エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i>	○		
47		イヌサフラン	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>	○		
48		サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>	○	○	
49			タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>	○		
50			ヤマカシュウ	<i>Smilax sieboldii</i>	○		
51		ユリ	オオウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> var. <i>glehnii</i>	○		
52			ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>	○		
53			ヤマジノホトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>	○	○	
54	クサスギカズラ	ラン	ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	○		
55			シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>	○		
56		クサスギカズラ	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>	○		
57			ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>	○		
58			ユキザサ	<i>Maianthemum japonicum</i>	○		
59			ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>	○		
60	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○	○	
61	イネ	ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>			○
62			ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>	○		○
63		イグサ	イグサ	<i>Juncus decipiens</i>		○	○
64			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	○	○	○
65		カヤツリグサ	ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i>		○	
66			ミヤマシラスゲ	<i>Carex confertiflora</i>		○	○
67			ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>	○		
68			アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>		○	○
69			ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i>		○	
70			ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>	○	○	
71			テキリスゲ	<i>Carex kiotensis</i>	○		
72			ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>	○		
73			ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i>		○	○
74			ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i>	○	○	
75			ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i>	○		
76			ヒメゴウソ	<i>Carex phacota</i>		○	
77			アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>		○	○
78			タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	○		
79			ミチノクホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> var. <i>cuneata</i>	○		
80			ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> var. <i>japonica</i>			○

植物の現地確認種一覧(2/5)

No.	目名	科名	種名	学名	残地 森林	パネル 設置範囲	調整池
81			シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>			○
82			イヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora japonica</i>	○		
83			カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i>			○
84		イネ	ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> var. <i>nukabo</i>	○	○	
85			コスカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>	○	○	
86			ハイコスカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>	○	○	○
87			ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	○	○	
88			キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i>	○	○	
89			ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i>		○	
90			カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	○	○	
91			ヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>		○	
92			カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>		○	○
93			オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	○	○	
94			シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>	○	○	
95			アズマガヤ	<i>Hystrix duthiei</i> ssp. <i>longearistata</i>	○		
96			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>		○	
97			ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i>	○	○	
98			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	○	○	○
99			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>	○		
100			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○	○
101			コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>	○		○
102			ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>	○	○	
103			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>			○
104		ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>	○	○	○	
105		モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>	○			
106		アズマネザサ	<i>Pleoblastus chino</i>	○			
107		スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>			○	
108		イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i>	○			
109		ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>			○	
110		チマキザサ	<i>Sasa palmata</i>	○	○		
111		クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>	○			
112		オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	○	○	○	
113		シバ	<i>Zoysia japonica</i>		○		
114	キンボウゲ	ケシ	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>	○	○	○
115		アケビ	ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>	○	○	
116		メギ	キバナイカリソウ	<i>Epimedium koreanum</i>	○		
117		キンボウゲ	オオバシヨウマ	<i>Cimicifuga japonica</i> var. <i>macrophylla</i>	○		
118			セリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> var. <i>major</i>	○		
119			ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	○	○	○
120			キツネノボタン	<i>Ranunculus slierifolius</i>		○	
121		ヤマモガシ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>	○		
122	ユキノシタ	マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>japonica</i>	○			
123		カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>		○		
124		ユキノシタ	<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i>	○	○		
125		バンケイソウ	<i>Sedum bulbiferum</i>			○	
126	ブドウ	ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	○	○	
127			ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>		○	
128			ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i>	○		
129			サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i>		○	
130	マメ	マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>julibrissin</i>		○	
131			ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>	○	○	○
132			ホドイモ	<i>Apios fortunei</i>	○		
133			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>		○	○
134			メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>		○	
135			ハイメドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>serpens</i>		○	
136			ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> var. <i>pilosa</i>		○	
137			ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> ssp. <i>japonicus</i>		○	
138			クズ	<i>Pueraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>	○	○	○
139			ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	○	○	
140			クララ	<i>Sophora flavescens</i>		○	
141			コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	○	○	○
142			ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>		○	○
143			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	○	○	○
144			ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> ssp. <i>nigra</i>		○	
145			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>	○	○	○
146	バラ	クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i>	○	○	
147			ケンボナンシ	<i>Hovenia dulcis</i>	○		
148			クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	○		
149		ニレ	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>			○
150		アサ	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> var. <i>cordifolius</i>	○		
151			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>	○		
152		クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i>	○	○	○
153			ヤマグワ	<i>Morus australis</i>	○	○	
154		イラクサ	アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>	○	○	○
155			ウワバミンソウ	<i>Elatostema involucratum</i>		○	○
156	ミズ		<i>Pilea hamaoi</i>		○		
157		アオミズ	<i>Pilea pumila</i>			○	
158	バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> var. <i>japonica</i>	○			
159		アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i>	○			
160		ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i>	○			

植物の現地確認種一覧(3/5)

No.	目名	科名	種名	学名	残地 森林	パネル 設置範囲	調整池
161			ヤマブキシヨウマ	<i>Aruncus dioicus</i> var. <i>kamtschaticus</i>	○	○	
162			カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i>	○	○	
163			ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>			○
164			オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>	○		
165			コゴメウツギ	<i>Neillia incisa</i>	○	○	
166			イヌザクラ	<i>Padus buergeriana</i>	○		
167			ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i>	○		
168			ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i>			○
169			キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i>		○	
170			ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i>	○	○	
171			ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebichigo</i>	○	○	○
172			ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>	○		
173			ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>		○	○
174			クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>	○	○	○
175			ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>		○	
176			モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>	○		○
177			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>		○	
178	ブナ	ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>	○		
179			ブナ	<i>Fagus crenata</i>	○		
180			ミズナラ	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	○		
181			コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>	○		
182		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	○		
183		カバノキ	ケヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i>	○	○	○
184			オオバヤシヤブシ	<i>Alnus sieboldiana</i>		○	
185			サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> var. <i>cordata</i>	○		
186			アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	○		
187			ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	○		
188	ウリ	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>	○	○	
189	ニシキギ	ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>	○		
190			コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>	○		
191			ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>fortunei</i>	○		
192			ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	○		
193			マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>	○		
194	カタバミ	カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>		○	
195			エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>	○	○	
196	キントラノオ	トウダイグサ	シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i>	○		
197		ヤナギ	バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>		○	○
198			シロヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i>	○	○	○
199			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>	○		○
200			カワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> ssp. <i>gymnolepis</i>	○		
201			タチヤナギ	<i>Salix triandra</i>		○	○
202			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>	○	○	○
203			キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> ssp. <i>vulpina</i>	○	○	
204		スマレ	エイザンスマレ	<i>Viola eizanensis</i>	○		
205			タチツボスマレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>	○		
206			オオタチツボスマレ	<i>Viola kusanoana</i>	○	○	○
207			アケボノスマレ	<i>Viola rossii</i>	○		
208			スマレサイシン	<i>Viola vaginata</i>	○		
209			ツボスマレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>verecunda</i>	○	○	○
210			マキノスマレ	<i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i>	○		
211		オトギリソウ	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i>	○	○	
212			コケオトギリ	<i>Hypericum laxum</i>	○		
213	フウロソウ	フウロソウ	ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i>		○	
214			ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>		○	
215	フトモモ	アカバナ	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>			○
216			メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>		○	○
217	ミツバウツギ	ミツバウツギ	ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i>	○		
218		キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>	○	○	○
219	ムクロジ	ウルシ	スルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>	○	○	○
220			ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> ssp. <i>orientale</i>	○		
221			ヤマハゼ	<i>Toxicodendron sylvestri</i>		○	
222			ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i>	○	○	
223		ムクロジ	オオモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>amoenum</i>	○		
224			ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>matsumurae</i>	○		
225			ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i>	○		○
226			ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>		○	
227			ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i>	○		
228			エンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>dissectum</i>	○	○	
229			オニイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i>	○	○	○
230			ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i>	○		
231		ミカン	コクサギ	<i>Orixa japonica</i>	○		
232			サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	○		
233	アブラナ	アブラナ	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i>		○	
234			マメゲンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	○		
235			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>		○	○
236			スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i>			○
237	ビャクダン	ビャクダン	ツクバネ	<i>Buckleya lanceolata</i>	○		
238	ナデシコ	タデ	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>			○
239			ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i>	○	○	○
240			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>		○	○

植物の現地確認種一覧(4/5)

No.	目名	科名	種名	学名	残地 森林	パネル 設置範囲	調整池
241			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>	○		
242			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>	○		
243			オオミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>stoloniferum</i>	○		○
244			ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	○	○	○
245			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> ssp. <i>pyrenaicus</i>	○	○	
246			ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>		○	
247			エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	○	○	○
248		ナデシコ	オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i>	○		
249			ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> ssp. <i>vulgare</i> var. <i>angustifolium</i>		○	
250			オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>		○	○
251			スイセンノウ	<i>Silene coronaria</i>		○	
252			ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	○	○	
253			コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○		○
254		ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>	○	○	○
255			アリタノウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>			○
256		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>	○	○	
257	ミズキ	ミズキ	ミズキ	<i>Cornus controversa</i> var. <i>controversa</i>	○	○	
258			ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> ssp. <i>kousa</i>	○		
259			クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>	○		
260		アジサイ	ツルアジサイ	<i>Calypttranthe petiolaris</i>	○		
261			ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>	○		
262			ノリウツギ	<i>Heteromalla paniculata</i>		○	
263			エゾアジサイ	<i>Hortensia cuspidata</i>	○		
264	ツツジ	ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>			○
265			ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i>	○		○
266		サクラソウ	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> var. <i>japonica</i>	○		
267			オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>	○	○	○
268			コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i>	○	○	
269		ハイノキ	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i>	○		
270		エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>	○	○	○
271			ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i>	○		
272		マタタビ	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i> var. <i>arguta</i>		○	
273			マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>	○		
274		リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	○		
275		ツツジ	ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i>	○		
276			ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>	○		
277			バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>	○		
278			ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>	○		
279	アオキ	アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>	○		
280	リンドウ	アカネ	ククルマムグラ	<i>Galium japonicum</i>	○		
281			ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>		○	
282			ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>	○	○	
283			アカネ	<i>Rubia argyi</i>	○		
284			ハナヤエムグラ	<i>Sherardia arvensis</i>		○	
285		リンドウ	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>	○		
286	ナス	ナス	イガホオズキ	<i>Physalisstrum echinatum</i>	○		
287	シソ	モクセイ	マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	○		
288		オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>		○	○
289			ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>		○	
290			タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>		○	
291			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>		○	
292		シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>	○	○	○
293			クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>	○	○	○
294			イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>micranthum</i>	○		○
295			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>	○	○	○
296			ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>	○		
297			カメノヒキオコシ	<i>Isodon umbrosus</i> var. <i>leucanthus</i>			○
298			ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i>	○		
299			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>		○	
300			ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>	○		
301		サギゴケ	ムラサキサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i>		○	
302		ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	<i>Phryma oblongifolia</i>	○		
303		キリ	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>		○	
304		キツネノマゴ	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i> var. <i>procumbens</i>		○	
305	モチノキ	ハナイカダ	ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>	○		
306		モチノキ	ハイイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>	○		
307			アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>		○	
308			ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>	○		
309	キク	キキョウ	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i>	○		
310			ミゾカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>	○		
311		キク	オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>	○		
312			キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>	○		
313			オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>		○	
314			ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	○	○	○
315			シロヨメナ	<i>Aster leiophyllus</i> var. <i>leiophyllus</i>	○		
316			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>	○	○	
317			シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>	○		
318			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	○	○	○
319			コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	○		
320			サジガクビソウ	<i>Carpesium glosophyllum</i>	○		

植物の現地確認種一覧(5/5)

No.	目名	科名	種名	学名	残地 森林	パネル 設置範囲	調整池
321			ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i>		○	
322			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	○	○	○
323			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○	○	
324			ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	○	○	○
325			ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i>			○
326			サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i>	○		
327			オオヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> var. <i>oppositifolium</i>		○	○
328			チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>		○	
329			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>		○	
330			ハナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>nipponicum</i> var. <i>albiflorum</i>	○	○	
331			イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>		○	○
332			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>	○		○
333			ヤブタビラコ	<i>Lapsanastrum humile</i>			○
334			マルバダケブキ	<i>Ligularia dentata</i>	○		
335			イヌドウナ	<i>Parasenecio aidzuensis</i>	○		
336			モミジガサ	<i>Parasenecio delphinifolius</i>	○		
337			タマブキ	<i>Parasenecio farfarifolius</i> var. <i>bulbiferus</i>	○		
338			オヤリハグマ	<i>Pertya trilobata</i>	○		
339			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>	○	○	○
340			コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>	○	○	○
341			ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i>		○	○
342			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○	
343			アキノノギリソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>	○		
344			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>		○	
345			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>		○	○
346			ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i>	○		
347			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>		○	○
348			アカオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>elstonii</i>		○	
349			アオオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>japonica</i>		○	○
350	セリ	ウコギ	ウド	<i>Aralia cordata</i>	○	○	○
351			タラノキ	<i>Aralia elata</i>	○	○	○
352			コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>	○		
353			オカウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> var. <i>japonicus</i>	○		
354			キツタ	<i>Hedera rhombea</i>	○		
355			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>		○	○
356			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>		○	○
357			チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>		○	○
358			ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> ssp. <i>septemlobus</i>	○		
359			トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i>	○		
360		セリ	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i>			○
361			ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>			○
362			セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>		○	○
363			ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>	○		○
364			カノツメソウ	<i>Spuriopimpinella calycina</i>	○		
365			オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i>	○	○	
366	マツムシソウ	ガマズミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	○	○	○
367			ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>	○	○	
368			オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i>	○		
369			ケナシヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>plicatum</i> f. <i>glabrum</i>	○		
370			ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>	○		
371		スイカズラ	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> var. <i>spathulata</i>	○		
372			ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i>	○		
373			ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>gracilipes</i>	○		
374			オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>	○	○	
375			タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>	○	○	○
計	45目	99科	375種	—	263種	193種	111種

注1. 分類、配列などは、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年、国土交通省)に準拠した。